

宮崎西 R. C.

創立 10 年 史



1970. 11. 1.



# 発刊の言葉

会長 吉 賀 幸 夫

わが宮崎西ロータリークラブは宮崎ロータリークラブをスポンサークラブとして昭和35年4月8日創立され、今年4月8日を以て10周年を迎えた。

当初25名のチャーターメンバーによって、会場を橘デパートグリルとして発足し、同年5月8日国際ロータリークラブ加盟承認を受けた。その後順調な活動と拡大を続けて今日に到り昭和40年に会員50名を数えたのが更に今年は、4月現在65名に達した。

こゝに10年の歩みをふり返ると共に、クラブの奉仕活動を記録する為に、10年誌を編纂発刊することになったのであるが、さきに5年誌が出来ているので今回の内容は、その後の5年間の記録を主とした。

編集に当って特に田崎委員長と大健委員（写真）の努力と苦心が大きかったことに対して深甚の謝意と敬意を表すると共に、全面的に協力頂いた会員各位に心から御礼を申し上げるものである。



宮崎西ロータリークラブ  
認 証 状



訳 文

ここに日本、宮崎西ロータリー・クラブを承認した。

このロータリー・クラブは正式に結成せられ、且つその役員及び会員を通じて国際ロータリーの定款並びに細則を遵奉することを誓約することは、本証書を受納することによって立証された。

よって、ここに国際ロータリーの会員たることを正式に承認せられ且つその会員としての権利と特典を享受するものであることを証明する。その証として国際ロータリーの印章を捺し、正規の権限を有するその役員がここに署名するものである。

1960年4月8日

国際ロータリー会長 署名

国際ロータリー事務総長 署名

第370区ガバナー 署名





ポール・ピー・ハリス

Paul. Harris

——ロータリー創始者——

### 四つのテスト

言行はこれに照らしてから

- (1) 真実か どうか
- (2) みんなに公平か
- (3) 好意と友情を深めるか
- (4) みんなのためになるか  
どうか

### ロータリーの綱領

ロータリーの綱領は、尊ぶべき事業の基準として奉仕の理想を奨励且つ育成し、特に次の事項を奨励育成するにある；

第一、奉仕の一つの機会として、知り合いを拡めて行くこと；

第二、社会に奉仕する一つの機会として、ロータリアン各自の従事する職業の道徳基準を高め、その真価を認識し、且つ職業そのものに権威あらしめること；

第三、各ロータリアンは、その個人生活、職業生活、社会生活の別なく、常に之れに「奉仕の理想」を適用すること；

第四、「奉仕の理想」に結ばれた職業人の世界的親交によって、国際間の理解と友情と平和とを促進すること。



クラブ旗



ロータリー財団300%援助証明書



新クラブバナー



宮崎商業高校インターアクト旗



旧クラブバナー

## 目 次

発刊の言葉	会長 吉賀幸夫
宮崎西ロータリークラブ認証状(写真)	
四つのテスト・ロータリーの綱領	
クラブ旗(写真)	
第373区パストガバナーの大略・1968—1970年のロータリーに関する任務	1
ガバナー名誉会員写真・区域限界の変更	3
<b>創立10周年記念式典と祝宴</b>	5
10周年記念式典・プログラム	5
会長挨拶	吉賀幸夫 9
記念事業報告	委員長 植松熊太郎 10
十周年おめでとう	特別代表者福田甚二郎(宮崎R.C) 10
ガバナー祝辞	日高安壮(宮崎R.C) 15
お祝いのことば	宮崎県知事 黒木 博(名誉会員) 17
お慶びのことば	宮崎市長 清山芳雄(名誉会員) 18
お祝いに寄せてロータリー財団について	前分区代理 吉村武文(福岡R.C) 24
テーブル・スピーチ	パストガバナー 島津久厚(都城R.C) 26
〃	世話人 志多熊吉(宮崎R.C) 27
会員名簿(A,B,C順)	32
<b>歴代会長・幹事の思い出</b>	35
今昔の感	初代会長 田崎亀夫 35
創立10周年の思い出	二代会長 粟林東五 36
「愛の鐘」の復活	三代会長 佐原伝次郎 38
雑 感	四代会長 住田静一 41
会長をかえりみて	五代会長 菊池 稔 42
会長任期中のことども	六代会長 長峰市次 43
わがクラブ10年の歴史の一駒	七代会長 竹野 融 44
新会員懇話会の思い出	八代会長 大古殿和丸 48

思 い 出	九代会長 植松熊太郎	49
会長一年の思い出	十代会長 吉賀幸夫	51
思い出のことも	次期会長 橋本一郎	52
苦は楽のため	前幹事 後藤則義	53
第九代植松会長時代の思い出と1970年代の覚悟	前幹事 日高史雄	55
幹事思い出話	現幹事 杉山正一	58
年次大会地区協議会及びインターシティーゼネラルフォーラム		61
過去10年間における歴代P・I会長の目標		67
向笠ガバナーの公式訪問にお伴して	前分区代理 田崎亀夫	70
ロータリー財団とは		72
米山記念奨学会の役割	R・I理事東京 松本兼二郎	73
地区会員増強委員会について	竹野 融	74
ロータリアンとなりて	菊池皓一郎会員	74
先ず100%出席を	大健耕副会員	75
時間の厳しさ	佐原正晃会員	76
メイクアップの感想	三城鑄二会員	76
東京世界大会の思い出	植松熊太郎	77
1969年第60回ホノルル世界大会に出席して	田崎亀夫	78
年次大会10年連続出席の表彰に浴して	植松熊太郎	80
<b>クラブ年誌(1966年—1970年)</b>		83
過去5年間の例会卓話実施状況(1965年—1970年)		95
「卓話」プログラム作成についての反省		105
過去10年間の会員異動表		107
歴代理事・役員・委員長一覧表		111
<b>各委員会の活動</b>		117
クラブ奉仕委員会	委員長 堺 久	118
国際奉仕委員会	委員長 竹内三郎	119
交換学生を受入れて	前国際委員長 郡 嗣彦	121
ロータリー財団奨学生の件	津田委員	122

吉賀会長歓迎のあいさつ	123
職業奉仕委員会	委員長 日高史雄 125
社会奉仕委員会	副委員長 金丸一平 125
〃	前委員長 三原七郎 126
青少年委員会	委員長 角地次男 126
出席委員会	委員長 田中博規 127
連続無欠席者確認表	128
ロータリー情報委員会	委員長 郡 嗣彦 129
職業分類充填・未充填一覧表	130
職業分類委員会	委員長 後藤 満 134
会員選考委員会	委員長 植松熊太郎 134
会員推薦委員会	委員長 橋本一郎 134
プログラム委員会	委員長 大賀義人 135
広報委員会	委員長 岩井隆一 136
雑誌委員会	委員長 鈴木敏道 137
会報委員会	委員長 金丸一平 137
インターアクト委員会	インターアクト前委員長 宮下広計 138
〃	委員長 菊池 彰 139
ロータリー財団委員会	委員長 中山正一 140
親睦委員会	委員長 木浦義雄 141
〃	前委員長 山口澄夫 141
S. A. A.	委員長 山口澄夫 148
S. A. A. 一年のあゆみ	山口澄夫 149
会計	長田亀市・田中巖・杉山幹事 151
会員紹介	157
ロータリーの手引き（新入会員用）	182
財産目録	187
編纂後記	188



## 第373区（合同第370区時代）パストガバナーの大略1968—69及び1969—70年のロータリーに関する任務

中牟田喜兵衛氏

財団法人ロータリー米山奨学会副理事長

増 永 茂 己氏

地区ロータリー財団委員

財団学友委員長

松 本 兼二郎氏

R・I 理事

日本ロータリー連絡委員会顧問

R・I 会長指名委員就任見込

現在東京在住

進 藤 誠 一氏

地区ロータリー財団委員長

財団教育補助金委員長

其他1968—69年にR・I 会長代理としてフランスの3地区大会に出席（日本人として欧州に於ける会長代理は初めて）

嘉 村 平 八氏（故人）

町 田 秀 実氏

地区ガバナー指名委員

地区ローターアクト委員長

財団推進小委員

島 津 久 厚氏

R・I 国際大会日本輸送委員長（ハワイ）

地区ガバナー指名、ロータリー財団各委員

日本ロータリー連絡委員会常任委員

R・I 日本ロータリー研究委員（地区再分割）

D、369リーダーシップ・フォーラム・モデレーター

**R・I Public Relations Consultative Group**のメンバー

地区世界社会奉仕委員長

**吉村 常助氏**

地区拡大委員長

地区ロータリー財団、ガバナー指名各委員

地区財団教育補助金委員長

地区財団委員、ガバナー指名委員

日本全地区職業分類委員

地区立法委員長

**向笠 廣次氏**

リーダーシップ・フォーラム・モデレーター

日本ロータリー連絡委員

地区ロータリー財団委員長

ガバナー指名委員

国際協議会（日本語グループ）リーダー（レーク・プラシッドで今年5月に）

**R・I Extension Committee**のメンバー

地区財団推進委員（アジア担当）

**大津 篤造氏**

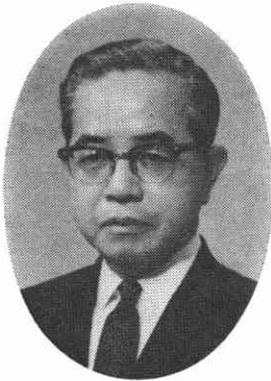
地区ロータリー財団委員長

地区拡大委員長

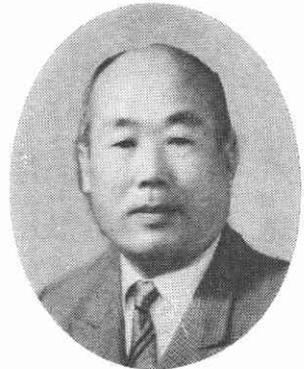
日本ロータリー連絡委員



日高安壮ガバナー  
(宮崎R・C)



名誉会員  
宮崎県知事 黒木 博



名誉会員  
宮崎市長 清山 芳雄

### 区域境界の変更

・北クラブ結成に伴う区域境界の変更について

「高鍋町、宮崎市、田野町を経て都城に至る国道幹線を境界線とし宮崎市を東西に分け、その西側地域が当クラブの地域限界である」とあるを

「高鍋町、宮崎市、田野町を経て都城に至る国道幹線を境界線とし、宮崎市を東西に分け、その西側のうち江平ロータリーより宮崎大学と附属小学校の間を西に進んで大淀川に至り、かつ、その上流を結ぶ線を境界として、その南側が当クラブの地域限界である」に変更致します。



# 創立10周年記念式典と祝宴



# 10周年記念式典 1970年 4. 10

ホテル フェニックス

## プログラム

	司会	山口 S、A、A
16. 30	登録受付	
17. 00	点鐘、開会のことば	堺 副会長
	育唱(君が代、奉仕の理想)	
	会長挨拶	吉賀 会長
	来賓紹介	〃
	参加クラブ紹介	〃
	物故会員に対し黙祷	
	感謝状贈呈	吉賀 会長
	記念事業発表	植松記念事業委員長
	歴代会長、幹事に感謝状贈呈	吉賀 会長
	10年連続出席者表彰	〃
	創立当時の思い出	福田 特別代表
	来賓祝辞	
	閉会のことば	杉山 幹事
18. 30	点鐘・閉会	

休憩、お知らせ

# 懇 親 会

ホテル フェニックス

## プ ロ グ ラ ム

- 司 会 山 口 S. A. A
18. 40 斉唱 (我等の生業)  
開宴のことば 吉 賀 会 長  
乾 杯 日 高 ガ バ ナ ー  
テーブルスピーチ
19. 10 余 興  
斉唱 (手に手つないで)  
万才三唱
20. 30 散 会

## 余 興 プ ロ グ ラ ム

- 司 会 山 口 S. A. A  
三 城 副 S. A. A
19. 10 第 一 部  
舞 踊  
常 盤 津 「福の神」 藤 間 庄 治 郎  
長 唄  
「花と柳」 花 柳 芳 春 妙
19. 30 第 二 部  
バンド演奏  
岩満紀久とニューハーモニーズ  
歌 謡 曲  
「ラノビア」 古 川 ひ か る  
(NHK九州のど自慢第1位)
- 飛び入り  
ラッキー賞 抽せん S. A. A  
歌 謡 曲  
各曲メドレー 古 川 ひ か る



## 奉仕活動のあらまし

---

1. ワンダーフォーゲル運動に毎年参加
2. ボーイスカウト連盟に毎年協力
3. 養護施設、老人ホーム、母子家庭等を毎年訪問し慰問、金品の寄贈
4. 会員の家族と共に歳末助け合い運動を開催して社会福祉施設へ毎年金品を寄贈
5. 青年会議所の高校生、中学生への奨学資金に協力
6. 大島中学校の講堂、大島保育園の新築に協力
7. 宮崎R・Cと協同で天神山公園に植樹
8. 宮崎R・Cと協同で宮崎銀行本店屋上に愛の鐘を設置
9. ひまわり学園に自動車寄贈
10. 児童福祉園にバックネットを寄贈
11. 身体障害者大会に寄金
12. 宮崎商業高校インターアクトクラブを結成
13. 宮崎盲学校にオルガン、ピンポン台一式を寄贈
14. 生日農村の老人に対し医療奉仕
15. 交通安全協会に黄色い旗を寄贈
16. 大淀川の指定水泳場に危険箇所の標識を寄贈
17. 職業奉仕賞としてダリア賞制度を設け44年8月より毎月表彰
18. 宣教師クラーク氏の銅像建設に協力
19. インターアクトへ盲人用タイプライター2台を寄贈
20. 会員及びその職場における献血運動の実施
21. 日向学院短大の日本一周奉仕団への援助
22. 米国よりの交換学生の受入れ
23. 第二室戸台風、その他九州各地に発生した風水害に見舞金を贈る
24. 宮崎整肢学園児童を映画に招待
25. B・B・S運動（青少年不良化防止運動）に協力
26. 外国よりの交換学生と宮商インターアクト会員との交歓を主催
27. 創立10周年記念事業として宮崎市役所前公園に照明用フットライトを寄贈
28. その他地域社会の奉仕活動に協力

## 会 長 挨拶

吉 賀 幸 夫

本日宮崎西ロータリークラブ10周年記念式典を催しますに当りまして、皆様方を御招待申し上げました処、御多忙にも拘らず県知事さん市長さん始め、日高ガバナー島津パストガバナー県内各クラブ遠くは「えびの」延岡から、皆様多数御来会下さいまして誠に有難く、会員一同を代表致しまして此処に厚く御礼を申し上げます。

当クラブは昭和35年4月8日宮崎ロータリークラブをスポンサークラブとして、此処にお出での福田甚二郎様が特別代表者、志多熊吉様と中村英太郎様が世話人として創立され、同年5月8日R、I、加盟承認を受けて発足致し、一昨8日を以て満10周年を迎えたのであります。最初25名のチャーターメンバーで生れ、以後は宮崎ロータリークラブの方々の温い御指導の下に順調に活動を続ける事が出来て、会員数も年と共に増加の一途をたどり、5周年目の昭和40年には50名、一昨年は61名、本年は現在65名になったのであります。その間途中退会者を含めて実に沢山のひとと知り合い、友情を深め今日に至りました。それと同時に過去10年間クラブ活動の為に、全会員が夫々熱意と努力を払って参りました。その主な業績の一覧表を本日の記念式典目録の最後に掲載致しましたので、どうぞ御覧下さるようお願い致します。その中特記すべきものを回顧してみますと次のようなものがあります。天神山公園の植樹、宮崎銀行屋上の愛の鐘、宮崎商業高校インターアクトクラブ結成、宮崎盲学校生徒への備品寄贈、交通安全旗の寄贈、大淀川水泳場の危険標識の寄贈、米国留学生の受入れ、ダリヤ賞の制定等があり、本日は10周年記念事業として宮崎市役所公園に照明用フットライトを寄贈致す事にして居ります。

今後は尚一層奉仕の理想に向って努力致し、地域社会、世界平和に寄与致したいと思っておりますので、何卒よろしく皆様方の御指導御協力をお願い致す次第で御座居ます。

最後に 吾が生みの親である福田甚二郎様、志多熊吉様、中村英太郎様が揃って御健在であられることをお慶び申し上げますと共に、こゝに特別の感謝の意を表するものであります。尚又この間例会場を途中で変更致し、前半の6年間橋デパートに、後半の4年間当フェニックスホテルに、大変なお世話をして戴きましたことをこゝに深甚の謝意を表する次第であります。これを以て本日私の御挨拶と致します。有難うございました。

# 記念事業報告

委員長 植 松 熊 太 郎

この度当クラブが創立十周年を迎えることになり、私共は何かこれを記念する事業を残したいものと念願。この程決定を見ましたので、只今からその経過と概要を発表させて頂きます。

その具体的な企画につきましては昨年八月当クラブ内に十周年記念事業企画委員会を深足させ、検討を重ねて頂いて居りましたが、色々と打出された事業には例へば公園に花時計とか、ブロンズ像又は水銀灯を設置するとか、防犯灯を市内の適当な個所に設けるなどでございます。

これを理事会に計り審議致しましたが、何かと問題があり、きまらず、最終的には全会員に対してアンケートにより意見を求めることに相成った次第でございます。

その結果宮崎市役所前にあります「ワシントン椰子」に夜間照明を与える「フットライト」を設置する資金を宮崎市に寄付することがよいとの意見が多数を占めたので決定したのであります。

この照明の計画は昨年末宮崎市ご当局におきまして立案されていたそうでございます。計らずも市の観光行政にいささかのご加勢ができることになり、その意味におきまして、この記念事業は、もっとも有意義なことと存ずるのでございます。

尚宮崎市当局に対し、設置場所が市役所前のいわば宮崎市の表玄関に当りますので現在設置されている噴水の照明ともよくマッチしたふさわしいものを実現して頂くよう要望申上げて置きました。以上が記念事業を決定するまでの大要でございますが、本日は清山市長さんに当クラブの会長からその目録を贈呈致しまして、私共のささやかな記念事業のしるしを披歴させて頂きます。

## 十周年おめでとう

特別代表者 福 田 甚 二 郎 (宮崎 R・C)

宮崎西クラブの創立10周年真にお目出とうございます。心からお慶び申し上げます。最

初に今日お招きを戴いて居ります志多さん、中村さん並に私3人を代表して、私からお慶び並にお礼を申し上げたいと存じます。宮崎西クラブが創立されましたから目出たく10周年を迎え、斯様な盛大なご式典を催されます事は私共として慶祝の至りに堪えません。特に又私共3人がその当時の多少のお世話をしたかしらない位なんですけれども、したと云う事をお覚えていて戴きまして此の盛典にお招きを戴きました事に就いて、厚くお礼を申し上げます。特に今日此処に出ましてこんな記念品を戴こうなんて云うような事は、夢更考えても居なかったのですが、ガバナー並にパストガバナー方と並びまして記念品迄戴きまして真に何うも有難うございます。3人を代表致しまして心から厚くお礼とお礼を申し上げます。何うも有難うございました。

扨て之から一寸私に何か創立当時の思い出をと云う事でございますが、私は先程から此処へ出て参りまして驚きの連続なんで、斯ういう風な物々しい所、雑壇に座らされるなんて云うような事も考えて居りませんでしたし、まして記念品等と云う風なものも戴こうなんては夢更考えて居りません。先程会長さんから度々私共の名前がお口を上りまして大変鄭重なお礼を戴きましたので、只管恐縮を致して居ります。その上に斯様なお心使い迄戴きまして真に重々の恐縮とでも申しましょうか有難うございました。所で私が杉山幹事さんからお電話で何か創立当時の思い出をと云う事でございましたので、実は私はもう現在はロータリアンでもございませぬし、10年たったかと云う事も覚えて居りませんで忘れて居りました。確か田崎さんが一生懸命でお作りになりました此の5周年誌があった筈だと思ひまして、文庫の中から捜し出しましたので本日之を持って参りました次第なであります。尚此の機会に付け加えて申しますと、現在ロータリアンでもない私迄お招き戴きました事に就いて特にお礼を申し上げます。ロータリアンでないと云う事は別にそう大した理由は無かつたんですけれども、御覽の通り私はもう相当年を取って居りますし、老年になりますと気が短くなるのか先を急ぐのか、成可くこの時間的の制約なんかも受けないうにされた方が良いじゃないかと云うんで、昨年の6月退会を申し入れまして、容れられたんでございますが、本日斯うやって見ますと之は一寸気が早過ぎたかなと、もう少し居てロータリアンとして此の感謝状も戴き、又記念品も戴きゃ尚良かったかなと思つて居る所なのであります。まあそんな事は別と致しまして真に何うも重ね重ねお礼を申し上げます。丁度創立当時の思い出と申しますと、あのチャーターナイトの日が丁度今日のような天候の日でして、もう少し雨が強かつたかとも思ひました。

市郡医師会館が未だ出来て間がない頃でした。あの時には川島さんが未だ生きて居られましたし、丁度日向クラブと一諸にチャーターナイトをやるとうので、私共出て参って何か申した訳なのでございますが、その当時の写真を見ますと、今よりは大分若い写真が写ってしまして、之は年をとったなあ此の頃になって思う訳であります。兎に角斯う云う雨の中ではありましたが、非常に厳肅な中にも和やかさのある大変良いチャーターナイトだったと云う事が思い出される訳であります。5周年記念誌にも私は斯う書いて居りますが宮崎西ロータリークラブ5周年お目出とうと云う書き出しで一寸書いて置きました通り、実は私は此の特別代表者とは何をするんだか余り良く分らなかったで、実際の事は此処に御列席の志多さんと中村さんが、色々な実務上の事をお取計い戴いたのであります。兎に角先づ第1にテリトリーを決めなきゃいけない、之は当然でございましょう。それには丁度此の橋通と云う恰好の境界があるからはっきりして良いじゃないかと、之は中村さんが書いていますが鹿児島か何処かで電車通を境に決めたら、そんなものはいかん電車通なんかは何時動くか分からないじゃないかと云って、R・I本部から拒否されたと云う話がありますが、此橋通ならそう滅多に動く事はないので之は宜しかろうと考えました。又そればかりじゃいけないので、一つの経済圏をなしている所でなきゃいけないのだと斯う云うのでございます。今と違いましてその当時の西の地域と云うのはそう発展して居りませんでして、大学の近所なんか大分田畑なんか在ったと懸うんです。

それから住田さんの酸素会社ですが、あれだって田圃の中にあったんじゃなかったかと思うんですが、兎に角何とかしなきゃいけないと云うので、私共事務所閉籠りまして無い智恵を絞りました結果、兎に角大学が在るじゃないか、病院があるじゃないか、相互銀行の本店があるじゃないか、住田さんの酸素会社があるじゃないかと。こんな風なものを揚げれば立派に経済圏をなしてると云う事になるだろうと云う風で、之々と云う風な事で其の境界ははっきりしてると、斯う云う経済的の事情もあるんだからと云うので申請致しまして、当時のガバナーは牟田喜兵衛さんと云う方で、非常にエクステンションに熱心な方でしたし、続いてガバナーにおなりになった増永さんも亦ご同様で、そう云う方々のご尽力で目出度く西クラブと云うのが誕生致しました訳です。唯今になって考えて見ますと其の当時25名だったと思うのですが、今日伺いますと85名に発展してると云う、真に何ともご同慶の至りに堪えません。心からお慶び申し上げる所であります。時に此の宮崎西クラブと云うのは私も何となく他人でないような親しみを感じて居りまして、ロータリアン

当時は時々メイクアップに喜んで参ったのでありますが、余り堅苦しくなくそして而も皆和やかに皆がやると云うのが、此のクラブの特徴じゃないかと斯う考えられますが、之は非常に良い特徴だと思うんですね。あのロータリーソングに見つけたら「ヤー」と云おうよ、何てのがございますけれども、うっかり私共が「ヤー」とでも云おうものなら変な親爺が「ヤー」と云うぞ、人相が悪いぞと云ったような事になったのでは具合が悪いんですが、此処のクラブの **atmosphere** は決してそんな風じゃないと考えてた訳なんで、そう云ったこの和やかさと云うものは何処迄も之を持続して行く事が必要でありましょう。と時に又決る所はきちんと決って居る。さっきも志多さんや中村さんとお話したのですが、今日のような斯う云う風な会に出て見ますと実に何うもそのきちんとしてですね、そして角の立つ所はきちと角を立ててやる、筋を重んずると云う風な所、之も大変良いと思うのです。世の中に出藍の誉と云う言葉がございますが、青は藍より出でて藍より青しと、成程宮崎クラブがスポンサークラブなんでございますけれども、何うも斯う云う点に於ては一步西クラブに先んじられて居る所があるんじゃないか。此処に岩切章太郎さんなんか居られますから其の前で斯う云う事云うのは何うかと思うのですけれども、その一例として、実は此の記念誌なんです。

之も宮崎クラブでは矢張り5周年10周年ですか、或は15周年に斯う云ったような記念誌を作ろうじゃないかと云う話も出たんですけども、仲々実現しないで恐らく今でもだらうと思うんですが、今日に至って居るんです。所が西クラブの方は5年たったらさっと斯う、之は田崎さんがこんな事をやるのが好きだと云う事もあるかと思うんですけども、非常に斯うご熱心に良くお作りになって居る。今日なんか私何か云えと云うので之を見まして更に驚きました事は、之は唯西クラブ丈の事じゃなくて内容が色々で、生活訓迄書いてあるんです。之は至れり尽せりだと思いました。軍人訓が載せてない丈米だ良かったかも知れませんが、福沢諭吉の訓、安井息軒始め先哲訓迄載ってありまして至れり尽せりの5周年誌が出来て居る。それから又10周年に於ても恐らくは斯う云う風な計画があるんじゃないかと思うのでありますが、兎に角どんどん発展して行かれると云う事は非常に良い事だと思う訳であります。唯5年たち10年たったからと云ってそれでロータリーがよろしいと云う訳じゃないので、私之を見ますと、増永ガバナーのお祝の言葉の内にロータリーの巷説として、ロータリークラブは発足5年にして青年期に入り、最も旺盛なロータリー活動は爾後の5年間で、10年を過ぎれば次第に老境に入るようだ。だからも

っとしっかりしろと云う事が一寸書いてあるんですが、之は真にご尤もだと思ふんです。だから其処は矢張り此処へ参りますと云うと此の target に Review and Renew と、検討し更新しようと言った心組みをお忘れさなければ、もっとどんどん此のクラブが発展して行く事は疑いないと、私は考える訳であります。私此の先程申しまするように、ロータリー外に出て居るのでありますが、其処から見ますと此の所謂社会的活動と云うものは、ライオンズクラブなんかは非常に華やかにやって居るように目に付きます。然し何もそれに囚われる事はないのでロータリーはロータリーとしての行き方があるのですから、それは自ら我が道を行くので結構なので、何も人の真似をする必要はない訳でありましょう。それから又ロータリーが最初に出来ました時には comity (礼儀) の為に尽すと云う事、之はまあそう云う事なんでしょうけど1905年時代と今とは時代も違って来て居りますし、交通と云う事も非常に発達して居るのでありますから、強ちそう云う事に囚われる必要はないので、もっとロータリーと云う国際的な大きな組織なのでありますから、それを利用して、そして吾々の理想とする奉仕と国際平和の為に尽すことに目を向けて良いのじゃないかと思わけてあります。そう云う意味に於て私は西ロータリークラブに対して前々から非常に敬意を表して居るのであります。あの交換学生と云うのが居りましたけれども、交換学生の1年間を吉賀先生以下数名の会員がホストファミリーとしてお世話なされた。之は大変良い事なんです。それでこそ本当に此れがロータリアンとしての使命達成の一つの道じゃないかと思ふ訳なので、私は矢張りそう云った方面にも益々視野を広げられて、そして平和のために尽すと云う事が益々此のロータリーの使命でもあるんじゃないか。そしてそう云う事に尽して居られる此の西ロータリークラブの益々ご発展を祈ってやまない訳であります。

勝手な事を申し上げましたけれども心からお慶びを申し上げまして、私の責を終わります、何うも有難うございました。

## ガバナー祝辞

日 高 安 壮 (宮崎R・C)

当クラブは昭和35年4月8日(オシヤカ様の日)創設され、5月8日認証されました。いわば日本が大発展を遂げた60年をそのまま歩まれたわけであります。日本の発展はまた、宮崎西クラブの発展ともつながっているのであります。すなわち、創立会員25名が今や65名に増員され、文字通り地区として上位クラブに属する大クラブに発展されたのであります。年率にして4名という高率の伸長であります。

因に3月4日付の統計によりますと、国際ロータリーは

148の国及び地理的地域において

14,114のクラブ数を有し

668,250名のロータリアン

を有する大組織に発展致したのであります。

当第373区におきましては本年度にはいってからロータリークラブ数4クラブが漸らたに結成されて、(うまくゆけば年度内になお3クラブ結成の可能性あり)会員が239名増加し2,376名となりました。

インターアクト・クラブ数30、会員806名全国一であります。なお、年度内に2クラブ結成の予定であります。またローターアクト・クラブ数は大分短大ローターアクト・クラブの他に、社会人ローターアクト・クラブがすでに5クラブ結成され、明11日は都城に、24日には津久見に結成されることになっております。年度内に10クラブに達する見込みであります。

65年前の2月23日にポールハリスが3人の友人とシカゴのディアボーン街のユニティービルの一室で初めてロータリーのささやかな第一回の会合を開いてから斯くも目覚ましい発展を遂げた原因は何でしょうか(?)。それはロータリーの精神が世界の人々の心の琴線に触れるからに外ならぬと存するのであります。すなわち親睦と友愛を基調として、他人への思いやりと、助け合いが人間の社会生活を幸福にする基本的条件であるとし、他人のために奉仕し、世界の人々の理解を深め平和を促進しようとする高い理想に人々が共感するからであります。

私が当クラブについて常に感ずることは、創設以来、前に述べましたロータリー活動の

源泉となる親睦友愛が実にうまく行っているということでもあります。この例会に出席して常に感ずることは何とはなしに温さが漂うていることでもあります。

そして総てのことに皆さんが積極的に協調されていることでもあります。この雰囲気の中で皆さんはロータリークラブとして輝かしい数々の業績を積み重ねておられます。会員の増強については前に述べましたように高率の伸長率を示し、出席率も常に95%以上を保持して地区内でも上位を占め、早く宮崎商業高校にインターアクト・クラブを提唱結成し、また国際青少年交換学生プログラムに参加され、ボーイスカウトを援助する等青少年の指導育成には格段の努力を払われているのであります。

また、本年度に創設された小さな善意に基く善行を表彰するダーリア賞は地域社会に極めて明るい話題を提供し大きなよい影響を与えております。

ロータリー財団の強化に関しては金丸一平会員のサースティーンング・コントリビュートを初めとし、65名クラブになられたことはガバナーとして感謝に堪えません。以上の外各委員会における奉仕活動は今更私が申すまでもなく極めて活発に行なわれているのであります。

10年一昔と申します。宮崎の地域環境はこの数年激変しつつあり人間の考えもまた変わりつつあります。

この中にあって私共ロータリアンも、時代の変遷と共にその在り方を常に反省し、時代に取り残されないようにすることが最も肝要であります。

10年1日の如きは最も警戒を要することでもあります。Conway R・I、会長は「これでよいのだ」ということ程ロータリアンにとって危険なことはないのだと云われました。すなわち現状に満足することは取りもなおさず、激動する現在においては遥かな後退を意味することに外ならぬ。

われわれは常に事態を **Review** しそして **Renew** したプログラムをもって対処せねばならぬと云われておるのであります。10年のこの盛典を契機として当クラブの皆さんも現状を **Review** されて、若しも錆があったならこれを磨き上げて清新なクラブに **Renew** されることは最も時宜に適したことでないかと存するのであります。

この意味において10周年記念式典を跳躍台として、このクラブの一段のご発展を心から祈念致しまして私のお祝の言葉と致します。

## お祝いのことば

宮崎県知事 黒 木 博（名誉会員）

何事によりませず物事を造り上げると云う事は大変な事でございます。造り上げるならば未だしも、之を同じ調子で持続する。而も同じ調子で持続するならば未だしも、之を上向きに持続すると云う事は、言葉には簡単に云えますけれども、その、業に携わられる方は大変な事でございます。唯今夫々詳しい話を承りましたが、昭和35年、今から10年前に先輩の皆様が色々苦心をされまして此の西ロータリークラブを創設されました。認証式も終えられ、在来のクラブの会長さん始め幹部の皆様、或はクラブ員の皆様が日本の経済成長以上に25名が65名になると云う此の上向きのご発展振りは、真に頭の下る思いが致すのでございます。而もそれ等は会員の1人1人が心をお繋ぎになったから、素晴らしい今日の輝かしい10周年をお迎えになったのでございます。会長さん始め1人1人の皆様のご苦労に対しまして、高い所から失礼千万でございますけれども、更に更に敬意と祝意を申し上げたいと思います。更に印象深く私承り又拝見させて戴きましたのは、10年の間1回も欠かず事なく8名のお方ございましたか、此のロータリークラブに奉仕のお務めをされて、ご出席をされたことは私非常に印象深く拝見をさせて戴いたものでございます。口では簡単でございますが毎日自分の仕事をする事でありますから当り前の事ではありますけれども、之を行うと云う事は之は又大変な事でございます。恐らくはその間には余りお体が充分でない日もあったかも知れません。或はお仕事の関係上大変ご無理をなされたかも知れません。

けれどもロータリアンとしまして、此の10ケ年と云うその間ご出席下さって奉仕のご精神を貫かれたと云う、皆様のお気持は同じ事でございましょうけれども、皆勤をされると云う事は之は大変な事でございます。私も昭和2年以来皆様のお力によりまして此の様な仕事をさせて戴いて居ります。之はもう大変な業でございます事を私身を以て承知を致して居りますから、非常に印象深く思うのでございます。ロータリークラブの皆様は奉仕の精神を主軸とされまして、人類愛、社会愛に徹せられて此のお仕事を進めて参られて居るのでございます。私共とすれば奉仕と云う事を自分が有利な立場にあるから劣勢な人に手を差し伸べると、斯う誤って考える場合が非常に多いのでございます。之は奉仕の言葉を冒瀆する事でございまして、奉仕と云う事は私共人間本来のものを持っている訳でござい

して、優位になろうと劣勢になろうと、そう云うような事は別ものでございます。人間本来の持って居るそのものを何の恥じらう事なく、何の求める事なく手を差し伸べて行くと云う此のロータリー精神の奉仕に徹して、10ヶ年お歩み下さった事を再び感謝申し上げたいと存じます。10年の前の我が宮崎県、今日の我が宮崎県を考えます時に色々申し上げませんけれども皆様のお力があつたればこそ宮崎ならではの云うムードと環境が出来上ったものと、私は斯く考えました場合にも頭の下る思いが致すのでございます。福田先生は真に立派なお話を下さいましたが、何うか年数を経る毎にその仕甲斐があると共に、**fresh** な将来を求めて行くと云う所の感覚の上に立った、創意工夫に立ちました宮崎西ロータリークラブのご発展をお祈り致しまして、私のお祝の言葉と致します。失礼致しました。

## お慶びのことば

宮崎市長 清 山 芳 雄（名誉会員）

私はお慶びの言葉を申し上げる前にお礼を申し上げさせて戴きたいと思います。先程は日本の宮崎西ロータリークラブの真に意義ある10周年の記念式に当りまして、西ロータリーの皆様方の心の籠もった宮崎市に対する記念事業の一つとして、市民会館の前の公園に設置をして欲しいと云う事で、ワシントンiaparmを照らす照明の為にと云う事で、多額のご寄贈を戴きました、本当に有難うございました。私20万市民に代りまして西ロータリーの皆様に、厚くお礼申し上げます、有難うございました。

ご承知でございますが此のワシントンiaparmと云うのは宮崎ではワシントン椰子と云って居りますが、丁度市役所の前の噴水の横に在ります。背の高いワシントンiaparmは岩切章太郎宮交会長さんが、従前お植えになりまして大変可愛がって戴いて居ります。今日も宮交さんの方から色々と手入をして戴いて居りまして、私共市役所に居ります者も感謝申し上げて居るのでございますが、之は等しく市民の沢山の者が同じような気持で感謝申し上げて居る所でございます。先年アメリカのジョンソン大使が参りまして、たまたま私市長室で色々世間話をした際、フェニックスとつまり此の前にある県の木になって居りますフェニックスカナリエンシスとワシントンiaparmとを、大抵の人が間違う訳でございまして、あれが県の木かと斯う云う質問でしたから、私があのかの背の高いのはアメリカの

ワシントン州と関係があるんじゃないですかと、斯う日本語で申し上げました所が、ワシントンにはあの木はないと斯う云う訳です。其処で私は意外な気持ちになったのですが段々後で聞いて見ますとワシントンよりもっと南の方の木らしいでございます。勿論アメリカオンリーではございませんで、世界各地の亜熱帯地方に在る木のようにでございます。宮崎には可成古くから這入って居りまして、宮崎駅前のものも可成年数をふんで居ります。日本では徳島です。四国の徳島に参りますと云うと南国情緒は徳島でと云う斯う云う看板が掛って居りまして、徳島駅前に行きますと云うとワシントニアの木がずっと沢山並んで居りまして、そのワシントンの木を迎って行くと県庁に行くようになって居ります。

私は意外に思ひまして宮崎が独特のものと思った所が、徳島が先で、之は実は私自体も大変興味を持って居りますので、徳島からワシントン椰子の種子を多量に取り入れまして、ずっと以前でございますが播いた記憶がございます。それから熊本県の八代にございます之も矢張り種子を採りまして実は宮崎で養成をした事がございます。其処で此のワシントン椰子でございしますが、橘通りにも知事さん方のご配慮であゝゆう風に立派に植えて貰いました。確かあれは知事さん 108本でございましたね。橘通り、之は私此の前宮崎の婦人会の方に橘通り 1丁目からあの橘デパート、山形屋さんの前迄にあるワシントンの木が何本ありますか、ご存知の方は手を挙げて下さいと云ったら誰も 1人も手をお挙げにならないで、婦人会長さんが 1人恐る恐るお挙げになったから、何本ですかと云ったら 108本と、之は私が教えたんです。それで大変喜んで居りました。実は 108本でございます。

それは別としまして、今の宮崎市役所のあの噴水の横のワシントン椰子を下から照らしたならば、さぞ良からうと斯う思っている訳でございます、一昨晩でしたかテストをやって居ったそうです。私直接見ませんけれども、之は西ロータリーの心の籠った真に意義ある記念品だと思ひまして、私はそれが実現するように、成可く早い機会に之が市民の皆様にお目見え出来るように最善の努力を尽したいと思つて居ります。私が、会長さんのお言葉の中にもあったと思ひますが噴水の話も出ました。実はこの噴水に就きましても色々市民の有識者の方ともご相談申し上げまして昨年思い切つて造りました。一部の人からは兎角文句が出ましたけれども、最近は何文句が出ないようで寧ろ小さい子供さんが大変喜んで下さいまして、実は私の所に直接電話を下さる小さいお嬢さん坊ちゃんなんか居りまして、市長さん噴水が出たら何が何時出なさつとかと云う電話を呉れる子供迄居ります。それで都市計画課の係にあの噴水の時間を書いて表示したらどうかと云つて、最近命じたような事でございますが、それ程動くのを待ち焦がれる状態でまあまあ私は良かったと斯

う思って居る訳でございます。市役所が宮崎市の一つのシンボルでございますから、そのシンボルを表す宮崎市役所の前の噴水がある所は橘公園の角でございますし、建設省にも此の事をご報告申し上げて居る訳でございます。云わば此のフェニックスホテルの建ちます前から、所謂リバーサイドガーデンとしてのフェニックスの並木、並びに市役所の周辺を含んだ広い意味の観光宮崎市の顔であると斯う云う風に思いますので、此の夜の宮崎市の顔を照らして呉れるそう云うフットライトの資金としてご寄贈戴いたと云う事は、私は西ロータリーの皆様方が色々と考えて下さった事だと思っておりますが、真に真心籠った而も意義のある記念品だと思ひまして何時々々迄も之は一つの夜の観光宮崎を照すものとして、又皆さんのお気持を市民は固より一般にも充分知らしめて、其の恩恵に浴せしめたいと思つて居る所でございます。本当に有難うございました。お礼を申し上げた序でもう一つ、本日夫々感謝状等をお受けになりました歴代の功労者の皆様方は、本当に立派な内容のある書き物をお貰いになったようでございますが、私はそれを静かに承つて居つて先程知事さんがおっしゃつたように、本当にこの10年間と云うものは偉いものだと思つた訳です。話を繰り返すようでございますけれども、支那の昔の本を私読んで居りました所が、皆さんに斯んな事申し上げて失礼でございますけれども、三心の義に徹するは偉傑なり、三心の義とは発心、決心、継続心なりと書いてあります。偉傑とは偉は傑物と云う事です。皆さんもご存知でしょう、其の言葉は3つの心、もの事を何か聞いたり見たりして自分もやろうかなと思つるのは心が発する発心だそうです。ロータリアンがロータリークラブに入会を勧める又聞いて這入ろうかなと思つるのが所謂発心でございます。よし這入るぞと云つて手続きをして這入るのは決心でございます。其処迄は大抵出来るが其の三心の義に徹すると云う其の継続心が難しいんだそうです。之は支那の言葉ですけど吾々日本人にも当て嵌まると思つたんです。独り之はロータリーばかりじゃございません。凡ての日常に於て物事を続けると云う事の難しさ、私達は日常それによつたつて居る訳です。而も先程知事さんがおっしゃつたように1週間に1遍、真に之は偉い。それを欠かさずに本日表彰の榮譽をお受けになりました前列の席に着いてらっしゃる方々。本当に偉いと、さっきの三心の義で云う偉傑であると斯様に考えて居ます。本当にお目出度うございました。何うか10年間を更に累積されまして、此の一つの区切りである10年が更に今後の10年、ずっと末永く宮崎市の発展から、宮崎県の発展、其の地域発展の先達として更に持続して戴きたいと思つてございます。本日は皆さん共々此の意義ある10周年の記念式が、春雨

けふる大淀川の此の場所に於て皆さんと共々お祝さして戴く機会を得ました事を、光栄に  
思いますと共に繰り返し申しますが、先程の多額のご寄贈を受け非常に有難うございまし  
た。又お礼申しまして私のお慶びの言葉に代えさせて戴きます。





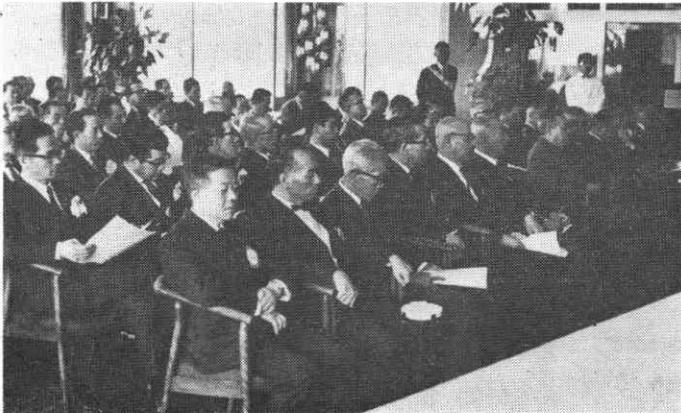
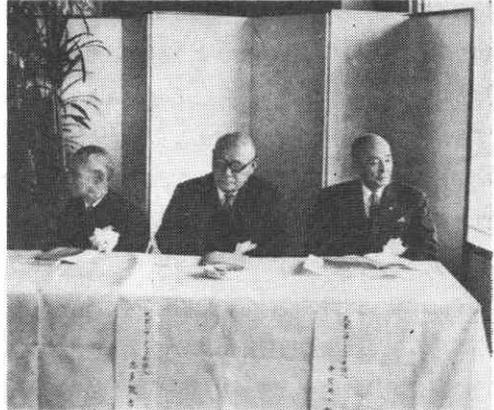
吉賀会長挨拶



目高ガバナー祝辞



来賓（向って左より）  
 黒木知事  
 清山市長  
 日高ガバナー  
 島津パスト・ガバナー  
 福田特別代表者  
 志田世話人  
 中村〃〃〃



10年連続出席者表彰（前列）

# お祝いに寄せて

## ロータリー財団について

前分区代理 吉 村 武 文

(延岡R・C)

1970年1月27日現在でロータリークラブのある国は148ヶ国に及び、クラブの数は14,055、会員数は660,500人となっています。すべてのロータリアン諸君は夫々「奉仕の理想」を達成する為に数え切れない程の多種多様な問題に関心を示し、計画を練って、よりよい地域社会や世界の実現をめざして努力を重ねて居られる訳であります。一体全ロータリアンの最終目的は何なのであるでしょうか、この間に対して皆さんの御返事は「世界平和」とお答えになることでしようがその通りでR・Iの最大目標は世界平和の達成に他ならないのであります。然らばその方法とはという間に対しては国際理解と友好関係を増進するにあるとお答えになるでございましょう。更にその具体的な方法はとの間に対してはロータリー財団の活動、即ち大学院課程の奨学生をはじめ財団が実施中の男女青年の各国交流を頻繁に行って国際間の理解と友好を深めるにあるという返答が返って来る事でありましょう。斯う煎じつめますとロータリーは数へ切れない程の多種多様な事業を行ってはいませんが「最も価値の高いものは財団の事業なり」と断じて憚らないと思うのであります。

財団の発足は遠く1917年に溯るのでありますが現在の画期的な奨学生制度がはじまったのは1947年、ポールハリスの死を契機として1つは彼の遺志を尊重し、1つは彼の偉業を記念して出発したことは皆様のよく御承知のことです。

あれから33年の間に奨学金及補助金を受けた若者の数は4,115名に上り、その金額は実に9,072,865弗(註32億円)に達しているのであります。

これだけの大事業を長年月亘って行っている団体は世界にその例を見ないのであります。兎に角大したものでもあります。

1947年には僅かに18名で始まった奨学生補助金受領者の数は本年度540名(69～70年度)の多数に上って居るのですが、ロータリーの目的である世界平和を招来させる為に年間500名程度の交流では聊かも足らない感が無いでもありません。即ち10年たっても500名では甚だ心細い次第であります。少くとも年間10倍の500名から更に一步前進して20倍の1,000名の交流が年々出来るようになればこんなすばらしい事はありません。かり

に1人の青年が交流先の国で10名づつの親しい友人を得たとすれば共に世界の平和を語り合える青年が毎年11万名、10年目には実に110万名となるのであります。これに加へるに各国で育成している青少年交換学生、インタクトやロータクト或はボーイスカウト等の青少年の数は10年後には約100万名となり、加へるに現在65万名のロータリアンを10年後100万名に伸ばせば吾々の同志は10年後には軽く300万人を超える勘定になるのであります。

指導的地位にある300万名の世界の声が如何に大きな影響を人類に与えるかを考えますと心の踊るを禁じ得ないのであります。

だがこの実現には矢張現在の20倍の財源を必要とするのであります。

ロータリー財団では昨年度508名、本年度540名の交流を行う予定にしていますが、その援助費は約120万弗で現在の寄付金と殆んどすれすれであります。従って人員を20倍にふやす為には最低2,400弗が必要となるのであります。これは決して少い額とは申されませんが、若し70万ロータリアンが年額平均40弗、円に直して14,400円月額約1,000円を負担すればこの計画もあながち夢物語りとはいえないのであります。月額、1,000円といえば左程驚く額とはいえますまい。むしろ10年後に300万人の同志の活躍に依って世界平和が獲得出来ればこんなにも安く、斯んなにも価値ある投資は他にないのではありますまいか。

20数年前に吾々は愛する者達を失い、財産を焼失して人類の悲劇を経験しました。亦今日のインドシナ半島やビヤフラ、或はチェッコや中近東の状況を見るにつけ聞くにつけ我々の一層の努力が必要であることを容易に納得して頂けるものと存じます。宮崎西クラブが創立されて10年。今日その祝典が催された訳ですが誠にお芽出度う存じます。奉仕の理想に燃えてこの十年の貴クラブの活動と発展は目覚ましいものがありました。特に国際奉仕に力を尽し、青少年交換に、ロータリー財団への援助に会員の皆様がその情熱を傾けられました事はひろく知られていることであります。今後とも一層の御援助を賜らんことを心から願う次第であります。

第359区ロータリー財産推進小委員長沖山明一氏

(第一回アーチクラブ賞受賞者……ガバナーステターNo. 3. S. 44. 8. 15号参照)の卓話を引用させて頂きました。

## 祝 宴

### テーブル・スピーチ

バスターガバナー 島 津 久 厚

(都城R・C)

私迄お招き戴きまして真に申し訳ないと存じます。先程無事盛大に又厳粛に式典が行われまして、本当にお目出とうございます。所で世の中の移り変りと云うものも大変なものでございまして、大変な変化でございまして。日本の経済力は世界の自由世界の第2位と云うようなことで、大変な変化でございまして。30年前の商品で現在残って居る商品は極僅かしかないと言われる位の変化でございまして、ロータリーと云うものもそう云う変化に応じて、変って行かなければならないと云うのが考え方のございまして、Conway会長の申します **Review and Renew** と云う問題も分りますし、又ロータリーの始祖である所の **Paul Harris** に致しましても、ロータリーと云うものは変らなければならないんだ、変らないロータリーなんて云うものは存在価値がないんだと云う事を、何10年前に既に申して居るようございまして。当クラブの10年間のご活躍の跡を先程プログラムで拝見致しますと、正に時代に即しました所の **Review and Renew** の模範とも申す可き活動ぶりを示して居られると思うのでございまして。是非共斯う云う世の中の進展に伴ったご活躍を今後やって戴きたいと考える訳であります。このように世の中が凡て変わりつつあります中に、変らないものは親睦と云う問題でございまして。当クラブに就いては先程もお話がございましたように、10人の会長さんが現在健在でご活躍である。或は又幹事さんになさいましても歴代の幹事さんは殆ど現在クラブにご在席であられると云うような事は、矢張り之はご健康の関係と相並びましてクラブの居心地が良くなければ、斯う云う事は起り得ない訳でございまして。恐らく全国のどのクラブの中にも珍らしい存在ではないかと思う訳であります。ロータリーの基をなします所の親睦と云う事で最も模範的なクラブである と云う事で、特に敬意を表する次第でありますけれども、何卒今後共一つ親睦並に其他のご活動を通じてご発展戴きますようお願い致します。本当に今日は有難うございました。お目出とうございます。

## デール・スピーチ

世話人 志 多 熊 吉

(宮崎R・C)

本日はどうもお目出とうございます。折角のご指名でありますから一言感想を述べさせていただきます。丁度10年前の先程日高ガバナーから言葉のありました通り、4月8日と申しますと2日丈今日過ぎて居りますが、チャーターナイトが行われて丁度10年と2日になる訳であります。当時を振り返って見まして、あの橘百貨店の畳の敷いてある部屋で、胡座を組んでそして話し合いをし又例会を開いた思い出があります。今畳の上で胡座をかいて例会を開いて居るクラブは少ないと思いますが、兎に角之が相当永く続きました。最初の日の手探りでやって居るんでありまして私共も何事も出来なかったのでありますが、之が斯んなに立派に成長するとは当時思われなかったのであります。私も熟々考えまして何故斯んなにロータリークラブが、皆が熱心になってそして発展して行くんだろうと、色々なヒューマンのクラブがありますが、ロータリークラブのように皆んなが斯う半ば労きずして熱心になると云うような会は、全然ないと思うのであります。勿論歴代のガバナーが相当尻を叩くのでそうになったんじゃないかと云うような感もしますけれども、熟々考えて見ますとあんまり尻を叩くと云うと此方は反抗心を起しちやう、それでまあ掛り合わんようになりたいんであります。ロータリー関係はそう云う事はないようであります。之は矢張りロータリーの精神がそう云う風に出来て居って、皆さんが先程からのお言葉にもありました。これがロータリーの本性であってそれにその心に触れるものがあり、又そうする事が最も楽しいと云うような事で、斯う云う風になったんではないかと思ひます。実は甚だ潜越でありますけれども、来る4月26日に新北クラブのチャーターナイトが行われますので、そのお手伝をするように任命して戴きまして、お世話の名前だけ出して戴く事になりました。然し之は深く考えますと仲々簡単に引受けられる仕事ではないんでありますけれども、此当西クラブの其の経過を見まして之はもう名前だけ出して、少しばかり皆さんにご相談すれば大抵自然に皆さんが力を合せ、西クラブのように立派な会員が揃うんだから、よし安心して引き受けてよろしいと云うような安易な気持でお引受けした点をご披露申し上げたいと思ひます。北クラブのチャーターナイトに就いてはもう日も迫って居りますので、どうか皆さん方全員ご出席して戴きまして、此の新クラブの為に一つご協力

又ご声援をして戴きたいと、特に此の席からお願いする次第でございます。後色々と立派なプログラムが出来て居るようでありますので、兎に角素晴らしい西クラブが出来た事は今後のエクステンションの上にも、之が一つの模範となりまして大変役に立つ事と思えます。皆さんどうもお目出とうございました。





乾 杯



歌 謡 曲



手に手つないで



10年連続出席者（8名）



舞踊「福の神」



祝福された宮崎西R・C会員一同

## 宮崎西ロータリークラブの横顔

1. 創 立 昭和 35 年 4 月 8 日

2. 承 認 昭和 35 年 5 月 8 日

3. 歴代会長、副会長、幹事及び事務所々在地

(年次)	(会 長)	(副会長)	(幹 事)
60 ~ 61	田 崎 亀 夫	住 田 静 一	栗 林 東 五
61 ~ 62	栗 林 東 五	竹 野 融	佐 原 伝次郎
62 ~ 63	佐 原 伝次郎	金 丸 忠 夫	橋 本 一 郎
63 ~ 64	住 田 静 一	植 松 熊太郎	菊 池 稔
64 ~ 65	菊 池 稔	長 峰 市 次	後 藤 則 義
65 ~ 66	長 峰 市 次	橋 本 一 郎	吉 賀 幸 夫
66 ~ 67	竹 野 融	田 中 博 規	鈴 木 唯 吉
67 ~ 68	大古殿 和 丸	上 田 合 邦	川 辺 政 明
68 ~ 69	植 松 熊太郎	大 賀 義 人	日 高 史 雄
69 ~ 70	吉 賀 幸 夫	堺 久	杉 山 正 一

(事務所)

T E L

高千穂通 3	高千穂相互 B K	㊟ 7141
橋通 3 丁目	佐原陶器店内	㊟ 4316
高千穂通 1	宮崎トヨタ自動車 K K	㊟ 2211
橋通 5 丁目	菊池肥料店内	㊟ 2243
橋通 4 丁目	橋百貨店内	㊟ 3111
清水町 1 丁目	吉賀病院内	㊟ 4771
橋通 4 丁目	鈴木文具店	㊟ 1611
江平町	宮崎ナショナル販売 K K	㊟ 3201
西丸山町	宮崎マツダ販売 K K	㊟ 5246
中央通 3	高千穂相互 B K	㊟ 7141

4. チャーターメンバー 25名

以上のうち現在会員

田崎亀夫、栗林東五、植松熊太郎、後藤則義、住田静一、長峰市次、大古殿和丸、菊池稔、田中博規、佐原伝次郎、堺久、日高真太郎、竹野融、宮下広計

5. 現在会員数 65名

(内訳) 正会員 59名、 シニア、アクチブ 4名、 アディショナル 2名

6. 名誉会員数 2名 (宮崎県知事、宮崎市長)

# 会 員 名 簿

A・B・C順

氏 名	職業分類	勤 務 先	自 宅
浅野文彦	旅館	(株)江南荘 取締役社長 淀川町1の31 電51-5101	淀川町1の61 電51-5103
安倍友彦	貯蓄銀行	宮崎相互銀行 常務取締役 橘通西3-3-27 電24-2111	鶴島1-6-8 電22-7874
秋山久	寿し	銀寿し 代表者 中央通7-23 電22-5861	大字恒久平原1438 -24
尾藤博澄	菓子小売	(資)尾藤商店 代表社員 橘通西2-4-19 電22-3476	橘通西2-4-19 電22-3476
江口宜夫	新聞発行	宮崎日々新聞社 常務取締役 高千穂通1-1-33 電23-2371	潮見町66-1 電24-3880
藤井勝	木材配布	藤井木材合資会社 代表社員 千草町5-8 電22-2857	丸山町72-8 電22-4301
後藤満	紙配布	(株)後藤洋紙店 取締役社長 大工町89の1 電23-3235	大工町89の5 電23-3236
後藤則義	百貨店	(株)橘百貨店 専務取締役 橘通西3-11-32 電24-4111	高松通2-32 電22-3441
橋本一郎	自動車配布	宮崎トヨタ自動車(株)専務取締役 高千穂通2-5-27 電23-2211	神宮町216 電23-2072
橋本善吉	石鹸配布	宮崎花王販売(株) 専務取締役 橘通西5-4-9 電22-2233	橘通西4-6-25 電24-6970
服部正次	生命保険	日本生命保険 支社長 高千穂通1-7 電24-7111	船塚町370 電24-3542
日高史雄	自動車小売	宮崎マツダ販売(株) 専務取締役 西丸山町148 電22-5246	下北方町井手下南 25の2 電23-3800
日高真太郎	バス事業	宮崎交通(株) 専務取締役 大字恒久3402 電51-5151	福島町3-116 電51-3809
日高照雄	貴金属配布	(資)日高時計宝飾店 専務 橘通西3-10-36 電24-4757	神宮西町206 電24-6347
百野弘	乗用車配布	宮崎トヨペット(株) 常務取締役 広島1-18-15 電23-2361	花殿町8-35 電23-3678
池田成彬	楽器小売	(株)西村楽器店 取締役副社長 橘通西3-10-36 電24-4141	和知川原町333の5 電24-4143
岩井隆一	工業薬品配布	(株)合志商事 代表取締役 中村町1-44 電51-3954	谷川町2-123 電51-4431
岩元信蔵	綿製品配布	(株)宮崎山形屋 常務取締役 橘通西3-4-12 電24-6161	川原町1-18リバー サイドホテル電24-1655
井山孝行	養鶏業	まるい産業(株) 取締役社長 中央通1-16 電22-5225	青葉町35 電24-1511
金丸一平	日本酒製造	(株)金丸本店 取締役 江平町2-49 電24-8234	江平町2-66
川辺政明	電気器具配布	宮崎ナショナル製品販売(株)取締役 社長 橘通東5-4-12 電23-3201	和知川原町359 電23-3006

氏名	職業分類	勤務先	自宅
菊池 稔	シニア・アクチブ	(資)菊池商店 代表社員 橘通西4-3-29 電24-2243	橘通西4-3-29 電22-6337
菊池 彰	歯科医	菊池歯科医院々長 橘通西2-7-22 電22-2881	橘通西2-7-22 電22-2881
菊池 皓一郎	化学肥料配布	(資)菊池商店 副社長 橘通西4-3-29 電24-2243	橘通西4-4-25 電24-3091
木浦 義雄	電気器具小売	(株)日高商会 取締役社長 橘通西2-5-8 電22-4166	神宮町198 電22-6662
栗林 東五	化粧品配布	栗林商事(株)取締役社長 橘通西2-5-29 電24-1211	橘通東2-4-7 電22-4596
郡 嗣彦	産婦人科医	郡産婦人科医院々長 清水1-13-31 電22-5401	清水1-13-31 電24-7663
松岡 正作	プロパンガス配布	(株)溝淵石油店 支店長 江平町3-126 電24-4817	宮脇町3 電23-6718
三原 七郎	医学研究	宮崎江南病院々長 大坪町草崎 電51-7575	源藤町あかね台 電51-2141
宮下 広計	繊維品配布	(資)宮下呉服店 代表社員 橘通西3-3-24 電22-3219	橘通西3-3-24 電22-3219
三城 鏗二	食料品配布	(株)三城食料品店 取締役社長 橘通西2-4-14 電22-8281~4	末広町1-9-35
森 禧晃	紙箱製造	協同紙工(株)取締役社長 大字小松字上川原1119の2 電51-4231	下北方町横小路58 61-14 電23-4883
牧 圭司	陶磁器配布	(合)牧陶器店 代表社員 橘通西3-3-28 電22-3396	青葉町121の3
榊本 正久	建築業	(株)志多組取締役総務部長 高千穂通1-4-32 電24-3151	花殿町1-12 電23-2583
長峰 市次	製氷	(株)長峰製氷冷蔵所代表取締役 松橋町1-49 電22-2612	宮田町10-18 電22-3016
中山 正一	ガス供給	宮崎瓦斯(株)常務取締役 橘通西3-9-23 電24-2511	宮脇町46 電23-6794
新原 秀丸	医薬品配布 (アデシヨナル)	堺薬品(株) 専務取締役 和知川原町405-1 電22-7261	祇園町554-1 電22-5357
西岡 恒之助	酒類配布	(合)西岡雄一郎商店 代表社員 上野町2-16 電22-2835	上野町2-16 電22-2835
大古殿 和丸	シニア・アクチブ	丸菱既製服工業(株)取締役社長 清水町1-9-1 電24-2266	橘通西3-3-1 電22-2265
大賀 義人	美容院	(有)大賀美苑 代表取締役 橘通西2-7-27 電23-3595	橘通西2-7-27 電22-4622
小野 梓	証券業	日興証券(株)宮崎支店長 橘通西4-1-32 電24-5151	丸山町61-2 電22-6421
大健 耕嗣	商業写真	オーダテ写真館 代表者 橘通西1-4-27 電22-3086	橘通西1-4-27 電22-3086
堺 久	医薬品配布	堺薬品(株) 取締役社長 和知川原町405-1 電22-7261	和知川原町232の1 電22-3040

氏名	職業分類	勤務先	自宅
佐原 伝次郎	シニア、アクテブ	(合)佐原商店 社長 橋通西2-58 電22-4316	大字恒久3487
佐原 正 晃	厨房用器具配布	(有)佐原キッチンセンター代表取締役 橋通西2-5-28 電24-4611	大字恒久3487
清水 一 穂	製材	(合)清水木材店 会長 橋通東4-11-37 電24-4249	吉村町平塚1800 電24-2362
重木 茂	商業銀行	宮崎銀行 常務取締役 橋通東1-7-4 電23-3131	船塚町410 電22-7908
住田 静 一	シニア、アクテブ	高千穂相互銀行 取締役社長 中央通3-30 電22-7141	橋通西4-4-18 電22-4036
杉山 正 一	相互銀行	高千穂相互銀行 常務取締役 中央通3-30 電22-7141	外園町3-8 電51-2440
鈴木 敏 道	男子服配布	(有)すゞや代表取締役 橋通東3-4-34 電22-3083	橋通東3-4-34 電22-3083
竹野 融	内科医	竹野医院々長 清水1-13-25 電22-2653	清水1-13-25 電22-2653
竹内 三 郎	外科医	竹内外科病院々長 霧島町461 電23-5158	霧島町461 電24-6550
田中 博 規	書籍配布	(株)田中書店 取締役社長 橋通東3-1-6 電24-5511	橋通東3-1-6 電24-5511
田中 巖	税務代理	田中税理事務所 和知川原町359-1 電22-5877	和知川原町359-1 電22-5877
田中 秀 男	ホテル	(株)ホテルフェニックス取締役支配人 松山2-1-1 電23-6111	丸山町169-1 電23-6460
田崎 亀 夫	皮膚科医	田崎医院々長 高松町4-42 電23-2861	高松町4-42 電23-2861
立元 郁 夫	民間放送	(株)宮崎放送 専務取締役 下北方町858 電22-8271	原町31 電22-6786
津田 剛	大学	宮崎大学教育学部 教授 西丸山町130 電24-3171	神宮町97 電22-7092
角地 次 男	自動車小売(アデショナル)	宮崎マツダ販売(株)常務取締役 西丸山町148 電24-6151	下北方町後田740-10 電24-4893
植松 熊太郎	石油配布	(株)植松商店 取締役社長 橋通西4-2-30 電22-5105	船塚町328 電22-2803
内村 竜 祐	セメント配布	(株)内村商店 専務取締役 橋通西4-3-26 電24-4051	橋通西4-3-26 電24-4051
矢田 雅 嗣	眼鏡配布	金子メガネ店々主 橋通東2-5-6 電22-2995	橋通東2-5-6 電22-2995
山口 澄 夫	建築設計	(株)山口建築事務所 代表取締役 丸山町61 電22-7075	霧島町359-2 電22-2036
吉賀 幸 夫	病院	吉賀病院々長 清水1-5-22 電22-4771	清水1-5-22 電24-6249
湯浅 雄 夫	レストラン	(資)コロンバン 社長 橋通東2-3-8 電24-5252	松橋町1-9-6 電22-6506

歴代会長幹事の思い出



## 今昔の感

初代会長 田 崎 亀 夫

私たち宮崎西R・Cの創立は昭和35年（1960）4月8日、加盟が1ヶ月遅れた5月8日でした。創立の前後は親クラブの宮崎R・Cの方々的一方ならぬお骨折があったわけです。この思い出については当時幹事の大き役を果たされた栗林さんが触れておられますので私の分は五年史の方にゆずります。

認証式が日向R・Cと合同で宮崎市東雲町の市郡医師会館ホールで厳粛に行われたのですが、その打合せに日向R・Cの役員の方々と顔合せをしました。その時の日向R・Cの江川栄助会長の挨拶が振っていました。「生れたのは日向の方が5日先ですが、今度は一応双生児が生れたようなものですから、後に生れた宮崎西の方を兄貴分に立てるから、迷惑ながら認証式や懇親会、観光等万端をお任せする」とのユーモアな発言に一同爆笑。それからの西クラブ会員は協力一致、式の前夜まで準備と取り組みました。そんな義理もあって五年史の晴れの伝達式の写真には江川会長を充分立てたつもりです。今は故人となられて惜まれます。

栗林さんと始めて熊本の地区協議会に出席しました時の印象を申しますと、地区の各R・Cの会長幹事は全員出席。今は故人となられた久保田豊バスターの「調和のとれたプログラム」と題する熱演に強く感銘しました。その内容を要約しますと今度本誌に掲げましたコンウェイR・I会長の「その違いとは」の一文に尽きます。それから近くは年次大会の目的は **Ceremony, Study, Fellowship, Inspiration** なりと看破された岩切章太郎大会委員長の言葉です。

ロータリーのルールは改善されつつ65年の歴史をもつもので、これに疑問の余地はない筈です。然し今からも偶数年に行われる規定審議会で、時代に沿って検討され更新されて行くものと思われます。今や会員の増強とクラブの拡大が大きく叫ばれ、日本では3月現在、977R・C、47,821名。世界で14,105R・C、668,250名といわれ、日々増加の一途を辿っています。そしてロータリー財団の使途も拡大され世界社会奉仕等と国際性が強化される時代となりました。クラブのロータリー財団の寄附も300ドルを達成しました。

今迄にインタシティ・ゼネラル・ホールのリーダーに推された会員は栗林、田崎、佐原の3氏。一昨年は分区代理を田崎、本年は地区会員増強委員に竹野氏が推されていま

す。宮崎での年次大会と地区協議会及び宮崎北R・C創立ではコホストクラブを、一昨年の新会員懇話会と昨年のインタシティー・ゼネラルホールムでは何れもホストクラブの栄誉を全うしました。交換学生も無事見送りすることが出来ました。

植松会長時代から前会長会議の制度が出来て会の運営の相談に応ずることになり、これは吉賀会長の時も又次期橋本会長時代にも続くことになっています。これと又新会員の増加に伴い本年は親睦委員会と情報委員会が協力して新会員との懇親を計られるなど、前者と相恃って会員の断層をほぐすに役立つ名案と思っています。最近新人の活躍が目立ち心強い限りです。

始めの例会場は創立のときから橋百貨店に多大のお世話になったわけですが、将来の会員の増強のことを慮り、今のホテルフェニックスに移転することになり、今は66名の多数会員とビジターを収容して充分であり、大淀川を眼下に明るい会場となりました。サービスも行届き、恐らく県下一を誇る例会場と自負しています。数年来出席率は鰻上りに上昇し、100%を幾度も続けるという好成績を示し、会員の自覚の程が窺われます。記念事業としてダリヤ賞の制定と市への照明灯の寄附は好事業でした。

茲に10年を顧みましてわがクラブもよくも成長したものと祝福しつつ今昔の感無量のものがあります。

## 創立10周年の思い出

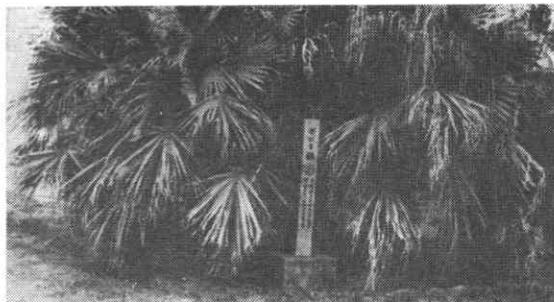
二代会長 栗 林 東 五

昭和45年4月10日宮崎西ロータリークラブ、創立10周年記念式典が、特別会員の 県知事、市長、日高ガバナー、島津パストガバナー、福田特別代表、分区代理田村忠雄殿世話人、志田熊吉、中村英太郎両氏、の来賓を迎え、第373区内各地会員、特にスポンサークラブよりは、岩切章太郎氏を初め大勢御出席いただき盛大に挙行することが出来ました。会長幹事を初め役員、委員の御苦勞を心から感謝申し上げます。席上私達8名の者が10ヶ年無欠席として、表彰を受け有難うございました。創立当時のチャーターメンバーは25名でしたが、現在は66名で大きく発展し成長しました。このことは会員諸氏の努力に依るものと悦ばしく存じます。創立当時53才の青年の私が浦島太郎ではないが、アッと言う間に63

才の老人組になって仕舞っていた。私共クラブ会員はみんな至極円満で、なびやかで、とても面白い、楽しいクラブで、現在チャーターメンバーは、移動、転勤などで、僅かに16名しか居りませんが、その半数の8名が10年間無欠席で表彰された事をもみてもお判りのことと思います。創立当時のことを思い浮べますと、宮崎クラブの志田熊吉さんと中村英太郎さんに、随分お世話になりました。特別代表の福田先生のお宅には、6名の基礎メンバーが何回となく会合を重ね、準備をいたしました。その時には宮崎銀行元頭取、大原さんもよく見えて御世話を頂きました。昭和35年3月中に25名のメンバーが出来ましたので、4月8日仮クラブの発足を致しました。創立手続きにつきましては、当時宮崎クラブ幹事の西村春生君に種々御指導をして頂きました。初代会長に田崎亀夫先生、幹事は私にせよとのことで、西も東も判らぬまゝに、例会場は橘百貨店5階食堂特別ルーム日本間に決めました。後日、後藤則義会員のキモイリで洋間に改造してもらった。食事は上村君が大変努力してくれた。こゝで特に付け加えておきたいのは、美人近藤さんのこと、例会出席した会員は近藤さんの顔を見るとニコニコであったとゆうことです。私は幹事を引受けたものゝ大変な仕事で、田崎先生のお宅をよく訪れ御指導を頂いた。夏頃からチャーター伝達式の準備にかかり、高千穂相互銀行3階で打合せ、日向クラブと合同伝達式を行うことに決定しましたが、そのころは宮崎市内には適当な会場が全々無く頭をいためました。漸くにして東雲町医師会館を借受け11月12日全国より270数名の参加を得て、当時としては盛大な式典を終了しましたが、その日あいにくの雨で、懇親会場の橘百貨店への移動も大変なことでした。それから10年、私は皆様方から色々勉強させていただき又限りない愛情を賜りましたことについて心から感謝申し上げます。ロータリーは何をせよでもなく、それはいけないでもない。ただ本当のことを本当に真面目に努力し実践していくこと、これこそロータリーの道につながるものではないでしょうか。この前から私は西ロータリークラブ油絵会に加入しみんなと絵を勉強しています。全くの初めて筆を取るのですから63の手習いです。私は一生懸命に絵書いて、子供に見せるとニヤニヤ笑っている。愚妻はほめてくれます。会員は何んにも云わないが、私自身はよくかけたと自惚れて満足しています。絵の世界もまた10年経たないと本物にはならぬのだろう。兎に角よくてもわるくとも絵の会は私に又一つ大きな楽しみを与えてくれたと木浦君に感謝している。木浦君の父母とは40年来の付き合いであった。今は東京に帰られているが、父子二代の付き合いとなり更に楽しい。この様なたのしいロータリーとして今後も元気で会員の皆さんといっしょに社会へ

奉仕を続けたいと思っています。

### 天神山公園のビロー樹



1962年4月宮崎R・Cと合同で青少年の憩いの場として植樹。石標は山元石材店主の奉仕によった。

ミ十歳経しビロー樹林の  
茂りかなミ

## 「愛の鐘」の復活

三代会長 佐 原 伝 次 郎

愛の鐘とはロータリー精神の根幹である「奉仕の理想」の推進と「みんなのためになるかどうか」と云う四つのテストに照して、宮崎クラブと宮崎西クラブと共同で企画し宮崎銀行（当時は日向興業銀行）の協力を得て銀行の屋上に建設したものであり、是を宮崎市に寄贈し朝夕愛の鐘のメロデーを流したものです。

宮崎銀行入口にある記念碑には「母の愛の願いをこめたこの鐘の音を幼き人達と若い人達にささげます」とありますように青少年の不良化防止を目的に建設したものであります。

この愛の鐘は朝は「ヤシの実一つ」のメロデーと晩は九時に「ウエスト ミンスターの鐘」のメロデーを流し幼き人達には「静かにおやすみなさい」、若い人達には「早く帰ってお母さんを安心させなさい」と云う母の愛の願をこめて流したものです。この愛の鐘の竣工式と贈呈式は昭和37年6月29日宮崎西クラブの例会場で当時の市長であった有馬さんに贈呈され竣工式は引続き愛の鐘の建設現場の宮崎銀行屋上で行い、有馬市長さんが第一にスイッチを入れ、始めて母の愛をこめた愛のメロデーが全市に響き渡ったのであります。この素晴らしい贈物に市民からは大変よろこばれたものであります。

この愛の鐘建設のいきさつを当時の記録から拾ってみますと昭和36年10月21日ロータリーの熊本年次大会出席の際、当時の宮崎クラブの会長太田良一さんと中村英太郎さんが西クラブの宿舎においでになり（栗林、田崎、佐原在宿）愛の鐘建設の相談を受けたのであります。

聞くところによりますと福岡の三菱銀行の屋上にある愛の鐘を聞いて非常に感銘され宮崎に是非建設し度いとの話して、西クラブの協力を求められたのです。ついで10月26日の西クラブの例会場で太田良一さんから全員に愛の鐘の建設に協力方を求められ予算は100万円（機械30万、メロデー30万、外工事費）と云うことで、西クラブでは一人当たり5千円を寄附することに決定したものであります。参考までに。

6月29日の贈呈式及竣工式の式次第は下記の通りです。

#### 愛の鐘贈呈式 式次第

- 1、挨拶 宮崎クラブ会長 太田良一
- 1、贈呈 宮崎西クラブ会長 栗林東五
- 1、市長挨拶 有馬市長
- 1、来賓挨拶 黒木知事
- 1、日向興業銀行頭取挨拶 増田吉郎
- 1、閉会 西クラブ幹事 佐原伝次郎

#### 愛の鐘竣工式 式次第

- 1、開会挨拶 栗林東五
- 1、スイッチ 市長
- 1、開宴 宮崎クラブ幹事 竹下敬一郎
- 1、閉会挨拶 宮崎クラブ会長 太田良一

このようにして出来上がった愛の鐘を朝夕二回流していましたが、このメロデーは二里四方に聞こえると云う強力なものでしたので銀行周辺の方々から苦情が出てまいりました。「折角寝付いた子供が目を醒して泣き出した」「やかましくてたまらぬ なんとかならぬか」等と大変な苦情が銀行までにあったそうで、其の後はボリュームを落して流していましたが、現在ではそれも休止の状態です。銀行の都合もあることは存じますが全く残念な事だと存じています。

折角あのような立派な設備があるのですから何んとか復活する方法はないものだろう

か、どうか。皆さんと共に考えようではありませんか、御協力を切に御願ひ致します。

## 愛の鐘

この愛の鐘は「母の愛の願いをこめたこの鐘の音を幼い人達と若い人達にささぐべくロータリーの「奉仕の理想」実現の一助として企画し、宮崎銀行の御協力を得て、この屋上に建設したもの」である。

梅雨の明け  
今日よりは  
愛の鐘鳴る

昭和39年6月

宮崎ロータリークラブ

宮崎西ロータリークラブ



銀行屋上に聳ゆる愛の鐘



銀行前の石標

## 雑 感

四代会長 住 田 静 一

昔から「永い目でものを見よ」と云う言葉がある。私はこの言葉が好きである。特に年輪を重ねるほどに思い当る事柄が実に多いのに気付くのである。日本人は免角短的に物事を判断し、事を処するに偏癖が多いのではあるまいか。しかもその表現に於て絶体と云う言葉を使い過ぎる。即ち絶体正しい。絶体勝つ。絶体反対等。これらが四囲の状勢なり或は歳月の流れによって何時とはなしに、かつての絶体は崩れ去ることの余りに多いことよ。

その点他民族の如何にねばり強く堪へ忍ぶ力強さにはほどほど感心せざるを得ない。

ハーマン、カーン博士が一昨年だったか六年後には今の二大強国の外に経済超大国が出現するだろうと予言し、それは日本国だと喝破した。

驚いたのは世界人と云ふよりむしろ日本人であった。それだけお互の日本人は大国としての自覚も襟度も持ち合せていない。たしかに計数的に経済成長は、したかも知れない。然しこれに平衡的に国内に於ける数々の憂患事項の山積に目をうばわれ右往左往しているのが本当の姿ではなかったか。物質文明とはこんなに息詰まる思いをするのが本当なのだろうか。心のゆとり。即ち永い目で物事を判断し、真の民主主義の勉強と実践に努力しなければならないことを痛感する。その点私は10年前に宮崎西ロータリークラブのチャーターメンバーとして参加し、10年1日の如く過ごさして貰った事に深く感謝している。奉仕こそ我が務め。これが精神的吾れ等の心の支へである。

職業を通じての奉仕。目に見えざる善意の社会奉仕。善意と友情でつなぐ国際奉仕等それこそ奉仕に明け、奉仕に暮れる。この大理想こそ吾れ等の生活に豊さとゆとりある心の安ていを与へる、精神的羅針盤だろうと考へる。真の奉仕とは、或は親鸞の教えである感謝と報恩の日暮しをせよ。この名訓は何れも言うは易く行ふは難し。それで先づ自己の心の置きどころをどこに置かにかかっている。己れの至らざるを悟り力の弱さを自覚することによって初めて社会公共のあらゆる恩恵に感謝し、仏恩に、祖先に、父母、先生に、又大自然の恵みの総てに深い恩を感じることにて、初めて奉仕の実践も感謝と報恩の日暮しが出来るものと私は信じています。

西ロータリークラブ創立10周年記念号に私の心のまを記して会員各位に感謝の言葉と

します。

## 会長をかえりみて

五代会長 菊 池 稔

第四代住田会長の幹事そして五代会長という大変意義ある仕事につかせていただいた事を今日ふり返ってみますと、冷汗三斗の思い出や楽しかった数々がありまして、私の人間形成の面に大いに役立っていると思って感謝しています。

考えてみますとロータリーの組織は大変良く出来ていると思います。

この会長幹事の要職もすべて「奉仕の理想」の実現を身をもって体験するために1ケ年を周期として会員が全員持ちまわるという大変民主的な組織であり、会長は特にクラブのために奉仕を求められ、それが引いては自己の人間形成に大いにプラスとなって返ってくると言う巧妙なクラブである事に気がつきます。私の五代会長時代はいわば内部充実の時であったと思います。即ち当時40数人のメンバーの方々は常にほほえみと会員の融和を通じてロータリーを分ち合い、ロータリーに生きようという目標に全員が協力した年であると共に青少年育成のためのインターアクトクラブの結成に努力した年でありました。

当時のガバナー町田秀美氏は特に青少年育成に熱心な人でした。

当クラブも創立5周年を迎えるので5周年記念事業として地域社会への奉仕と国際親善の精神を若い内から培かって次の世代をますますよりよくして行きたいと思ひまして宮崎商業高校インターアクトクラブの結成を計画し皆様の協力を得て6月12日につつがなく仮クラブの結成を見るに到りました。

次期長峰会長の11月には盛大なる認証状授与式をあげ今日に到っています。

当クラブがチャーターを受けて早や10年になり、会員も66名と拡大して参りました。本年は更に宮崎にもう一つの北クラブの誕生を見たわけであります。

各クラブ共特徴のあるお互にユニークな存在であってほしいと思います。その意味で吾等のこのクラブは新しい試みと会員相互の心からの友情がますます深められて楽しい意義あるクラブに発展するものと心から信じ、そのクラブの一員である事を心から喜びと誇りを感じているものであります。

## 会長任期中のことども

六代会長 長 峰 市 次

わが西ロータリークラブは去る4月8日を以て、めでたく創立10周年を迎えたこととなります。まことにめでたい次第で心からお慶び申し上げます。

さて、6年目(昭和40年7月～全41年6月)はクラブとして一応の基礎固めが終って、いよいよロータリー本来の活動期に入った時期であったわけですが、しかしその間之と云って格別こゝで書きとめる程のこともなく強いてあげれば、「官商高インターアクトクラブ」の結成と「創立5周年史」の発刊であったかと存じます。

思えば「官商高インターアクトクラブ」の結成式は昭和40年11月20日橘国際ホテルに於て菅野副知事、持永市助役外の来賓並に町田 370区諮問委員長はじめ県内各ロータリークラブ代表等多数列席のもと、いとも盛大に行はれましたが、私はその席上スポンサークラブの会長祝辞として何げなく「竜頭蛇尾に終らないように」と申した記憶があります。今やインターアクトの活動状況は残念乍ら今の時点に於ては低調であって奇しくも私の述べた「蛇尾」に低迷しているかにみえます。これについては直接インターアクトに関与されて居られる会員の方々、その他権威ある先輩ロータリアンに依って既にその原因が解明されているようで、改めてこゝでは触れませんが、要はインターアクトクラブそのものを今少し魅力あり且つ誇り高いものにするにはどうしたらよいかの問題に帰するかと思えます。

それこそコンウエイRI会長のテーマ「検討し更新しよう」をそのままに一層の努力と忍耐を持ち続けるならば、近く結成されるであろう「ロータリーアクト」と共にやがてはロータリー青少年活動の力強い一翼として健全な発展を遂げ、大方の期待に応える日が必ず来ることを堅く信じて疑いません。

次に「創立5周年史」について申し上げます、一見地味ではあるが、巧みにわが西クラブの特色をいかして編纂されて居り今回の「創立10周年史」発刊に当り、貴重な足がかりとしての役割を十分に果たしたことと思います。「創立5周年史」「創立10周年史」が共にわが西クラブ会員の脈々たる活動の歴史として、ありのままの姿に於て編纂されたことは、まことに貴重且つ意義深いことと存じます。当時「創立5周年史」の編纂委員長であった田崎さんが尚、鑿鑿(かくしゃく)として今回更に「創立10周年史」編纂に専念され

たことは当クラブにとり、まことに幸せであったと思います。

重ね重ねその並々ならぬ御心労と熱意に深い感謝と敬意を表します。

## わがクラブ10年の歴史の一駒

七代会長 竹 野 融

10年1昔とは云うがこの間わがクラブが順風に乗って堅実な歩みを続け今日の隆盛を来たしたことはまことに会員の融和と団結の賜以外の何物でもなく全くご同慶に堪えない。

然しこの10ヶ年間にわがクラブにも色々の問題もあった理で、その中2、3私のタッチした点をこの10周年記念誌に記し遺しておくのも無意味ではないであろう。

その1つは昭和41年秋当地に於て行はれた地区年次大会である。勿論ホストクラブは宮崎R・Cで吾々のクラブはコーホストとして会員全員がその企画運営に参画したのである。未だ会長、幹事就任前ではあったが私と鈴木唯吉氏及大会副委員長田崎氏はその年の4月頃から企画本部役員として週に1—2回は宮交本社に向かかねばならなかった。アイデアマンとして有名な岩切章太郎大先輩の発案で種々の新しい試みがなされたが、中でも、年次大会の4つの目標（インスピレーション、スタデイ、セレモニー、フェローシップ）のうち特に「スタデイ」に重点をおいたプランとして、全体協議会前日に分科会を設け討論の時間を十分に持たせたこと、ジャイアンツフラーでの懇親会は年次大会始めの試みであり、実に見事な着想並に演出として大喝采を博したのであった。全体協議会ではひな壇に坐すの光栄に浴したがいざ開幕と云う段になって点鐘の鐘が持込まれていず、数分間開幕がおくれ尚且前代未聞の点鐘なしで開会となったが、あの時の数分間は実に今もって心の痛む憶である。椽の下の力持ちと云うがわがクラブの会員はホストR・Cの陰にありながら各々の分担を実によく遂行し得たと今でも自負めいたものを持っている。

その2は例会場の変更である。

クラブ創立当時はチャーターメンバーの一人である後藤会員のご厚意もあって橘百貨店4階の約20畳程の和室で例会が持たれたが、矢張り脱靴、あぐらの会はロータリーに似つかはしくなく、これも後藤会員の大英断で、細長いスペシャルルームを作ってもらって約7年間例会が持たれた。後藤会員並に上村氏に深謝する次第である。然し、会員の漸増と

共に狭あいとなり、更に悪いことは例会日が丁度百貨店のバーゲンセールと重なって会員は無論のことピジターにご迷惑をかけること此上なしと云うことで私の会長就任1—2年前前から例会場移転が問題になっていたのである。然し、いざとなると百貨店側のこれまでの厚意に対する遠慮と、お互い商人仲間のエチケット等がからんで中々実施に踏みきれなかったが、私が会長になった時、お前は医者だから余りそうした事に拘泥せずにやれるだろうと尻をたたくかれ、やをら重い腰を上げた理である。初めは西クラブ地域内の適当な所を物色したのだが遂に格好の場所を見付けることが出来ず太古殿会員等の仲介もあってホテルフェニックスと交渉する運びとなった。今までの例会場からは余りに遠すぎる等の不満もないではなかったが、ホテル側との交渉もとんとん拍子に運んで昭和42年5月12日第357回例会が大淀河畔の展望、設備等申分のないこのホテルフェニックス2階の会場で始めて開かれたのである。会場自体からかもし出されるエレガントなムードは吾々会員のロータリアンとしての自覚と衿じを高めるに充分であり、ある誇りがまじさをさへ覚えたのも事実である。この会場移転に就いてはホテル側の重役、従業員一同の方達はその受入れ準備に多大の研究と努力をされたことも忘れることは出来ない。本誌をかりて厚くお礼を述べる次第である。

かくて早くも3年を経、クラブメンバーも70名に垂んとする大クラブに発展した。この10周年でシニア・アクティブ会員資格者が5名程出来たわけで、更に会員の増加は必至である。会運営について会員数が一応問題となるであろうが、それはさて置き現状では会員拡大は至上命令である。机の配置等考案すれば今の例会場では更に多くの会員も収容出来る。そして悠久たる大淀川の流れを眼前に、吾々西クラブのクラブカラーたるソフトでちよっぴりエレガントでチャーミングなムードをいつまでも持ち続け育てたいものと思うのである。

その3年次大会、チャーターナイトへの出席について。

40年振りの中学同窓クラス会とかち合ったため佐賀の地区年次大会に出席出来ず遂に10年連続年次大会出席の夢は失はれ些か残念だったが、近隣のチャーターナイトには出来る限り出席すべく心掛けて来た。そうしたことに依ってロータリーの綱領にも謳はれている知り合いを拡める場として、又所謂インスピレーションを感受し真のロータリアンとしての教養を培うには最もよい機会だと思っている。

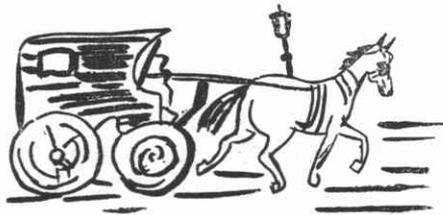
多良木町を中心として近隣数ヶ町村合併と云う特殊の形式の上に成立した多良木R・C

のチャーターナイトには宮崎市からは当時、ガバナーノミニョだった日高安壮御夫妻の外は小生一人の出席だったが、飾られた花はこれすべて野にある秋の七草であり、盛られた果実はいかにも柿所らしく枝付きの柿であり、野趣満々のいかにも僻地らしい趣興があって此の上ない親近感を持つことが出来、本当に来てよかったと沁々感じた事だった。

♪式典に秋の七草香ぐわしく♪

えびのR・Cのチャーターナイトには、わがクラブからも多数の会員が出席したが、県を境とした2つの市町が合併して成立したこれも珍らしいクラブであった。えびの地震の大災害を乗り越えてのクラブ結成であった丈に、そのチャーターナイトの喜びは一入であり、参会者の吾々にも深い感銘を与えて呉れた。多良木R・C並にえびのR・C何れの場合にも下手な替唄を即興的にやって大いに親睦ムード振りを発揮し、当該クラブの方々に喜んで戴いたのも今となっては懐しい想い出である。

筆をとることの至って不得手な私が、ロータリーの友の「友愛の広場」に「再会」と云う題で投稿したり、クラブ会報に「反逆児」、「生胆の逃げた話」、「自叙伝断片」等を記したが、新会員諸氏もあらゆる部門でどしどし御活躍をお願いする次第である。妄言多謝。



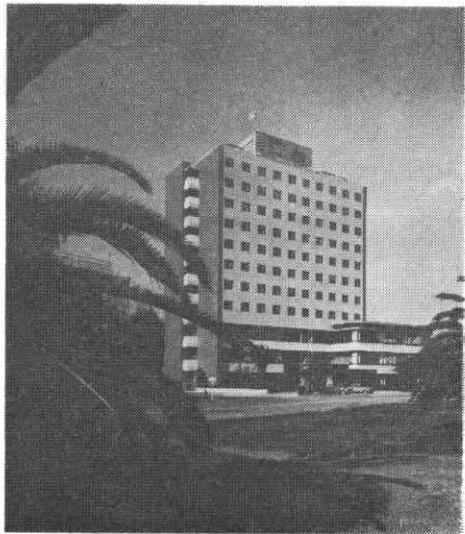


前例会場「橘百貨店」5階

例会場の四季の窓

鴨は鴨鷗は鷗初明り  
 大橋の竣工待たず鴨帰へる  
 滔々と橋脚洗う梅雨の川  
 出水あと川幅かくす朝の靄  
 鴨の位置ほぐるゝ如く潮満ち来  
 満ちがての汐美しき秋入日  
 冬晴れや架橋工事の旗白し

(茶山)



現在の例会場「ホテル・フェニックス」  
 (向って右側2階)

## 新会員懇話会の思い出

八代会長 大古 殿 和 丸

10周年記念誌編纂にあたり、田崎初代会長より何か思い出を書けといわれて実のところ当惑しました。1967—1968年度の会長を努めました時の就任挨拶に我が宮崎西クラブは肩の凝らない朗らかな楽しいものにしたい。そしてビジッターの方々には今までの君呼ばわりを止めて「さん」と呼ぶように会員の皆さんに協力をお願いしたものでした。それが現在まで続いているわけです。お陰様で西クラブの例会は楽しい雰囲気だとビジッターの方々からお褒めに預っています。

1968年3月24日は我がクラブが初めてホストクラブとなって県下9 R・Cの新会員懇話会開催の光栄に浴しました。

会場はホテルフェニックスのホールで、目的はロータリー歴が1年から2年未満の新会員の方々の同化に役立つようにとの趣旨で計画されたもので、これは従来のインタシティブ・ゼネラル・ホーラムに代るものだと承りました。

参加クラブは延岡、延岡東、日向、小林、都城、都城北、日南、宮崎に宮崎西、出席者は合計84名。ビジッターとして鹿児島西R・C会長島津忠丸氏、副幹事柴山一雄氏が参加されていました。

来賓には向笠ガバナー、島津パストガバナー、に田崎、川越両分区代理とガバナーノミニー候補の日高安杜氏でありました。司会は川辺幹事が上手にやってくれました。



新会員懇話会（宮崎ブロック）

出席者107名

1968年3月24日ホテルフェニックスにて

青少年奉仕解説

向って左より 金丸一平会員 向笠ガバナー 島津パストガバナー 日高ガバナー・ノミニー

ガバナーとパストガバナーからは至極くだけたロータリーに関する概説があり、各奉仕部門では本クラブ会員が選ばれて堂々と解説されました。即ち菊池稔氏（職業）、竹野融氏（社会）、津田剛氏（国際）、金丸一平氏（青少年）でありました。それから「ロータリーの情勢」と「よりよき世界のために」の2つのスライドが映写され、向笠ガバナーに対する新会員の質問も活発でした。新会員は終始真面目に朗らかな気持で楽しいムードの内に懇親会を終り、「手に手つないで」のソングで散会しました。

## 思　い　出

九代会長 植　松　熊　太　郎

1968年から1969年の1年間九代目の会長におさされましたが出張勝でありその上「その器でない」と申し上げ固辞しましたがロータリーの決定は至上命令にひとしいものだとのことのでいやおうなしに会長の席を汚すことになりました。私はただチャーターメンバーという丈でそれに相応しい素養を身につけておらず今少し勉強しておけばよかったと悔やまれこの重責が果して努まるだろうかと内心の不安がかくせませんでした。幸い名幹事の日高君が常に万事を有能にさばいてもらったし、大賀副会長や役員諸子が適切なご支援を寄せられ、そのお蔭で西ロータリークラブの名誉を汚すことなく曲りなりにも任期を終えた時には肩の荷がおりたようでそのご厚情が身にしみ感謝の気持で一ぱいでした。

会長として過ごしました1年間に三つのビッグニュースと申すべきことにぶつかりましたことを先づ申し述べて見たいと思います。

1. R I 会長に東京の東ヶ崎潔氏が決定就任されたことです。これはニースの世界大会で投票により当選されたものですが、日本のロータリーアンのかねてからの夢がかなえられ東ヶ崎氏が世界のロータリーアンの崇敬の的であることを象徴するもので、日本のロータリーアンにとって大きな誇りとして自負してよいと思いますと同時に、そのために責任と申しますか使命感ともいうべきものが打出されたことになり世界のロータリーアンの期待に副う質的發展が義務づけられたものと身のしまる思いを致しました。
2. 従来九州は全地域が第370区に包含されておりましたが急速に加盟クラブ数が増加したことにより昨年の佐賀の大会で分割が議決されR I 本部の承認を得て新に第373区がその年の7月より誕生することになり大分、熊本、鹿児島、宮崎の四県がこれに属し42

クラブで発足したことです。永年同地域のロータリーアンとして苦楽を共にしてきた方々とお別れることは惜別の情に堪えませんが地区大会又はお別れの意味を含めて合同でやることになり、佐世保で開催され感銘深い交歓を重ねました。

3. 当クラブの国際奉仕計画の一ツとして昨年度決定を見ました地区対地区の交換学生受入れという大事業をやったことです。慎重に時間をかけ想を練り地区委員会の助言をもとに準備を重ねましたが創設以来初めての事業なので色々と問題もあり苦心致しました。ホストファミリーの方々が進んでお引受け頂き奉仕の精神でお世話願ったのと全会員が側面よりご協力願ったので何等のトラブルもなく上々の成果を収め 第717区との国際親善に大きな寄与したことは当クラブの歴史に特筆大書してよいと思いました。郡、竹野、池田、山口（澄）、清水（一）のホストファミリーの方々ほんとうに有難うございました。

さて会長として何か記念すべきことをと存じ取組んだことを申し上げますとロータリー財団に対し当クラブを200パーセントクラブにしたいということでした。それまで永年100パーセントクラブでありましたが同財団の財源不足からこれが拡大の呼びかけがあり、他クラブが続々高単位のクラブに応募し始めたからです。幸いにして任期中に当クラブもこれが実現を見た次第で小さな私なりの足跡が印せられたことを非常にうれしく思いました。会員各位には思わぬ出費にご迷惑だったと思いますが引き続き増額運動のワンステップにでもなればと敢行したもので了承して頂けるものと存じます。その他色々な問題が次々とおこりましたが皆さんの善意で納まる場所に納まり、愉快に仕事ことができましたことは私にとり終生忘れることのできない感激でございました。特に印象に残っているものをあげますと、公式訪問、宮崎市でホストクラブとして主催した地区協議会、福岡市であった東ヶ崎RI会長の歓迎会へ参加したことなどでしょう。

任期を終りふり返って見ますと1年をご期待に副えずうやむやの内に徒費したようでまことに恐縮いたしておりますが、ロータリーについて多くの勉強の機会を与えられ人間形成の上で大きなプラスになったことは私にとり大変な収穫であったと思っております。

筆をおくに当り会員の皆様にご迷惑をおかけしたことをおわびいたします。

## 会長一年の思い出

十代会長 吉 賀 幸 夫

1969年7月1日から1970年6月30日迄が私の会長任期であったが、この1年はいつもと違って2大行事が特別附録としてついたので非常に忙がしく、任期終了最後迄気のゆるむ間がなかった。そのことを予期してか先づ冒頭から幹事が簡単に決まらず、これの人選に非常に難渋したが、最後のギリギリになって住田前会長の英智と勇断とに依って杉山名幹事を得ることが出来たと共に、住田氏個人の人物の偉大さにふれたことは私の生涯にとって忘れられない感動であった。その後の1年間、いろいろの印象的なことに遭遇したが、決してそれ以上に私の心打つものはなかった。以下主なものを挙げてみると先づ今年のR I 会長の目標は「検討し更新しよう」と、新会員を探し出すことであった。これが為めクラブでは5人1組の推選チームを作ることになった。又一方クラブ独自のものとして日高史雄職業奉仕委員長の発案になる職業奉仕賞（グリヤ賞）が制定され毎月該当者を選考して表彰することになった。

次に昨年以來準備されて来た宮崎北ロータリークラブがいよいよ誕生することになり、10月22日フェニックスホテルでその創立総会が催された。

11月8、9日両日鹿児島市県文化会館に於ける 第373区年次大会は非常な盛会で、その素晴らしい企画によって第二日が特に盛上がり、最後の特別講演「薩摩の郷中教育」はまことに圧巻であった。

1月25日は当クラブがホストクラブとなって農協会館を主会場として宮崎県ゼネラルフォーラムを開催した。

4月10日当クラブ10周年記念式典をホテルフェニックスに於て挙行。記念事業として宮崎市に「市役所公園内照明用フットライト」を寄贈した。

以上が主なるものであるがその外国際、社会等各委員会の活動も予想以上に活潑であった。最後に杉山幹事に多大なる御苦勞をおかけしたことに対しては全く感謝の言葉がない位である。

## 思い出のことども

次期会長 橋 本 一 郎

クラブ創立時に2、3ヶ月おくれて入会した私でしたが、最初の大きな行事はチャーターナイトでした。その時は交通委員を命ぜられ、式場と懇親会場がはなれていましたのでバスやタクシーの手配準備に走りまわったものでした。懇親会場は橋百貨店のホールで夕刻から開催されましたが、解散時のビジターのタクシーの手配をスムーズにしたいものだと日高真太郎（宮崎交通）会員に依頼して10台確保できたまではよかったです。

百貨店の前はその当時から駐車禁止区域でしたので、事前に交番所に諒解を受けまして「手に手をつないで」の10分前頃から百貨店前に10台のタクシーを一列に待機。やれやれと思っている時、たまたま町内会の有志某が来まして「駐車禁止区域に何ごとか」と大声にてさかんに難詰するので、警察署の諒解も得ており、又ロータリークラブの催しのことも説明し僅かの時間内の旨を話すがなかなか納得せず、あまり見苦しいのでタクシーをUターンさせて四丁目附近に待機してもらい、こちらから懐中電燈でサインして逐次誘導、ようやくビジターの用に供することができました。今のように交通量の多い時ならとても夜間サインしてもわかるものではないが10年前のことですから臨機応変の処置がとれたのですが、それにしても癪にさわってならず世の中には色々と横車をおす人もいるものだと痛感しました。その某はいま健在なりや。これは私にとってチャーターナイトの思い出の一つです。

第三代佐原会長のもとで幹事を命ぜられたのが62年の時でしたが、あの温厚な佐原会長のご指導をうけ「ロータリーとは」が大体わかったような気がいたしました。大変勉強になったと思っております。

63年からは国際奉仕、プログラム（苦勞しました）、副会長（第6代長峰会長時代）会員選衡、職業分類、会員推せん、と各委員長を命じられ今日に至っていますが、その間毎年の年次大会には二回欠席しただけでした。各ホストクラブがそれぞれの工夫をこらした開会時の雰囲気がとても印象的でなりません。そんなことで自づと例会に出席することが楽しくなります。そう言うてはいけないかも知れませんが、会社の仕事をはなれて息ぬきみたいな気持ちにもなります。お蔭さまで知り合いも広くなり嬉しく思っております。

ロータリークラブも10年たつと錆が出てくると云はれます。宮崎西クラブも丁度いまそ

の時期にきています。私たち古い会員の一人一人の錆がクラブ全体のさびになると云うことの難しい時に、私は次年度の会長に選任されました。人間的にもその器でないことを承知しているだけにいさかかとまどっている恰好でございます。それにしても歴代会長10人の先輩が良き指導者として控えておられ、その上ご無理をお願いした後藤則義（橘百貨店）副会長をはじめ、気ごころも知れた各委員長、幹事の諸士、実に多士済々で心嬉しく又気強く感じ宮崎西ロータリークラブの今後の活動にご協力を期待しているのであります。

附記 今夕新入会員を囲んで郡情報、木浦親睦委員長主催の炉辺会合ならぬ某所会合が西クラブ独特の和気あいあいのうちに行はれると思ひ喜んで出席する私です。

(1970. 5. 8)

## 苦は樂のたね

前 幹 事 後 藤 則 義

私は会社を退職してゆく人に「会社に居た時、何が一番楽しかったですか」と訊ねると、殆んど全部の人が「一泊旅行のレクレーションでした」と答える。10周年記念誌が発刊されるので、何でも良いから書いてくれとの依頼に、ふと先づ一番に思い出されることは、生来の呑気坊の故かやはり苦しかったことではなく、楽しかった事や皆さんに協力して頂いたことが思い出となる。

私は第5番目の幹事を命ぜられて、とてもその任にあらずと辞退したにも拘らず、住田会長に強引に押しつけられて、とにかく1年間とかくの批判をうけ乍らもやって来た。このことは結果的には私の仕事の上で大変役に立ったと今でも住田さんの強引さに感謝している。これは冗談だが会長は駄目だが、幹事なら再任しても良いと思う。幹事の仕事は未経験の方が多いので私の体験した効用の一部を発表して皆さんに是非お褒めしたい。先づ第一番には人の前で話をする場合に話を纏める力がついてくる。早く話を終り度いと思つて一制限時間内に一勢い話の内容を要約せねばならぬ。つまり話を重点的にしぼるコツを自ら習得する。第2番には思いがけない協力者を得たということ。勿論「会の運営」ということから言えば全員の協力を必要とすることは論をまたないが私の置かれた立場を本当に理解して貰うそういう意味での協力である。言葉で云う友愛とか親睦とかいうそんなものでなく、心からの協力程うれしいものはない。私が期待していないところに反応があつ

て、そうして協力して下さった人への感謝の気持である。このことは私の心の奥深く感じてその意義は極めて深い。

この感謝とは反対に全く違った意味で興味深い、そして有益なことを申し述べよう。それは私の会社では通達は最少限か或は0にして、直接話し、言葉で徹底するように部長級に話している。私は私なりに幹事になり立ての頃は前幹事の例に倣って、他のクラブからの情報や理事会や会長から命ぜられた事等を懸命に流した積りだが、なかなか会員に徹底しないことを知った。例へばゴルフを例にとりて申し訳ないが〇日〇時のスタートですから是非遅れないように時間を励行して下さいと伝える。金曜日の1時半の例会終了の点鐘が鳴って、いざ帰えろうとすると後からポンポンと肩を叩いて「ゴッちゃんいつや今度のゴルフは、何時のスタートや」と来るのである。生涯の記念の思い出は別府でのゴルフ第1回チャンピオン決定戦のことである。私のハンディは確か26の頃だったと記憶する。宿舎は既に転勤された日本生命名古屋支店長の鈴木安喜義さんの厚意で亀川の日生の清遊苑に泊めて頂いた。その晩は酒もビールも酒屋から持ち込んだ宅費で飲めるというので、隠れていたいやしい根性でどの位飲んだか分からないが、朝起きて風呂に入っても、飯を食ってもまだプンプン匂っていた。この日は天候にも恵まれ、第1打がものすごく飛んでグリーンのエッジ迄転んでいてこの分ならさしづめバーディーと云うところをパーをとって気を良くし、アウト39、イン44で何んとネット57、グロス賞まで頂戴してしまった。私がハウスに上っていると続いて上って来た鈴木さんが「困った困った私やクビになる」という。「なしてや」と顔を覗き込むと、何べん数えてもネットが62になる。会社から今度のコンペに貰った大カップを私が取ると「お前や宮崎でゴルフばかりしよったねでチョンだやもんな」と特に悲しそうでもなく内心得意顔なので「いいこっちゃ、そんげ心配しんな」と私は言葉を合せた。

後で背中をイヤという程どやさされたのは帰りの車の中であつた。帰りの汽車は宮崎止りの特急だったと記憶するが食堂車や到着後のロータリー活動は当時のメンバーの方々か御存知なので想像にお任せする。5周年誌にはその時の決定戦メンバー10名の裸の写真と鈴木さんの記事が掲載されている。当時の得意顔の自分を顧みて恥しい気もするがロータリー創立当時は43才の若かりし頃を思い出して懐しく、つい筆をすべらせてしまった。

多謝。

## 第九代植松会長時代の思い出と 1970年代の覚悟

前 幹 事 日 高 史 雄

私の入会は宮崎トヨタ橋本一郎氏（自動車配付）の推薦で昭和38年4月であった。それから5年経った昭和43年（1968年）7月から翌年6月迄第9代幹事として奉仕の機会を与えられた。この時の会長が植松熊太郎氏（石油配付）でシェル石油の県下特約店とその他、塗料用品等堅実経営をモットーに着々と業績を挙げられている人である。チャーターメンバーの一人でもあり、シニアアクチブで徹底、探究型というのが一種のうるさきに誤解されていたのか、或種の人に敬遠された時もあった。私はこの会長と1968年から1969年の1年間、クラブの重責を荷負うことになるので一部には「今度の幹事は可愛想だ」と称する者もいた。然し以前からゴルフその他で付き合い、植松会長の性格は多少なりとも心得ていた。自分はむしろ、この一年間コンビで大過なくその責任を遂行できる、とまで自信があった。

お互いに会長、幹事は始めてなので幾何の不安はあったが地区協議会、その他フォーラム等に積極的に参加して、ロータリーとは何んぞや、一応理屈抜きに手続要覧、幹事要覧、その他文献をむさぼり、益々ロータリーは奥深くむつかしいものだと痛感したものである。しかしなんと言ってもクラブ運営は、会長と幹事の呼吸一致が如何に大切であるかということである。

これは一般社会の人生観にも通ずるが建設的に積極的参加と互譲の精神が然らしめ、究極的には奉仕の精神の涵養と思う。

ロータリアンたるもの選挙された以上、好むと好まざるにかかわらず受命することが奉仕であり、ロータリアンたるのである。

当時西クラブにも慣れ合いからルーズさが発生しているというので植松会長はルールの確立を基本方針として堅持され、私共二人は卒先して諸活動のルール設定に努め、明るい雰囲気の中にも一本筋を通そうというものであった。

毎週金曜日が当クラブの例会だが例会前には必ず私の事務室で会合し、R I 本部、ガバナー、その他の連絡、処理、クラブ活動方針の例会リハーサルを行って、いやしくも例

会その他行事に於いて寸分のミスも起こしてならぬという真剣なもので、お陰でクラブ運営も会員各位の大方の御期待に添い得たと自負しても良いのではなからうか。

永い間低迷を続けていたロータリー財団200%達成の厚い壁も目標と行動を意識づけることで悲願も見事に達成された。

交換学生ニューヨーク州出身、カール君の一年間日向学院留学、金丸一平君の「メモリアル・コントリビューター」証書が授与されたのもクラブ始まって以来、初めての活動実績として威張らして頂き度いものである。

この時のガバナーは鹿児島クラブ出身（倉庫）大津篤造さん。ガバナーでは最も年少者と云われた。

又、この年から九州地区である国際ロータリー 第370区が2分され、熊本、鹿児島、宮崎、大分の四県が 第373区として発足、初代ガバナーでもあり、ノミネーとしての期間が与えられず即席使命で大変苦労された人である。

この頃既に1969—1970年の日高安杜ガバナーノミネーが決定、大津ガバナーと殆んど活動を同じくされているのでベテランガバナーが生れるぞ……と専らの噂で期待とシゴカレるぞ……というふた通りの印象であったと思う。

更らに永遠に銘記したいのは、国際ロータリー会長に東ヶ崎潔さんが就任された意義深い年でもあった。

日本のロータリークラブは1920年（大正9年）10月20日当時三井銀行の重役であった米山梅吉氏がシカゴの中央事務局から委任されて初めて東京にこれを創立されたものであるが以来、日本人として初めて R I 会長になられ、日本人ここにありとその真価が世界に打ち立てられた。

東ヶ崎 R I 会長は「参加し敢行しよう」

1. 貴クラブにおいて……参加し敢行すること
2. 職業を通じて……参加し敢行すること
3. 地域社会づくりに……参加し敢行すること
4. 国際的接触を通じて……参加し敢行すること

の旗印のもと活動した。中でも国際年次大会が1969年5月24日、ハワイホノルルで開催されたが日本人ロータリアン 3,000人が参加したということは前代未聞であろう。これは確かに東ヶ崎 R I 会長なるが故、且、日本民族として参加せねば…の情熱のしからしめるも

のであったと思う。

宮崎西クラブからも佐原伝次郎氏夫娘（シニアアクチブ陶磁器販付）竹野融氏夫妻（内科医）田崎亀夫氏夫妻（皮膚科医）の6人がこの国際的祭典に参加出来たことはわれわれクラブ史の特筆すべき事項の一つである。

私もだが植松会長は何事でも徹底してやらねばやまぬ性格で多忙な社業の旁ら暇さえあれば言わず語らずとも相い寄りロータリーを語ることの出来た会長と幹事というコンビが何時しか固く固く出来上った。

植松会長は年次大会10回無欠席、創立以来10ヶ年無欠席の金字塔を樹立されて、云わば優秀ロータリアンで西クラブ屈指に数えあげて良いと私は思っている。意義あるロータリアン年次の祭典に鋭々と参加する。一口に10ヶ年と云うのは易し。無欠席で奉仕に生きるその人生観こそ、われわれの鏡であり、本人御自身の企業と人体の健全なバロメーターとなるであろう。

今以って身長168㎝、体重72kgという堂々たるタイプ。健康そのものでゴルフを最大の趣味とされ、体づくりも余念がないのでこれからも益々盛んに奉仕の道を邁進される人である。

私もその何分の一でも真似してでも次代を立派に継承させて頂き度いものである。

宮崎西クラブ創立は1960年、10年後の1970年が10周年とあって苦節10年の歳月で年輪もいよいよ大きく西クラブ独得のカラーがつくれ、友愛と奉仕が一体となって成長して来た。

この10年間に世の中はすっかり変転し、オートメーションや公害やコンピューターから起る人間性疎外の時代が到来してむつかしい世の中が現れそうである。

物質成長に人間成長は伴っていくであろうか。世界の各地で紛争は絶え間なく民族斗争とイデオロギーのむき出しで果して国際社会は平和が望まれるであろうか。

幸い、1970年3月現在、148ヶ国、クラブ数14,055、会員数660,500名と発展の途上にあつて、これを大きな核として地域社会、国づくり、世界平和を長い長い道程であろうとも何10年要しようとも地道に精進せねばならぬ使命が現在のわれわれにあることを10周年を迎え、再認識せねばならない。

## 幹事思い出話

現 幹 事 杉 山 正 一

1969年から70年のロータリー年度における会長、幹事の選任については、例年の通り指名委員会が設けられて、その委員によって選考が行われたのでありますが、会長やその他の理事については、比較的容易に交渉がまとまったものの、幹事の人選についてはなかなかはかどらず、委員各位も苦勞されたようであります。従って、昭和44年1月24日の、次年度理事を指名、選任する年次総会は、結論が出ないまま流会となり、次回に持ち越されました。

その後、幹事にはK会員を選ぶという大体の話がまとまり、その確率も99%大丈夫ということだったので、次の例会で途中から臨時年次総会に切り換えて指名、選任を行うということになったようであります。

愈々その当日の2月7日を迎えました。私は、次年度幹事にはK会員が本日指名されるということ、うすうす知っていたのです。そうして、私は多分、会計に指名されるであろうと予想していました。

例会は型通り会長の挨拶や幹事の報告等がありまして、愈々臨時年次総会に移行しようとするその直前でした。指名委員の一人である住田会員（私の職場の社長）から「予定していたK君が仕事の関係でどうしても幹事を引受けることができなくなった。事情をよく聞くと已むを得ないと考へられるので、君が一つ幹事を引受けてくれ」……という突然の話です。私は気が動転する程驚きました。呆気にとられている内に指名委員から次年度理事七名の氏名が発表されて選任され、引続き被選理事会を開いてその互選により私が幹事になるという破目になってしまいました。そのあとで、新任の会長、副会長、幹事は被選の挨拶をせよ……という指示でしたが、前記しましたように突然のことなので何を話してよいか一向に考へがまとまらないままに次のような挨拶をしました。

「青天のへきれきという言葉があります。もう少し大きさに表現すれば、驚天動地ということになりますが、私の現在の心境はこのような状態にあります。それと申しますのは、幹事に指名されようとは夢想だにしていなかったのに今から15分位前に突然お前が次期幹事だと言われたからであります。しかし指名されました以上は、せいぜい勉強しまして何とかその任を果したいと思っておりますので、今後よろしく願い申し上げます」

この挨拶の中で「青天のヘレキ」という言葉を使ったことが、後々語り草になったらしく、ある会員の方から「幹事就任の挨拶としては前代未聞である。当クラブの歴史?に残る言葉となるであろう」とひやかされたことが、今となってみれば、なつかしい思い出になっています。

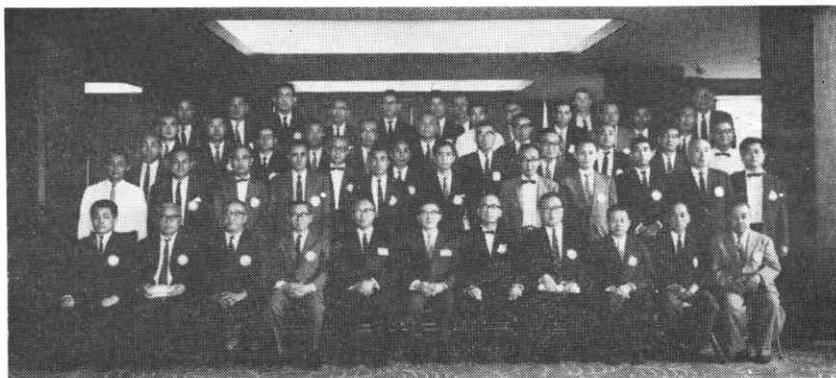
さてこのようないきさつで幹事になった私が、果してその任に堪え得るだろうかと自分自身で懸念していたところ、新年度早々にガバナーの公式訪問で先ず鍛えられ、11月の鹿児島における年次大会は、373区になってから第1回目の大会であるのでその出席勧誘に努力が要請せられ、そして1月25日の宮崎県内インターシティ、ゼネラル、フォーラムではホストクラブを委嘱されたため、年末から一月にかけて毎日のようにその準備に追われ、更には4月10日創立10周年記念式典を開催するための準備等で息つく暇もない忙しい毎日を送りました。

又5月15日には646区（アメリカ）の研究グループ七名が当クラブの例会に出席された外、宮崎市に三泊されたのでそのホストクラブとしてお世話をするという国際奉仕の仕事もありました。

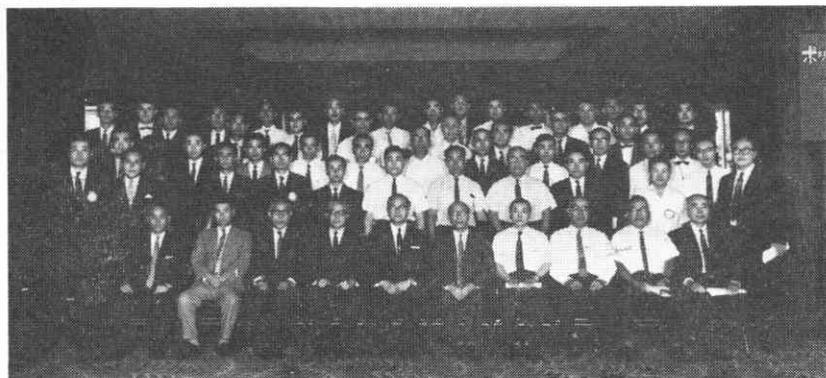
このように、比較的多忙な年度に、第10代目の幹事を無事に努めさせて頂きましたことは、会員の皆様の御支援の賜だと深く感謝申し上げますと共に、創立10周年記念という特記すべき行事が私の任期中にありましたことは、望外の幸わせだったと思っております。



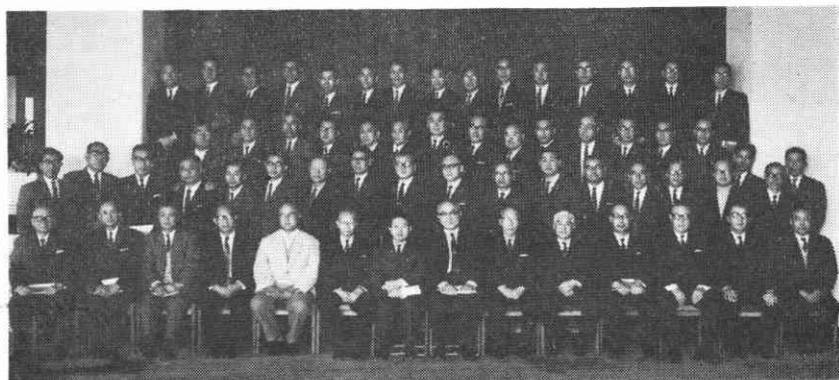
## ガバナー 公式訪問



大津ガバナーと日高ガバナーノミニー (中央) S. 43. 9. 19



日高ガバナー公式訪問記念 S. 44. 7. 25



第370区向笠ガバナー公式訪問記念 昭和42年12月12日 於 宮崎観光ホテル (宮崎R, C)

年次大会地区協議会

及び

インターシティーゼネラルフォーラム



# 国際ロータリー第370区年次大会

(宮崎市)

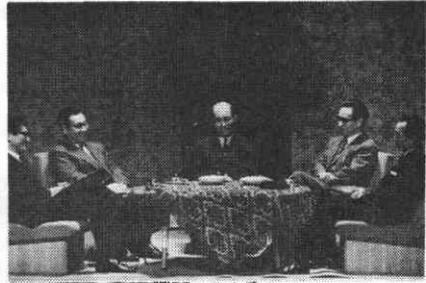
1966年11月12～13日と14日はエキスカ  
ーションと3日間に亘って開催された。  
本会議は市民会館、懇親会は神宮西神苑  
のジャイアンツフラワーの中で盛大に行  
われた。



1,600人が集ふ本会議場

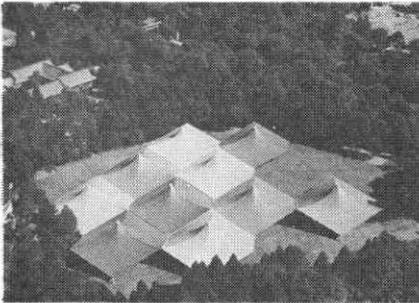


挨拶する東ケ崎RI会長代理と  
吉村ガバナー(左)  
進藤パストガバナー(右)



一般討議 『ロータリーの行進』

- 川辺会員 (宮崎西RC)
- 細川会員 (宮崎RC)
- カウセンラー
- 松本パストガバナー
- 黒水会員 (宮崎RC)
- 鈴木会員 (宮崎西RC)



宮崎神宮西神苑の大懇親会場  
(ジャイアンツ・フラワー)



大テント内の来賓懇親風景

国際ロータリー第373区地区協議会  
1969年6月8日

宮崎市農協会館に於て  
**地区協議会おわる**

従来の地区協議会とリーダーシップフォーラムを併せた69年地区協議会は、モデレーターとして手島周太郎PDGをお迎えし、晴天にめぐまれた6月8日、宮崎市で開催されました。

ホスト宮崎、コホスト宮崎西の2クラブのお世話で、開会より閉会まで諸事スムーズに取運ばれ主宰者として有難く思っていますが、同時に嬉しかったのは全体会議、分科会を通じて、参加者の発言が実に活潑だったことで、新年度を間近にした次期の方々の「やる気」充分がうかがえましたが、あれもこれもモデレーターやリーダー各位のご指導のためものであります。

目新しいプログラム「模擬例会」も、吉村分代理と平田、大野正副会長その他延岡クラブの方々のご奉仕により、肩たゞき体操に始まり、青い鳥賞贈呈などを取入れた、素晴らしい模擬例会の上演で、多大の成果をおさめました。

その前日7日には、次期地区世界社会奉仕委員会や、次期会長、幹事協議会がもたれました。



挨拶される大津篤造ガバナー

植松宮崎西R・C会長の閉会の挨拶

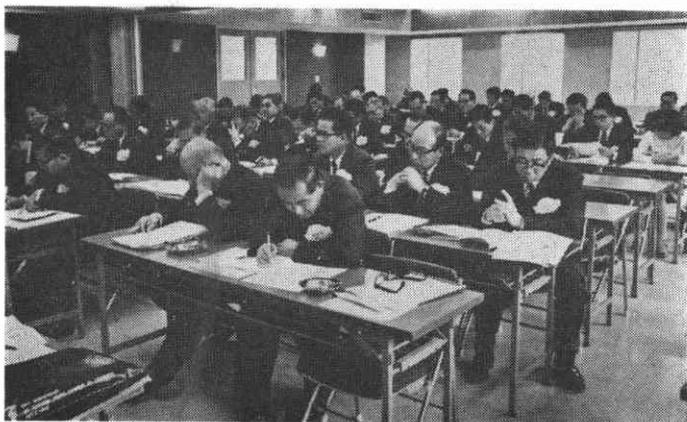
幹事部会  
商工会館3階にて

1970年1.25 インタシティゼネラルフォーラム

(県農協会館にて) 登録人員260名



日高ガバナーと島津パストガバナーの感想



部門別会場A部門の勉強振り(商工会館にて)

# 創立10周年を迎えるにあたり

ダリア賞制定 1969年7月

職業奉仕委員会

委員長 日 高 史 雄  
副委員長 三 原 七 郎  
委員 田 中 博 規

ロータリーは行動における理想であり、他人に対する思いやりと援助をすることであり  
ます。他人に対する思いやりが奉仕の基盤であり、他人を助けることがその表現でありま  
す。

職業奉仕はロータリアンの目標と業務に限られるものでなく、広くロータリアンでない  
他の人々と「共に分かち」ことであります。即ちロータリーの理想を「共に分かち」奨励  
且つ育成して奉仕することこそ、ロータリーの挑戦であります。われわれロータリーは地  
域社会を眺めてなすべきことが沢山ありますが、中でも地域社会を明るく、平和な、しか  
も職業を通じて手近かに奉仕できることは、人々の「親切な行為」だと思います。自己の  
職業を立派に果し、また真心のこもったその親切な行為は大小にかかわらず人々を救い、  
人間社会を潤おして、呉れるのであります。

我々ロータリアンは、先づ自分の職場から卒先して、この親切運動を展開し、広く地域  
社会に、善意と親切が波及され、究極の「奉仕の理想」が、達成されるよう努めるもので  
あります。

ここに「ダリア賞」となづけ広くこれを顕彰することにより、初期の目的が果たされ、  
地域社会全体に可憐なそして愛され、親しまれ、親切なこのダリアの花を一杯咲かそうと  
希うものであります。

## ※ダリア花言葉

原産メキシコ、命名者カヴニレス神父 17世紀初頭に欧州に渡り、その後改良が重ねら  
れ、多く品種が生まれ、我国への渡来は、天保13年(1842年)オランダ船が積んで来た  
と記るされてあります。

夏から秋にかけて見事な花を咲かせるダリアは、可憐なものから、大輪に至っては、華  
麗そのもので、誰からも愛され、親しまれ、親切を喜ぶ感謝の花とうたわれています。

(反面あきやすいともいわれている)

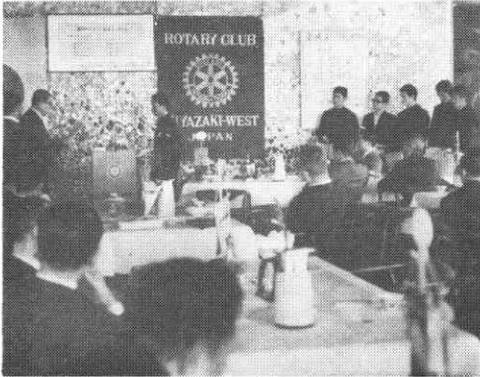
## 表彰者録

- 第1回 (住 所) 宮崎市高千穂通1丁目9の8  
(勤務先) 堺薬品株式会社  
セールスマン 甲 斐 易 19才  
(事 由) 献血で人命救助
- 第2回 (住 所) 宮崎市中央通2ノ24  
(氏 名) 飲食店経営 大久保 宏 二  
(事 由) 12年間今日今尚、無報酬で子供会の育成に尽力
- 第3回 (住 所) (1) 宮崎市船塚町232  
宮崎郵便局勤務 藤 岡 芳 穂 61才  
(2) 宮崎市原町6番地20号  
大淀工業高校教諭 鳥 丸 満 雄 49才  
(3) 宮崎市南花ヶ島町15の5  
県立工業試験場 川 口 敏 明 55才  
(事 由) 年々増加の一步を辿る交通事故を憂い、交通事故絶滅への悲願のもとに毎朝夕、業務のかたわら献身的に交通指導に永年従事された功績による。
- 第4回 宮崎市淀川町3丁目48  
江南病院勤務、 飯 塚 春 子 60才  
(事 由) 雑役婦として開設以来停年までその職業を立派に果した。
- 第5回 宮崎市大字芳土  
詩吟絃鳳会総指範、 藤 田 盛 治 60才  
(事 由) 詩吟を通して精神の統一、身心の練磨を地域社会に普及、特に刑務所の受刑者並に身体障害者のためにも無報酬で奉仕しているもの。
- 第6回 宮崎市下水流町109番地  
宮崎住宅協同組合専務理事 島 中 保 42才  
(事 由) 昭和22年以来、今日今尚ボーイスカウトを育て将来健全な国民として祖国愛に燃え国家社会に奉仕する精神を培うべく専念しているもの。
- 第7回 (1) 宮崎市潮見町60ノ3  
森薬品株式会社勤務、 坂 元 孝 紀 30才  
(事 由) 献血運動に積極的協力者20回以上  
(2) 児湯郡高鍋町道具小路  
日本赤十字宮崎県支部

- 救護看護婦長 久 家 静 子 59才  
 献血 20回以上
- (3) 宮崎市祇園町361  
 宮大農学部 4年 荒 川 省 次 24才  
 献血 22回協力
- (4) 児湯郡新富町大字三納代  
 県民生労働部社会課 官 本 善 則 55才  
 献血、27回
- 第8回 宮崎市大字熊野  
 宮崎市青年団幹事、 川 添 栄 光  
 (事 由) 青年団活動に積極的に取り組み14地区1,000名の宮崎市青年団協議  
 会の隆盛を見るに至った功績。
- 第9回 (1) 宮崎市宮脇町133  
 宮崎機関区指導機関士 斉 藤 友 則 48才  
 (事 由) 32年間鉄道員として勤務、今日まで無事故で機関士養成に尽力
- (2) 宮崎市生目、大字跡江、789  
 宮崎機関区機関士 日 高 国 男 50才  
 33年の永きにわたり機関士を天職として忠実に果たされ、奉仕  
 の精神が極めて顕著
- 第10回 宮崎市大島町立野1461  
 宮崎郵便局、集配課、外務主任  
 日 高 鉄 夫 54才  
 (事 由) 厳しい風雪を冒し40年間郵便集配職として立派に貢献。

## 勤労学生 6人を表彰

大賀副会長から表彰される模範勤労学生



宮崎西ロータリークラブ（植松熊太郎会長・会員60人）は3日から9日までの青少年週間行事の一環として、7日のホテルフェニックスでの例会席上、6人の模範勤労学生を表彰した。

今回は宮崎工業高校夜間部を対象に同校に推薦を依頼、働きながら学ぶ274人の在校生の中から成

績優秀な同校4年、長友泉（川端自動車整備工場）甲斐政利（県企業局）上野吉宏（大江整形外科）野田実（指原建設）下西利幸（谷川建築事務所）友岡三治（毎日新聞宮崎支局）の6君に大賀義人副会長から賞状と記念品を贈った。

## 過去10年間における歴代P. I会長の目標

### (1) 1960—61年度（増永ガバナー時代）

あなたはロータリーだ

ロータリアンとして生きよ

ロータリーを表現せよ

ロータリーを拡大せよ（マックローリン会長）

### (2) 1961—62年度（松本ガバナー時代）

A—C—Tで表現

行動に努めよ

理解に道を求めよ

指導力を高めよ（エピー会長）

### (3) 1962—63年度（進藤ガバナー時代）

内部に火を燃やせ

自分の力を養え

自分自分を再発見せよ

自分の目的を実現せよ (ラハリー会長)

(4) 1963—64年度 (嘉村ガバナー時代)

宇宙時代におけるロータリーの進路 地区対地区、クラブ対クラブ、個人対個人

(5) 1964年—65年度 (町田ガバナー時代)

ロータリーに生きよう

ロータリーを分ち合うことに

あらゆる職業において

地域社会の指導的任務を通じて

国際親善を通じて (ペッテンギル会長)

(6) 1965—66年度 (島津ガバナー時代)

ロータリーは実行である。

強化を続けよ

国際性を尊重せよ (テンストラ会長)

(7) 1966—67年度 (吉村ガバナー時代)

ロータリーでよりよい世界を

実行すべき10項目

1. 新会員をふやすことによりロータリーを分ち合うこと。
2. 新クラブを結成することによってロータリーを分ち合うこと。
3. ロータリーの友好を享受すること。
4. 貴地域社会が要求している事を見出し奉仕すること。
5. 貴下の事業並に専門的職業をよりよくすること。
6. 青少年へ奉仕すること。
7. 効果的広報を推進すること。
8. ロータリーの国際性を強調すること。
9. 世界社会奉仕に参加すること。
10. ロータリー財団を支援すること。 (エバンス会長)

(8) 1967—68年度 (向笠ガバナー時代)

ロータリアンとしてのあなたの資格を効果的に (ホッヂス会長)

(9) 1968—69年度（大津ガバナー時代）

参加し敢行しよう

—ロータリー進展のために—

（東ヶ崎会長）

(10) 1969—70年度（日高ガバナー時代）

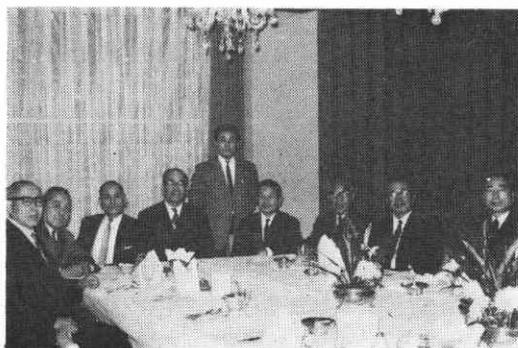
検討し、更新しよう

（コンウェイ会長）

(11) 1970—71年度（八田ガバナー時代）

隔りを取り除こう

（ウォーク会長）



### 前会長会

住田会長欠席、中央に立っている方が植松会長を扶けた日高史雄幹事

1969年1月17日コロンバンにて。

### 山の湯の宿

車窓を流るゝ街の灯は  
しとど降る雨にけぶりて  
谷間の湯の宿に  
心休めし日の想い出も色褪たれど  
今宵尚心ゆすぶる  
あの宿は彼のあたりならむ 湯気の立つ  
窓辺に憩う人の影さえも懐しく  
寄り添いて語らう姿の  
いとほゝえましく思はるゝ  
思い出の山懐に一夜を明さんと  
降り立てど  
吾が心の深みに踏み惑いて  
今宵宿りの当もなきまゝ  
再び車窓の人となる

（会員K君の旧作より）

### 久々の訪れ

久々に 訪れし  
古き街 柳川の  
流るゝ川面の 色も移りて  
唯 柳の葉ならず  
さやけき風の音のみ 昔のまゝなり  
既に尋ぬる人も無し

（会員I君の旧作より）

## 向笠ガバナーの公式訪問に伴して

(1968年)

前分区代理 田 崎 亀 夫

宮崎の年次大会でガバナーノミネーに指名された向笠氏(中津R、C)は翌年の4月レーク・プラシッドの国際協議会で10日間の教育を受けられ、その足でフランス世界大会に出席され、5月を待って吉村現ガバナーの準備された新会長、幹事の教育である別府の地区協議会に臨まれ、昨年の7月1日より正式ガバナーとして地区の公式訪問を続けられつつ佐賀の年次大会を引受けられたわけである。

レーク・プラシッドでの協議会では日本と韓国が1グループとなり日本語も通じて好都合であった。来年のR、I、会長は東ヶ崎さんで、理事には松本バストガバナーが定まっているので、日本の発言権は高まり、今まで難解であった報告書類もより日本化されることであろう。日本のロータリーはこれ程実力を持った割には宣伝が足らぬ。月報や週報等束にして船便でよいからR、Iの方へ送って頂きたい。そしてザ・ロータリアン誌に掲載して貰うとよい。

自分は教育を受けてから自づと人間が変わった。それほどインスピレーションを受けたのであろう。別に変る筈はないのに。日本のロータリアンは行儀がよい。然し日本人は固苦し過ぎる。あちらでは老も若きも肩を叩き合って打ちとける。その間礼儀という固苦しさを見ない。

昨年11月と12月に若し都合がつけば①会長幹事との懇談会②クラブ協議会③例会訪問の中①②或は③のいつれかにも出席せよとのガバナーからの日程表を受取り、担当クラブの延岡、日向、宮崎西と延岡東、宮崎と2日に亘ってお伴し、①②③全部に出席した。

向笠ガバナーは精神科医で私より背こそ高いが4~5才、若い方でお伴も楽でした。英語より寧ろ独逸語の方が得意と自分で云っておられたが、仲々英会話も堂に入っていた。延岡R、Cでの交換女学生とは成るべく日本語で話すように仕向けておられたが相手が難解の時には流調に英語を使っておられた。

延岡の宿は「喜せつ園」だったが夜はR、Iへの報告書をタイプで認めておられた。これは松本バストガバナーに習って能率を上げておられたのには感心した。退屈な私はこの暇に枯れた五箇瀬川を眼下に一句をものにした。

“晩秋の釣場々々へ土手の径、”

#### 低開発国援助について

ドイツ人のホッホ氏曰く、世界を1,000人の一つの村に縮小して見ると、村人の660人は食物が不足して毎月1～2名は餓死している。そして大人の半数以上に当る300人は文盲である。そしてその村の資源の80%が幸運な200人のところへ行く。そして残りの20%が800人に使われるという非常にアンバランスがあるわけである。つまり世界の46は低開発途上にあることになる。そこで各国ロータリアンは政府許りに頼ることなく、低開発国へのサービスが必要である。日本ではさし当り東南アジアへ。これは九牛の1毛に過ぎぬ金額は少くとも、これが相手に感動（インスピレーション）を与える動機となるのである。昨年の佐賀、長崎の水害見舞金もこの感動が復興に力づけたことは事実である。世界社会奉仕については「友」の1月号に湯浅恭三氏が新年の言葉と題してよく書かれている。韓国への植林計画、フィリピン農村への援助、韓国難民住宅建設、ボランティア・ザ・プロードがそうである。

#### 出席の法則

新会員特に新クラブでは始めは出席しながらぬものである。延岡東R、Cはその例外である。出席に努めることがミスター・ロータリアンとなる早道である。ロータリーで繰り返しインスピレーションを受けることが第2の天性となる。ロータリーと聞いただけでコンプレックスを感じないように、逆に楽しくなること。これが感動（インスピレーション）である。

#### 職業奉仕

全生活を通じて世に奉仕しようということはロータリアン個人がすることでエバンスの有名な一つのテストというものがある。それはミそれはみんなのためになるかミというのである。

延岡R、Cの「青い鳥賞」や日向R、Cの「ひまわり賞」について、学校側に多少抵抗があると聞かすが、これには学校の理解を求めることは必要であるが、あくまで感謝の意味の表彰と考えて貰い度い。延岡東R、Cではビジッターの紹介は食事前に行っている。又、ロータリーに国際性が無ければクラブは単なる親睦又は奉仕団体に過ぎないと国際奉仕の方針を高く打ち立てておられたのには感心した。

宮崎R、Cでは大分類を無くしたら将来1人1業のルールに支障を来たさないかの質問

に元の大分類が関連した職業分類に変わったばかりで、大分類をそのまま残して、これを関連した分類と考えればよい。例へば小売を除いた全部に配布というものがある。これはこの配布の中には卸、委託販売、輸出、輸入等が分けられる。

会員選考では14段階の中理事会が決定を受け入れて推薦者に知らせる6段階迄は本人には極秘にすべきである。

会員も新会員も努めて知り合うこと。そうしないと大クラブのようにお互いが知らずに過すようになる。この努力を欠くと旧、中、新の3会員層が出来て面白くなくなる。旧会員は努めて引立ての役に廻り、決して嫌気を出してはならない。

R、Iの事業は増えた。即ち青少年交換、インターアクト、組合せ地区、組合せクラブ、リーダーシップ・フォーラム、世界社会奉仕、ロータリー・ボランティア、ザ・プロード、ローターアクトがそれである。

#### クラブ、アッセンブリー出席者数

R、C	出席者数	会員数	%	順位
延岡	50	54	92	1
宮崎	49	74	66	4
日向	35	40	87	2
宮崎西	33	55	60	5
延岡東	29	36	80	3

以上ガバナーのお考えと私の感じたことを物足りぬまま綴りました。向笠ガバナーは未だ若いし、博学の士で、将来は恐らく松本パストガバナーに次ぐR、I理事候補の1人となる方でしょう。

## ロータリー財団とは

1928年ミネアポリス大会で設立されたもので、寄附はあくまで自発的なものとされているが、我がクラブでは新入会時に1ドルの寄附をすることに内規している。

その目的は

- 1) 国際理解を深める目的を以ってロータリー財団奨学生制度を増強すること。(基金の大半はこの目的に使用されている)。1970~1971年度は我が国で大学院課程11名、大学課程2名、専門的訓練研究生1名計14名中女性が3名決定している。
- 2) 異国民間のよりよき理解と友好を助長すること。
- 3) 戦争又は災害によって被害を受けたロータリアン及びその家族に対する援助で、現

在奨学生の総計は 2,500名に達し、出費は25億円に及んでいる。ロータリーの一大事業の一つである。

## 米山記念奨学会の役割

R・I 理事 東京 松 本 兼 二 郎

まず第一に、この奨学会は故米山梅吉翁のロータリーにおける巧績を記念するために創められたものであるから、その役割は飽くまでもロータリーの目的の線に沿ったものでなければならない、この大前提の上立ってこの奨学会の役割を要約すれば次のように云えるであろう。

奨学会給費生が留学の目的を達成してその祖国の健全な発展のために貢献し得るよう援助を与えることは申すまでもないが、それと同時に彼等の、わが国に対する理解を深め、また彼等をしてその祖国の、わが国に対する理解を深からしむべく力を致さしめ、これによって将来彼等の祖国と、わが国との相互理解を深めようというのがこの奨学会の役割でなければならない。そして惹いては更に進んで対日本関係のみならず、アジア各国相互間の理解増進にまで一役買うことができるならば、ロータリーの推進にも大きく貢献することができ、わが国におけるロータリーの父とも云うべき故米山翁にも喜んで頂けるに違いない。

今後の在り方についても、上述の役割を十分に果たすことのできるようにすることが最も望ましいこと申すまでもないが、会の資金が充実するにつれて更に一步を進めて、給費の対象を学生以外にまで拡大することも考えられる。否、もう既に特殊ケースとして、学生以外の人に対する給費のケースが一件、理事会の議にかけられている

備 考

我が宮崎西 R、C は創立当初より会員 1 人年間 1,000 円宛負担し、1970 年現在 267,000 円の実績をあげている。こうして地元宮崎大学へ留学する東南アジアの学生への御世話も出来るのである。今年は 90 名の奨学生が予定されている。

## 国際色あふれる万国博例会 (1970年)

例会場エキスポクラブは毎日正午開会、午後 1 時半散会。登録費はビジターと主催クラブとを問わず 1 名 1,100 円 (約 3 ドル)。第 1 日の 3 月 16 日の大阪 R、C を皮切りに毎日

クラブが交代して9月の万国博閉会までに153回を主催することになる。この実績はロータリー史上に特筆すべき一章を残すであろう。

## 地区会員増強委員会について

竹 野 融

ロータリーのエクステンションの一つとして、又新しく地区会員増強委員会が生れた。日高地区ガバナーからその委員の委嘱を受けたのが、昭和45年3月末で、その第1回会合が4月26日（北クラブR、I加盟認証状伝達式の日）午前10時から宮崎観光ホテルで行われた。

委員会構成メンバーは次期ガバナーノミニーの小田一昭氏（熊本南R、C）が委員長、安井英三氏（川内R、C）、小林真一氏（竹田R、C）と小生の4名である。当日の会合には日高ガバナーは勿論のこと、その外吉村、島津両パストガバナーも出席された。

この委員会の主たる任務は地区内各クラブの内部拡大にあり、そのためには如何なる具体策を持つべきかと云ふ点に関して協議がなされた。さし当ってはそのクラブの実態把握が急務であり、アンケートや実地訪問等が行はれることになるであろう。そして適切な指導、アドバイスに依って担当地域内の会員増強に役立てば幸である。（45・4・28）

## ロータリアンとなりて

菊 池 皓 一 郎 会 員

最初に私事を申し上げて恐縮ですが、西クラブに入会させていただきました最初の例会日（5月2日）が私の誕生日であり、私個人として最良の日になったと喜んで居りました所、先輩より新入会員の手引を頂き、それによりますとロータリークラブの創立記念日が2月23日になって居り、此の日が丁度長男の誕生日に当りますので、私としましては理屈ぬきに親しみを感じて居る次第です。5月2日入会しまして2ヶ月になりますが、只今の所は毎週の例会に出席して少しづつロータリー精神の基本的な考え方即ち『奉仕の理想』についての考え方を卓話を通じ又雑談の合間に勉強して居る所です。私は現在親睦委員会に属して居りますが、幸運でありました事は入会早々に地区協議会と親睦会が行われた事です。これによって①ロータリークラブの何たるかを身をもって体験出来た事（少

々オーバーな表現かも知れませんが) ②先輩諸兄多数の方々と顔見知りになり、実懇に話し合う機会を得た事であります。

此の行事がなかったならば現在の様に入会早々から気軽に親しみを持って毎週の例会を楽しく過す様になれたかどうか疑問に思います。特に田中委員長の新入会員に対する御心づかいには心から感謝して居ります。

お蔭様で現在ではすっかり会場の雰囲気にも馴れまして、一日も早く掲げられた四つのテストを理解し良きロータリーアンとなる為努力し、会長の提言された「参加し敢行しよう」の言葉の真意を理解し、実行したいと思しますので宜敷く御指導賜ります様お願い致します。

## 先ず 100% 出席を

### 大 健 耕 嗣 会 員

金丸さんの紹介により 5 月から入会出来ました事を心より感謝して居ります。

昨年までは青年会議所に籍を置き 16 年余り奉仕して参りましたが、ロータリークラブに入会して其の層の厚さに驚きました。未だ日が浅いのでロータリーについて認識不足な事ばかりで申わけなく思っておりますが、時間をかけ出席する事によって色々勉強して行きたいと思えます。入会時に 100%出席を約束し、なるべく西クラブに出席しようと思いましたが、商売の都合上どうしてもメーキャップしなくてはならない状態になり、7 月 1 日迄に 3 回メーキャップしてしまいました。そこで、はじめて前取り後取りと云う事を覚えました。例会は毎週金曜日のお昼 1 時間と云う事で、はじめは変な気もしましたが然しなれてくるとその時間内に SAA 報告、出席率報告、幹事報告と無駄なくスムーズに議事が運ばれ、時間がくれば終了の合図と同時にサッと引上げて行かれる雰囲気は実にさわやかに感じ、例会に出席する事が楽しくなります。それと毎日献立の変る料理も楽しみです  
が……

幸い 6 月には地区協議会が行はれ、私は記録係として朝早くから終了迄スナップ写真を撮って廻ったのですが、各会場とも年代の差なく真剣に議題に取組み討論されている姿を見て、ロータリーに対する認識を少しでも得る事が出来ました。私も早く皆様の中に溶けこみ御指導をうけつゝ行動力、発言力のあるロータリー会員に成長して行きたいと思えます。

## 時間の厳しさ

佐 原 正 晃 会 員

近代人の挨拶として「忙しい」と云う言葉がよく使われている如く、特に日本人は忙しいスケジュールに追われているようですが、その忙しさを有効に消化するために、如何に時間を大事にしなければならないかをロータリーに入会して特に感じるようになりました。時間の厳しさをロータリーを通じて自己の修練としたい。

## メークアップの感想

三 城 銚 二 会 員

金曜日例会日の時、往々にしてノッピキならぬ用務のため欠席する事屢々である。しかし西クラブ創会時入会させて戴いて、其の後欠席が多くなり、皆様に対して御迷惑が多いので数年前勇退させて戴き、其の後再び御推薦を戴いて再入会させて戴いた以上、断乎名誉挽回のため「無欠席」の金字塔を打建てるべく万障繰合せメークアップしている事です。

主として宮崎、延岡、日向、都城、日南の5個所で殆んど致しております。会場の上等下等を問わず雰囲気としては、やはり我が西クラブが会場のよさ、雰囲気の良さ共県内一番じゃないかと思ひます。他クラブを1つ1つ指摘するのはタブーと思ひます。良い点のみを拾い上げたいと思ひますものゝ、やはりどの面を見ても概念的に、我がクラブが県内一番と思われてなりません。人員の比較的少いクラブを見ると、我がクラブの発足当時を思ひ出し、メンバーが少いなら少いなりに、あゝすればこうすれば、もっと楽しい家族的クラブ運営が出来るのじゃないかと、内心色々考えさせられますが…他クラブの事ゆえ？兎に角会場の良さ、交通の至便さ、料理の良さ、例会全体の雰囲気共我が西クラブが県内第一ではないでしょうか？SAA報告、出席状況報告、幹事報告等、若手のスピーチは気魄と若さの躍動を覚え、他クラブも我がクラブを見習って下さいと云う自画自賛の内心であります。

一度日南クラブでメークアップした時、知友の方がいられた関係か、或いは又日南クラブの方が申された様に他クラブからのメークアップが少い関係からか、大変心温い歓迎をうけて感謝した事でした。

とりとめもない感想文にて申訳ありませんが、所感の一端を上を通り披露して小生の責を終らして戴き度いと思ひます。

## 東京世界大会の思い出 植松熊太郎

日本のロータリーアンが久しく待ち望んだ R I 東京世界大会が2万3千人を超えるロータリー歴史上空前の参加者を集めて昭和36年5月28日より31日迄、東京都の晴海の会場で行われました。特に7千人を超える海外からの参加者は其の圧巻でした。エービー会長は無論の事マロフリン前会長、ゲルジー大会委員長、其の他役員と其の夫人等、恐らく二



東京世界大会

度とこんな顔ぶれが一堂に揃われた事は無いと存じます。之等の人々が日本人の誠実と親切に接し、日本に対する認識を深め国際理解と親善とに寄与した事は顕著な事実で大きい収穫であった事と信じます。全国の各クラブからは固より当クラブからは田中、菊池、宮下、近藤の諸君とその夫人及び、私共夫妻が参加致しました。何分当クラブとしては、発足後日も浅く、万事不馴れの東京では戸惑う事があるのではないかと心配致しましたが、ホストクラブの御世話が用意周到、万端行き届いて、大会の各行事に臨むことが出来て、参加してよかったと思えました。

特に29日の天皇・皇后両陛下の御臨席を仰いでの開会式は、陛下の厳粛にして堂々たる玉音のメッセージは勿論の事、故池田首相の挨拶も日本の宰相として申し分のない立派なものでした。更にマロフリン前会長や、ゲルジー大会委員長らが、演壇に立つ毎に陛下に対し最敬礼を払っての動作は、我々日本人として、心暖まる感激でありました。



1961年東京世界大会記念の額

数多くの各部門別の行事はロータリーアンの良識とホストクラブの周到なる手配とにより、大成巧の裡に幕を閉じました。それは色々な点で、日本のロータリークラブ史上、特筆に値するものが多かったと思えます。

## 1969年第60回ホノルル世界大会に出席して

田 崎 亀 夫

5月26日大会場のホノルル・インターナショナル・センターは全く野球場を小さくした円形大劇場となっていて、ここに66ヶ国から14,453名が参加した。今年は丁度日本の東ヶ崎会長の主催で、松本R I理事も加はり会場はいかにも南国ハワイらしいアロハにムームーに日本の和服姿も美しく各国のロータリアンとその家族で埋められ、日本からは家族共3,801名の大量の出席であった。開会式に次いで四つの本会議を4日間で終了した。最後の夜は会長招待の大舞踏会があった。大会場へは毎日散在する多数のホテルと直結したスペシャルと書かれた無料のバスが通るよう便



「ルアウ」野外パーティー



1969年第60回世界国際ロータリー大会（ホノルル・インターナショナル・センター本会議場）

宜さ。これに乗り合はず各人と挨拶を交はすだけでもよい親善であった。大会の感激は東ヶ崎会長が日本語で挨拶されたことと会場に響くロータリアンの中から日本人だけが指名されて起立し、日本語の「奉仕の理想」の合唱を許されたことである。大会終日のハイライトは何と云ってもアポロ8号の船長ポーマン宇宙飛行士の講演と月世界の映画であった。「原始時代から持っていた人間の英知

で、ついに月を廻ることが出来た。月から見た地球は最も印象的で美しく宇宙に浮いた船のように感ぜられた。この美しい地球上の人類は神の加護の下に、東西の別なく友愛と平和の手を伸べて協力したいもの」と月まで持って行ったクラブのバナーを見せながらの熱演であった。大会は全く奉仕に充ちた整然たる司会ぶりであった。宮崎西R、Cからの参加者は佐原父娘、大古殿夫妻、竹野夫妻に私夫婦の8名であった。

尚一夜「ルアウ」と云ってハワイ独特の野外パーティーが三つの会場に分れ、打ち解けた雰囲気で見学会が催おされた。(会費1人10ドル)

- ◎椰子の浜残るかがり火月涼し(茶山)
- ◎とまどへるドルの計算アロハ買う(賜恵)

## 宮崎北ロータリークラブが発足

### 市内で3番目 奉仕の理想かかけ

1970年宮崎北ロータリークラブの発会式が22日、ホテルフェニックスで開かれ、会長に境大和氏、副会長に菊池清氏を選び、日高安壮ガバナー、増田商工会議所会頭、畠山宮崎警察署長が祝辞を述べた。宮崎市のロータリークラブは、これで宮崎、宮崎西について3番目。宮崎北ロータリークラブは江平を中心にした北部地区で奉仕活動をするようになるが、発足は、ガバナーから特別代表に志多熊吉氏を任命、宮崎の両クラブがホストクラブとなって9月初めから準備がすすめられていたもの。会員は各業種から1名ずつの30人。国際ロータリー 第373地区では50番目のクラブとなるが、国際ロータリーの認証状が届いてから正式にクラブとしては認められる。

#### 日高安壮ガバナーの話

日高安壮ガバナーは「ロータリーの精神は個人的にも団体的にも奉仕ということが、われわれロータリアンの究極の目的であり、国際ロータリーの定義にも個人に重きをおく奉仕の理想を実行する事業者、専門的職業人の世界的友好団体であるとうたっています。一般にロータリーの本質をあまり知られていないがロータリークラブがふえることはそれだけ地域社会のためにもなることでいいことです」と語っている。

## 宮崎市にローターアクトクラブ誕生

青年たちの社会奉仕組織、宮崎ローターアクトクラブの創立総会が宮崎RC提唱のもとに1970年1月13日午後6時半から宮崎市の観光ホテルで開かれ、40人の会員や清山市長、畠山署長、増田商工会議所会頭らのほか宮崎ロータリークラブ会員たちが出席した。

宮崎ロータリークラブの志多熊吉会長が「若さとファイトで社会奉仕に活躍、市民を指導する力になってほしい」と同クラブの誕生を祝った。

40人の会員一人々々が拍手の中で紹介され、代表の石井順子さんに会員バッジが贈られた。

役員選出に移り佐藤俊三さん(25)＝宮崎銀行勤務＝が会長に選ばれた。佐藤さんは「千のことでより一つの行動で期待にこたえたい。若さをぶつけて活動し、生涯の喜びにしたい」とあいさつした。(宮崎日日新聞より転載)

### ローターアクト・クラブとは

ロータリークラブ提唱の下に17歳より25歳までの青年男子又は青年男女より構成される組織体で、その目的は、あらゆる職業において高い道徳的基準を受諾し尊重すること、地域社会に対する奉仕を通じて指導力と善良なる市民精神を育成すること、及び国際理解と平和とを促進することにある。

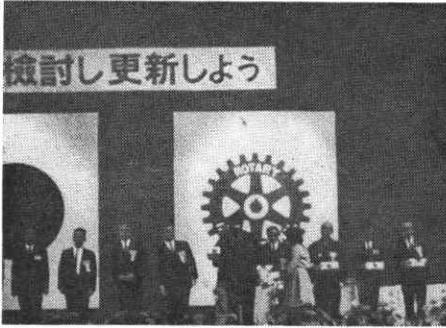
ローターアクト・クラブは、1つのロータリー・クラブまたは数クラブによって結成され、後援され、かつ指導監督され、国際ロータリーの証明と承認を得て設立される。

## 年次大会10年連続出席の表彰に浴して

植 松 熊 太 郎

昭和44年11月8日～9日鹿児島において開催された地区大会は、第373区に分れて単独で運営された第1回のものであった丈に地元の関心と盛り上がりはすさまじいものがあり、参加者も1,800名を越す多数のロータリアン及びその家族で会場をうずめ厳粛の内にもなごやかな雰囲気多彩なプログラムもスムーズに運び全員強烈なインスピレーションを味わい、2日に亘る大会の幕が閉じられました。その晴れの舞台で地区大会10年連続出席

者11名にその労に対して大会委員長より表彰状と記念品の授与が行われ、私もその末席に加えられて喜びと感激に身のしまる思いを致しました。この表彰は他の地区大会で行われ

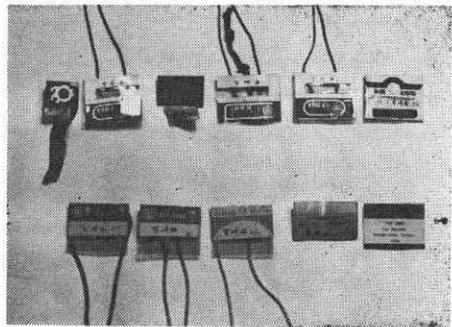


年次大会10年連続出席者表彰式 1969年  
鹿児島大会にて（向って右端が植松会員）

たことなく始めての企画だとのことでその資格審査のせつ、私の場合京都の西日本地区大会を含め10回、東京世界大会を含めると11回出席しておりましたので、この旨届けを致しましたのですが、切られた後で当クラブを含め宮崎市内で私1人県下で他に4名がその該当者だったとの知らせをうけ余りに少ないので意外でしたが、反面私の感銘

と喜びは大きく今更乍ら10年の年月の長さが実感としてわき、その間の各地区大会の追憶が楽しく続き感慨深いものがありました。それにしても昭和35年の第1回目の場合もこの度も地区大会開催地が計らずも鹿児島市であったことはまことに偶然とはいえ何かの因縁のように感ぜられその奇縁に驚いております。最初の時当クラブは創設の年でチャーターナイトを間近かにひかえておりましたので何かしら期待と不安の気持ちでしたが、出席してロータリーの真髄をつかんできたいとの意欲に燃え全員ほとんどが登録をし、当日バスを仕立てて早朝に出発終日同一行動をとりその夜帰途につきました。車中各自がその体験と感想を述べ当クラブの今後の育成と進展のためお互い友情を分かち合おうと堅く誓い合い大いに気炎を上げたものでしたが、それも昨日のようになつかしい思い出です。地区大会には参加することに意義があるといわれております。これは出席を重ねる内に自づからその意味が学びとら

れるものと思います。今後はその理解のもとに多数の当クラブよりの連続参加者の実現を見ることを期待し念願して止みません。私としても表彰の榮に浴したことを肝に銘じ、今後も引続きこの記録を更新してゆきたいと心ひそかに誓っている次第であります。



年次大会の各ネームプレート  
鹿児島—熊本—小倉—福岡—別府—京都—宮崎—佐賀—佐世保—鹿児島、ホノルル（番外）



ク ラ ブ 年 誌



# ク ラ ブ 年 誌

(1966年~1970)

1966年

(竹野会長・鈴木幹事)

- 7月1日 315回例会 クラブ協議会 理事会 地区協議会報告  
 6日 名誉会員有馬美利君逝去  
 7日 社会奉仕委員会開催 (吉賀宅)  
 8日 316回例会 理事会 雑誌会報、出席親睦SAA委員会  
 13日 地区大会協議会  
 15日 317回例会  
 22日 318回例会 クラブ協議会  
 29日 319回例会 県内ロータリー会員名簿配布
- 8月1日 理事会 (竹野会長宅)  
 5日 320回例会  
 12日 321回例会  
 19日 322回例会  
 24日 インターアクト会員とA F S会員との交歓会 (大賀宅)  
 26日 323回例会 クラブフォーラム (青少年)
- 9月2日 324回例会 理事会 クラブフォーラム (インターアクト・職業奉仕)  
 9日 325回例会 クラブ協議会 (社会奉仕)  
 14日 四大奉仕、雑誌、合同協議会  
 16日 326回例会 クラブアッセンブリー (地区大会)  
 17日 会長・幹事会 エピノ (小林R・C主催)  
 23日 祝日による休会  
 24日 都城I A C 認証状伝達式へ竹野会長出席  
 30日 327回例会 理事会 観月家族会 (ホテル・スカイルーム)
- 10月1日 新入会 津田剛  
 4日 退会 織田順二  
 7日 328回例会 理事会 (三ヶ月決算報告)  
 8日 地区大会選挙人決定 (長峰市次・田中博規)  
 14日 329回例会 クラブ協議会 (地区大会)  
 15日 退会 吉田徹  
 21日 330回例会 理事会 クラブ協議会 (地区大会)  
 22日 有田R・C五周年式典へ祝電  
 28日 331回例会 クラブ協議会 (部門別協議会)
- 11月4日 332回例会 クラブ協議会 (木浦義雄) 新入会

- 8日 合同アッセンブリー（宮崎ホテル地区大会）
- 11日 休会
- 12・13日 地区大会開催
- 18日 333回例会 理事会 クラブフォーラム 親睦委員会
- 25日 334回例会 百萬弗食事 クラブ奉仕委員会
- 30日 親睦委員会 社会奉仕委員会
- 12月1日 合同協議懇談会（宮崎ホテル）
- 2日 335回例会 クラブ奉仕委員会 理事会 中山正一新入会
- 8日 会員選考委員会
- 9日 336回例会
- 15日 親睦委員会 社会奉仕委員会生目地区へ老人クラブ訪問
- 16日 337回例会 歳末助けい家族会、（長田亀市）新入会
- 23日 338回例会 理事会 盲学校へオルガン明星学園へ 盲人用卓球台を贈る（社会奉仕委員会） 宮崎商業IAC会員と協議懇談会（インターアクト委員会）
- 24日 NHK助けいに協力 金一封を贈る（社会奉仕委員会）
- 25日 世界社会奉仕委員会への66計画へ拠金
- 30日 339回例会 クラブ協議会
- 1967年
- 1月6日 340回例会後クラブアッセンブリーを行なう。（公式訪問の打合せ）  
例会員紹介 古谷正夫・新原秀丸
- 10日 社会奉仕委員会が児童福祉園、児童相談所、小戸母子寮、宮崎保護観察所、大宮・大淀両定時制高校慰問し御年玉を寄贈する。
- 13日 341回例会
- 16日 第375区韓国 インターアクト9名来宮し、宮商インターアクトと交歓会を行なう。週報特集号を発行
- 20日 342回例会
- 22日 インターアクト諮問委員会 於宮崎高校14.30より
- 26日 親睦会 於江南荘 17時30分より 参加25名
- 27日 343回例会 クラブ協議会 宮商インターアクト新旧役員に記念品贈呈
- 2月3日 344回例会
- 9日 吉村ガバナー公式訪問 18時より 橘百貨店5階グリルに於てクラブアッセンブリーを行なう。
- 10日 345回例会 例会に公式訪問として吉村ガバナー出席
- 17日 346回例会 杉の子子供会の表彰を行なう。 椎屋喜之進君退会
- 24日 347回例会 理事会（次年度理事選出の件）
- 3月3日 348回例会 年次総会（理事選出）

- 9日 エヴァンスR・I会長来日につき、会長・幹事、福岡歓迎会に出席
- 10日 349回例会 湯浅雄夫君健康回復に就再入会
- 3月17日 350回例会 世界理解週間
- 19日 インターシティ・ゼネラルホール、都城に於て開催
- 22日 国際奉仕委員会、市内外人を招いて懇談会を行なう。
- 24日 351回例会理事会（新理事）役員構成について
- 31日 352回例会 次年度役員委員長発表
- 4月7日 353回例会 新年度各委員を決定
- 8日 次年度新委員長アッセンブリー
- 10日 理 事 会
- 14日 354回例会 次年度クラブ各委員発表及び新事業計画と予算の提出要請
- 19日 次年度青少年委員会 於おぐら
- 21日 355回例会
- 28日 356回例会
- 5月1日 理事役員会 ホテルフェニックス 17.00より
- 5日 こどもの日につき休会
- 12日 357回例会 本日より例会場をホテルフェニックスに移転する  
理事役員会 13.30より
- 14日 会長幹事会 日向市に於て
- 19日 358回例会 当クラブより次期宮崎県北部分区代理として田崎亀夫君任命される。
- 26日 359回例会
- 6月2日 360回例会
- 9日 361回例会
- 10日 愛の鐘の趣意碑除幕式を行なう。
- 11日 地区協議会 於大分 新会長・幹事・広報委員長・分区代理出席
- 16日 362回例会 理事会（新年度予算）
- 23日 363回例会 クラブアッセンブリー（予算審議）
- 30日 364回例会 旧役員の退任あいさつ 理事会（新旧理事合同）
- 30日 日米学校親善レスリング試合開催、試合後宮商インターアクトとの交歓会
- 1967年** **（大古殿会長・川辺幹事）**
- 7月7日 365回例会 本日より新年度の例会に入る  
新役員・委員長の挨拶 理事会（金谷氏の退会、愛の鐘趣意碑の分担金に就て）
- 14日 366回例会 金谷君退会 クラブアッセンブリー（委員長・副委員長）

ホテルフェニックスに於て 19.00より (決算報告、本年度のクラブ運営)

日向学院短大日本一周奉仕団出発の挨拶

- 22日 } インターアクト韓国訪問 結団式 於大宰府  
23日 } 官商インターアクトクラブより小浦君と当クラブより諮問委員長参加  
25日 1. 長崎、佐賀両 R・C に豪雨見舞金送付  
2. インターアクト県内連絡協議会第1回総会 参加校 官商高校、延岡・日向工業、都城高校、4 高校 40名 於宮崎市
- 27日 青少年委員会 於いろは
- 28日 368回例会 第370区の国際地区対地区組合セクラブはアメリカの第717区、第719区、第721区となるリーダーシップフォーラム出席者会合する
- 8月4日 369回例会 理事会
- 11日 第370回例会 親睦会 於江南荘 19.00より (新会員の為の懇談会)
- 8月18日 371回例会 当クラブの新しいバナー完成 理事会 (三城君の再入会に就て)
- 18・19日 第370区、第3回インターアクト連絡協議会 於鹿児島市、当クラブより諮問委員長、官商インターアクトより4名参加
- 25日 第372回例会 例会後理事会
- 9月1日 第373回例会 三城鑄二君再入会  
都城北、延岡東R・Cのチャーターナイトについて協議会  
宮崎クラブと親善ゴルフ対抗試合を行なう
- 7日 地区リーダーシップフォーラムに参加 於福岡市 会長、プログラム、国際奉仕、情報委員長出席
- 8日 第374回例会
- 15日 敬老の日につき休会
- 18日 家族同伴の観月会 於住吉海岸
- 22日 第375回例会クラブアッセンブリー 於江南荘18.00より  
(ガバナー公式訪問に就て) 同時に職業奉仕活動に就てクラブフォーラムを行なう
- 23日 当クラブゴルフ会年次大会を行なう 於美々津  
優勝 古谷 君
- 29日 第376回例会 理事会 (ガバナー公式訪問に就て及び松岡正作君入会の件)

1968年 (植松会長・日高(史)幹事)

- 7月5日 第414回例会 新役員挨拶
- 7月12日 理事会
- 7月12日 第415回例会 名誉会員決定 (黒木知事・清山市長)  
テーブルマスター制度制実施 (8人) 理事会 (国際青少年交換学生の受入

れについて)

- 7月19日 第416回例会 委員長就任挨拶
- 7月26日 第417回例会理事会
- 8月2日 第418回例会 臨時総会
- 8月9日 第419回例会 臨時理事会
- 8月16日 第420回例会 交換学生(カール君) 8/19来宮 ホストファミリー郡会員  
～17日 インターアクト連絡協議会 於 えびの高原 宮下会員参加
- 8月23日 第421回例会 交換学生 カール・アレン・パックハーバー君挨拶
- 8月23日 ディストリクト・リーダーシップフォーラム 於 熊本 参加者 植松 川辺  
竹野 岩井(モデレーター) 第365区平沢 PG
- 8月30日 第422回例会 古谷会員退会
- 9月6日 第423回例会 理事会 リーダー シップフォーラム報告 10年史準備委員会発  
足(委員長)田崎(委員)竹野 佐原 吉賀 鈴木(唯)黒木勝 三原 金  
丸
- 9月13日 第424回例会 臨時理事会
- 9月15日 交換学生オリエンテーション開催 於 熊本 参加者池田、郡、カール君
- 9月19日 クラブアッセンブリー (公式訪問)大津ガバナー 吉村分区代理  
(出席者)日高ガバナーノミニエ 参加者 各役員 委員長
- 9月20日 第425回例会 公式訪問 老人ホーム テレビ寄贈
- 9月25日 クラブ協議会 参加者 各役員 委員長
- 9月27日 第426回例会 カール君 清山市長訪問 メッセージ伝達
- 10月4日 第427回例会 理事会 クラブアッセンブリー近藤守夫君退会
- 10月11日 第428回例会 観月会 於 ヘルスセンター 参加者21名
- 10月18日～19日 第429回例会 第370区第373区合同年次大会 於 佐世保
- 10月20日 参加者 植松 日高(史)橋本(一) 金丸 川辺 菊池稔 三原 佐原 竹  
野 竹内 角地 山口 カール君
- 10月25日 第430回例会 クラブアッセンブリー
- 11月1日 第431回例会 理事会 クラブアッセンブリー 新入会員 小野 粹君
- 11月8日 第432回例会 クラブアッセンブリー
- 11月15日 第433回例会 理事会 ホストファミリー 郡君から竹野君引継ぎ
- 11月22日 第434回例会 宮崎商業インターアクト会員訪問
- 11月29日 第435回例会 上田合邦君一時退会
- 12月6日 第436回例会 理事会
- 12月13日 第437回例会
- 12月20日 第438回例会 理事会 年末助け合い家族会 於 ホテルフェニックス

出席者 95名  
 12月27日 第439回例会 理事会 クラブアッセンブリー  
 米山記念館設立 3万円寄付 水俣病患者 1万円寄付 ひまわり学園テレビ寄贈 新入会員 安倍良一君

1969年

1月10日 第440回例会 理事会 新入会員 日高照雄君  
 1月17日 第441回例会  
 1月24日 第442回例会 年次総会 元会長会 於 コロンバン  
 1月31日 第443回例会 徳家孝君退会  
 次年度理事指名委員会 住田 竹野 田崎 栗林 長峰 大賀 池田 大古 殿 植松 日高  
 2月1日 宮崎R・C、宮崎西R・C合同理事会 於 商工会館  
 2月7日 第444回例会 臨時総会 勤労模範学生表彰式  
 2月14日 第445回例会 理事会 クラブアッセンブリー 県下会長 幹事会  
 2月21日 第446回例会 日高ガバナーノミニニー出席 宮崎商業選抜野球1万円寄付 鈴木唯吉君退会  
 2月23日 ロータリー創立記念日  
 2月28日 第447回例会 理事会 新入会員 服部正次君 安倍良一君退会  
 3月7日 第448回例会 クラブアッセンブリー 日高ガバナーノミニニー 出席ホストファミリー山口引継ぎ  
 3月8日 新会員懇話会 於 伊勢ヶ浜ヘルスポーター  
 参加者(リーダー) 佐原(会員) 森 小野 清水(利) 松本 服部  
 3月8日 宮崎R・C 宮崎西R・C合同理事会 於 ホテルフェニックス  
 3月14日 第449回例会 理事会 クラブアッセンブリー  
 3月28日 第450回例会 川南心身重症患者へテレビ寄贈

次年度役員決定

会	長	吉 賀 幸 夫
副	会 長	堺 久
幹	事	杉 山 正 一
会	計	長 田 亀 市
S	A	A 山 口 澄 夫
職	業	奉 仕 委 員 長 日 高 史 雄
社	会	奉 仕 " 藤 井 勝
国	際	奉 仕 " 竹 内 三 郎
青	少	年 " 角 地 次 男

ロータリー財団〃 中 山 正 一  
 クラブ奉仕〃 堺 久  
 出 席 〃 田 中 秀 男  
 職業分類 〃 後 藤 満  
 親 睦 〃 木 浦 義 雄  
 会長選考 〃 植 村 熊太郎  
 プログラム〃 大 賀 義 人  
 広 報 〃 岩 井 隆 一  
 情 報 〃 郡 嗣 彦  
 雑 誌 〃 鈴 木 敏 道  
 会員推薦 〃 橋 本 一 郎  
 会 報 〃 岩 元 信 蔵  
 インターアクト 黒 木 正 光

- 4月2日 交換学生オリエンテーション 於 雲仙 参加者 竹内 カール君  
 4月4日 第451回例会 理事会 クラブアッセンブリー  
 4月11日 第452回例会 クラブアッセンブリー  
 4月13日 地区内旅行交換学生来宮 インターアクトクラブ員と交歓会  
 於 ホテルフェニックス  
 4月18日 第453回例会  
 4月25日 第454回例会 理事会 ホストファミリー橋本（一）君引継ぎ 松本敏雄君一時退会  
 5月2日 第455回例会 理事会 クラブアッセンブリー 新入会員 大健耕嗣 菊池皓一郎 佐原正晃君 国立宮崎療養所にテレビ寄贈 カリタスの園にオルガン3台寄贈  
 5月2日 ホストファミリー懇親会 於 源  
 5月9日 第456回例会 クラブアッセンブリー  
 5月16日 第457回例会 小戸母子寮テレビ寄贈  
 5月23日 第458回例会 若曾根方志君退会  
 5月30日 第459回例会 国際年次大会 於 ホノルル 参加者 大古殿 竹野 田崎 佐原君  
 6月6日 第460回例会 理事会 クラブアッセンブリー  
 6月7日 第373区会長幹事協議会 於 宮崎観光ホテル  
 8日 第373区地区協議会 於 農協会館  
 分科会 婦人会館 福祉会館 商工会館  
 義務出席者 次期吉賀会長 堺副会長 杉山幹事 日高（史）職業奉仕理事 藤

- 井社会理事 竹内国際理事 岩元会報委員長 中山ロータリー財団委員長
- 6月13日 第461回例会 クラブアッセンブリー 新入会員 江口宣夫君  
ロータリー財団 200% 達成証明書授与さる  
金丸一平君 メモリアル コントリビューター手続完了 (100ドル故人追悼記念)
- 6月20日 第462回例会 クラブアッセンブリー  
米山記念奨学会寄付 268,000円 地区内 第6位 県内 第1位  
6/22 県内ロータリーアン親善ゴルフ大会
- 6月27日 第463回例会 1968～1969年度最終例会 1年間50回例会 実施 植松会長以下  
役員及委員長1年を省みて最後の挨拶 ホテルフェニックス 及宮相女子会計  
係に謝礼

1968 ~ 1969

	理事会	委員会	クラブアッセンブリー
7月	2回	3回	0回
8	2	4	0
9	2	1	1
10	1	2	2
11	2	0	2
12	3	6	1
1	1	4	0
2	2	1	1
3	1	3	2
4	2	1	2
5	1	3	2
6	2	2	3
計	21	30	16

1969年 (吉賀会長・杉山幹事)

月日	例 会	記 事
7月1日		黒木県知事、清山宮崎市長に引続き名誉会員として留任方申請し、その承諾を受く。
7月4日	第464回例会	交換学生カール君の送別会 理事会
7月11日	第465回例会	理事会
7月14日		宮崎クラブとの新クラブについての合同役員会、会長、副会長、幹事、情報委員長出席(観光ホテル)
7月18日	第466回例会	クラブアッセンブリー 理事会
7月24日		公式訪問によるクラブアッセンブリー日高ガバナー、田村分区代理(出席)理事、役員、各委員長
7月25日	第467回例会	日高ガバナーの公式訪問
7月30日		宮崎クラブと北クラブ設立に関する合同役員会、会長、副会長、幹事出席(宮崎商工会議所)
8月1日	第468回例会	理事会
8月8日	第469回例会	第1回ダリア賞表彰式(甲斐易君) 理事会
8月15日	第470回例会	クラブアッセンブリー 創立10周年記念行事企画委員を任命、委員長小野、委員、岩井、田中(秀)、木浦、鈴木
8月22日		本日は 第471回例会日であったが台風9号の来襲により緊急理事会を開いて休会と決議した。
8月24日		県内会長幹事会(観光ホテル)
8月29日	第471回例会	清水利一君脱会
9月5日	第472回例会	10周年記念行事企画委員と理事との協議会
9月12日	第473回例会	送り出し交換学生の件についての打合せ
9月19日	第474回例会	第2回ダリア賞表彰式(大久保宏二君)10周年記念行事委員会
9月26日	第475回例会	
10月3日	第476回例会	理事会
10月4日		送り出し交換学生のテストを実施(於高千穂相銀)
10月17日	第477回例会	黒木勝君脱会、百万ドル食事 理事会 第3回ダリア賞表彰式(藤岡芳穂、鳥丸満雄、川口敏明の3氏)
10月17日	第477回例会	北クラブの設立に伴う区域限界の変更を行うため定款第2条第1節を次の通り改正。但し、R・I本部よりの承認を条件とする。 「高鍋町-宮崎市-田野町を経て都城市に至る国道幹線を境

		界線とし宮崎市を東西に分けその西側の内江平ロータリーより宮崎大学と附属小学校の間を西に進んで大淀川に至り且その上流に結ぶ線を境界としてその南部の地域とする」
10月24日	第478回例会	長田亀市君、黒木正光君脱会 年次大会出席者の打合会
10月31日	第479回例会	クラブアッセンブリー
1月3日		秋の親睦会(園遊会)開催(中村園芸場)
11月7日	第480回例会	西岡恒之助君、井山孝行君、牧圭司君、新加入、理事会
11月8日9日		第373区年次大会(鹿児島市)に家族を含め36名出席
11月14日	第481回例会	尾藤博澄君、安倍友彦君、重木茂君、新加入
11月18日		新聞、報道、社会教育関係者懇談会をホテルフェニックスで開催
		ゲスト 宮崎日々新聞 市社会教育課
		ゲスト 宮崎今日新聞社 NHK宮崎放送局 県社会教育課
		出席会員 吉賀、竹内、日高(史)、菊池彰、江口、岩井
11月21日	第482回例会	第4回ダリア賞表彰式(飯塚春子氏)
		ロータリー財団への寄付300%達成のため本日送金する。
11月28日	第483回例会	理事会
12月5日	第484回例会	〃
12月12日	第485回例会	クラブ・フォーラム
12月19日	第486回例会	年末助け合い家族会
		第5回ダリア賞表彰式(藤田盛治氏)県内インターシティー・ゼネラル・フォーラムのホストクラブを委嘱される。
12月23日		定款変更(区域限界)の件R・I本部で承認せられる。
12月26日	第487回例会	次年度理事の指名委員を歴代会長に委任IGFの各準備委員を任命し、その第1回打合会を開催
<b>1970年</b>		
1月8日		当クラブがホストクラブとなり 県下の会長、幹事会開催(ホテルフェニックス)
1月9日	第488回例会	IGF準備委員会
1月16日	第489回例会	JGF準備委員会
1月23日	第490回例会	秋山久君、榊本正久君新加入
1月25日		宮崎県下インターシティー・ゼネラル・フォーラム開催(当クラブがホストクラブ)登録人員260名
		本会議場 県農協会館
		部門別会場 同上の外商工会館

1月30日	第491回例会	第6回ダリア賞表彰式(島中保氏)
2月6日	第492回例会	年次総会を開き次の通り理事役員を選任 会 長 理事 橋 本 一 郎 副 会 長 " 後 藤 則 義 幹 事 " 橋 本 善 吉 職 業 奉 仕 " 杉 山 正 一 社 会 奉 仕 " 岩 井 隆 一 国 際 奉 仕 " 吉 賀 幸 夫 ローターリー情報 " 川 辺 政 明 会 計 安 倍 友 彦 S A A 木 浦 義 雄 理事会
2月13日	第493回例会	10周年記念式典準備委員任命
2月20日	第494回例会	全上準備委員会
2月27日	第495回例会	第7回ダリア賞表彰式(坂元孝紀、宮本善則、久家静子の3氏)百万ドル食事
3月6日	第496回例会	10周年記念事業について投票の結果、宮崎市橘公園内のワシントン椰子、照明用フットライトが最高得票となる。 理事会
3月13日	第497回例会	10周年記念式典準備委員会
3月20日	第498回例会	理事会
3月27日	第499回例会	10周年記念式典準備委員会
4月3日	第500回例会	例会500回記念として全会員にディナーベルを贈る。 クラブアッセンブリー 10周年記念式典準備委員会の最終打合せ
4月10日	第501回例会	ホテルフェニックスで10周年記念式典及び懇親会を開催 (来賓) 日高ガバナー 島津パストガバナー 田村分区代理 福田特別代表 志多世話人 中村世話人 (参加クラブ) 県下の全クラブより55名出席
4月17日	第502回例会	後藤新太郎君新加入
4月24日	第503回例会	第8回ダリア賞表彰式(川添栄光氏) 理事会

5月1日	第504回例会	理事会
5月8日	第505回例会	理事会
5月15日	第506回例会	第646区 研究グループ一行7名例会に出席、そのあと市内 外見学。夜は県知事市内三クラブ共催による歓迎晩さん会 (ホテルフェニックス) 宿泊は会員宅に分散投宿
5月18日		同上研究グループ一行宿舎ホテルフェニックスを出発し日 向クラブに引継ぐ
5月22日	第507回例会	第9回ダリア賞表彰式(齊藤友則、日高国男の2氏)
5月29日	第508回例会	
6月5日	第509回例会	森正年君新加入 四大奉仕部門委員長の報告会 理事会
6月11日		宮崎市総合福祉センターにじゅうたん一式、宮崎養護院に 車椅子3脚、松の寮老人ホームにガス煮沸消毒槽を寄贈す るため宮崎市長に目録贈呈
6月12日	第510回例会	各委員長の報告会
6月19日	第511回例会	第10回ダリア賞表彰式(日高鉄夫氏) 各委員長報告会
6月19日	第511回例会	6月11日宮崎市長に目録を贈呈した社会奉仕関係の現物を 本日各施設に寄贈する。
6月20日～6月21日		第373区地区協議会開催(別府市) 義務出席者、次年度会 長、幹事、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、 会報、ロータリー財団の各委員長
6月27日	第512回例会	会長、幹事の辞任挨拶 シニア・アクティブ会員有資格者本日次の会員をシニア・ア クティブ会員とする旨の手续を行う。 大賀、植松、清水、立元、田崎、竹野、長峰、栗林…… 以上8名

1969～70年度、最終例会、1年間49回の例会実施(台風のため休会1回) ホテルフェニ  
ックスの料理人及び宮相女子会計係に謝礼

## 会 員 異 動

1969.7.1現在	61名
年度中脱会	4名
“ 入 会	10名
1970.6.30現在	67名

(内訳) 正会員 53名、シニアアクティブ会員 12名 アデショナル会員 2名

# 過去5年間の例会卓話実施状況(1965年～1970年)

1965年～1966年 (長峰会長・谷口委員長)

例会日	所 属	氏 名	内 容
1965年 7月2日			クラブ協議会
9日			〃 〃 総会
16日	会 員	織 田 順 二	証券界の諸問題
23日			クラブ協議会
30日		島津久厚ガバナー	公式訪問
8月6日	西村楽器店	池 田 秀 典	ヨーロッパを見て歩き
13日	九電宮崎支店長	下 村 悟	電気の話
20日	中小企業金融公庫 宮崎出張所長	杉 本 正 暉	中小企業の動向について
27日			クラブ協議会
9月3日	会 員	竹 野 融	成人病について
10日		池 田 正 彬	アメリカのロータリーを見て
17日		上 田 強	教育あれこれ
25日	宮崎県常勤畜産 コンサルタント	児 玉 重 方	アメリカ農村生活の断片
10月1日	県教育学校教育課長	押 川 輝 夫	宮崎県定時通信教育の現状について
8日	宮崎警察署交通課長	田 中 正 一	交通事情について
15日		中 川 武 一	ことばについて
22日			クラブ協議会、大会へ多数出席
29日			ロータリー60周年記念西日本連 合地区大会報告
11月5日	大恵熱帯ガーデンセンタ ー社長	杉 尾 常 成	霊について
12日	会 員	栗 林 東 五	プログラムについて
19日			インターアクトクラブについて の協議会
11月26日	宮崎大学校	松 本 寛 郎	児童と県民性
12月3日	日本銀行宮崎事務所長	瀬 戸 真 夫	日本銀行宮崎事務所の役割
10日	会 員	岩 本 信 蔵	殿米を見聞して
17日			クラブ・ホーラム
24日	県家庭児童相談室	小 松 充	家庭児童福祉

例会日	所 属	氏 名	内 容
1966年 1月7日			クラブ協議会（31日を変更）
14日	会 員	椎 屋 喜之進	クラブ協議会 着物とあれこれ
21日	宮崎山岳会員	高 松 直 彦	ヨーロッパのヒッチハイク
28日			上半期決算報告
2月11日			インタシティー・ゼネラル・ホ ーラム報告会
15日			クラブ協議会
25日	会 員	竹 野 融	ロータリー発展史
3月4日	宮崎税務署法人課長	尾 崎 勘 一	法人税の問題点について
11日	宮崎銀行頭取	増 田 吉 郎	ハワイを見て
18日			年次総会
25日	宮崎教会牧師	山 田 生	人生行程
4月1日	会 員	三 原 七 郎	入会雑感
8日	宮崎教会牧師	山 田 生	煙草と肺癌
15日	県自治学院院長	豊 留 勉	新入採用社員の受け入れについて
4月22日	日州保護会主幹	松 元 和 夫	教育の秘訣について
5月6日	精神科病院院長	井 上 猛 文	健やかな心、病める心
13日	県統計課長	永 井 秀 雄	観光バスの動向の問題点
20日	宮崎大学助教授	横 山 岩 男	現代デザインの方向
6月27日	会 員	竹 内 三 郎	外科の現況
3日	立川R・C会員	若 山 旅 人	牧水記念館建設等について
10日	真栄寺住職	馬 場 之 道	私の人生観
17日	県警本部第一交通課長	浮 島 萬	最近の交通事情
24日			クラブ協議会

1966年～1967年（竹野会長・田崎委員長）

例会日	所 属	氏 名	内 容
1966年 7月1日			協議会（熊本）出席報告 五年誌配布
7月8日	A F S日本協会 企画部長 慶応大学学生	加治屋 寧 人	<b>American Field Service</b> 外人学生の旅行宿泊の 依頼 クラブアッセンブリー (予算決算)
7月15日	宮大教育学部助手	福 居 和 彦	ドイツの印象
7月22日			新委員会報告
7月29日	会 員	植 松 熊太郎	欧米風景
8月5日	宮大教育学部助教授	吉 田 敏 治	生物学上より見た人間の過去と 未来
8月12日	東京文化研究所長	中 森 莞 郷	経済予言学
8月19日	東京オリンピック レスリング総監督参議員	八 田 一 朗	スポーツと根性
8月26日	年次大会委員長	岩 切 章太郎	大会準備の挨拶 クラブフォーラム インターアクトについて
9月2日			
9月9日	会 員	椎 屋 喜之進	断食漫談
9月16日	宮崎工業高校教諭	興 梶 義 孝	ローケツ染あれこれ
9月23日			休会（秋分の日）
9月30日	宮大講師	足 利 実	不定と対立と孤独
10月7日	会 員	大古殿 利 丸	欧州を巡りて（映画）
10月14日	宮崎女子短大教授	篠 原 勇	木喰上人について
10月21日			
10月28日			} 年次大会準備 } ホーラム
11月4日			
11月11日			} 370区年次大会
11月12日			
11月13日			
11月18日			クラブフォーラム

例会日	所 属	氏 名	内 容
11月25日	鹿兒島R・C会員	古 木 俊 雄	ユースホステル雑感
12月 2日			大会反省報告
12月 9日	会 員	津 田 剛	欧米文化管見
12月16日			例会と忘年家族会
12月23日	宮大助教授	柿 木 吾 郎	民謡について
1967年 1月 6日			クラブ協議会
13日	宮崎保護観察所長	立 木 肇	観察所について
20日	会 員	郡 嗣 彦	オギャー献金の話
27日			クラブ協議会 インターアクト新会員紹介
2月 3日	会 員	黒 木 勝	欧州のロータリークラブについて
9日		吉 村 ガバナー	} 公式訪問
10日			
17日			「杉の子」子供会表彰式
24日	会 員	中 山 正 一	プロパン瓦斯について
3月 3日			年次総会役員選挙
10日	会 員	金 丸 一 平	酒の話
17日	清水町教会牧師	吉 間 磯 吉	世界理解週間に因んで
31日	絃鳳会々長	藤 田 鳳 盛	詩吟について
4月 7日			会員月例祝福（結婚誕生祝）
14日	宮大助教授	辻 弘	イタリーの生活と文化
21日	観光ホテル社長	寺 坂 進	ホテルとマナー
28日	◎橘百貨店5階小ホール例会場とお別れの会（創立7年目）		
5月 5日	休 会		子供の日
12日	◎ホテルフェニックスに例会場を移す。会員祝福日協議会		
5月19日	会 員	後 藤 満	紙の話
25日	宮大助教授	五 味 清	バラの話
6月 2日			会員祝福日協議会

例会日	所 属	氏 名	内 容
9日	ホテルフェニックス社長	佐藤棟良	挨拶
16日		会長・幹事・会報	地区協議会（別府）報告
23日			} クラブ協議会 新年度予算承認の件
30日			
<b>1967年～1968年（大古殿会長・立元委員長）</b>			
1967年			
7月7日	市土木課長補佐	日高忠幸	市の土木行政について
14日	県土木部長	小山謙二	土木行政について
21日		会長幹事各委員長	運営方針について
28日	宮大教育学々部長	長友定行	国語の問題
8月4日			協議会
11日	会 員	三原七郎	近頃の雑感
18日	宮大議長	広田輝雄	宮大の現況と今後
25日	宮大教育学部3年	松浦寅雄	西独逸を見て
9月1日			クラブ・フォーラム
8日	警備課長	竹迫教治	公共の秩序と警察
22日			クラブ・フォーラム
29日	会 員	黒木 勝	今日の会社状勢
10月6日			公式訪問準備
13日			協議会
19日	ガバナー	向笠広次	協議会
20日	ガバナー	” ”	公式訪問
27日	日本専売公社企画課長	大原一三	日本経済の変動
11月10日			年次大会のためのフォーラム
17日	県衛生部長	永井好隆	今後の保健衛生の動向
24日	東京合気道本部長	正口清吾	合気道について
12月1日			協議会
8日			協議会

例会日	所 属	氏 名	内 容
15日	会 員	竹 野 融	あれこれ
22日			家族会
29日	パストガバナー	島 津 久 厚	ロータリーについてのインフォ メーション
1968年 1月5日		竹 野 雅 允	欧州を旅行して
12日	会 員	田 崎 亀 夫	向笠ガバナー公式訪問に随行して
19日	南高校校長	佐 伯 英 雄	大学進学について
26日	経協専務理事	日 高 泰 三	最近の労働問題
2月2日			協議会
9日	MRT報道製作部長	小 山 俊 夫	マスコミ倫理について
16日	宮崎市長	清 山 芳 雄	市政について
23日			協議会
3月1日			協議会
8日			協議会
15日	気象台長 交換学生	浦 武 亜 アリソンスミス嬢	えびの地震について 挨拶
22日			協議会
29日			協議会
4月5日			協議会
12日	MRT社長	黒 木 芳 郎	台湾から帰って
19日	会 員	栗 林 東 五	カサ上げの土産物と人間
26日	宮崎電気通信部長	白 野 光 雄	宮崎県内の電話事情について
5月10日			協議会
17日	MRT常務	平 田 快 男	欧米視察から帰って
24日	前主税局長		税制問題について
31日	会 員	佐 原 伝次郎	陶磁器販売
6月7日			協議会
14日	ブーゲンビル島生存者会 事務長	岡 房太郎	ブーゲン島遺骨収集団について
21日	日本勧業銀行宮崎支店長	三 島 貞 一	世界経済と日本経済の動向
28日			最終協議会

1968年～1969年（植松会長・立元委員長）

例会日	所 属	氏 名	内 容
1968年 7月5日	会 員	植 松 会 長	新年度方針について
7月12日	第373区国際交換学生地区委員長	樋 口 佳 雄	交換学生の受入れについて
7月19日	会 員	各 委 員 長	就任挨拶
7月26日	宮崎県衛生部長	永 井 好 望	ガン対策について
8月2日			決算報告と予算審議
8月9日		神 尾 季 羊	俳句と風流
8月16日	サボテン公園技師長	渡 辺 忠 夫	サボテン雑話
8月23日	会 員	古 谷 正 夫	これからの産業と証券投資
8月30日	宮崎銀行事務管理部長	岩 下 哲 夫	コンピューターと経営
9月6日	会 員		リーダーシップフォーラム参加者報告
9月13日	会 員		〃
9月20日	第373区ガバナー	大 津 篤 郎	公式訪問
9月27日	第五航空団司令	鈴 木 瞭五郎	国防の基本について
10月4日			クラブ協議会
10月11日		多 田 鉄之助	食味三千年
10月18日	宮崎銀行調査役	木 村 隆 一	宮崎県の需要構造について
10月25日			クラブ協議会
11月1日			〃
11月8日			〃
11月15日	老人ホーム青島荘	有 馬 輝 寿	老人ホームについて
11月22日	海外移住事業団 宮崎事務所長	佐 藤 長 男	北南米移住事情
11月29日	宮崎県商工長	四 本 茂	韓国を視察して
12月6日			映写会（EXPO）
12月13日	会 員	三 原 七 郎	礼 節
12月20日			歳末助け合い家族会
12月27日			クラブ協議会

例会日	所 属	氏 名	内 容	
1969年 1月10日	会 員	池 田 成 彬 長 峰 市 次 竹 内 三 郎 内 村 龍 祐	} 酉年を記念して	
1月17日	県総合農業試験場果樹部長	山 下 淳		みかんの話
1月24日				会員総会
1月31日	中根式速記学校長	中 根 正 雄		インスタント速記
2月7日			臨時会員総会	
2月14日			クラブ協議会	
2月21日	ガバナーノミニ一	日 高 安 壮	ロータリーの歴史について	
2月28日	県観光課長	落 合 正 行	美しい郷土づくりについて	
3月7日			クラブ協議会	
3月14日			〃	
3月28日	交換学生	カ ー ル 君	スライドによるミわが故郷の紹介	
4月4日			クラブ協議会	
4月11日			〃	
4月18日	宮崎県赤十字血液センター事務課長	成 合 龍 雄	献血運動について	
4月25日	会 員	清 水 利 一	宮崎の天然ガスと温泉について	
5月2日			クラブ協議会	
5月9日			〃	
5月16日	会 員	小 野 梓	株式市況と今後の見通し	
5月23日	国史研究所長	山 上 八 郎	歴史の教訓	
5月30日	宮崎日日新聞 取締役編集局次長	松 岡 孝 吉	安保問題について	
6月6日			クラブ協議会	
6月13日			〃	
6月20日			〃	
6月27日			〃	

1969年～1970年（吉賀会長・大賀委員長）

例会日	所 属	氏 名	内 容
1969年			
7月4日	交換学生	カール君	送別会、理事会
11日			理事会
8日			クラブ協議会、理事会
24日			クラブ協議会
25日		日高安杜ガバナー	公式訪問
8月1日	会 員	田崎 亀夫 栗林 東五	10年間無欠席について
8日	名誉会員	黒木 博知事	県政あれこれ
15日	会 員	佐原伝次郎・三城・日高両君	10年間無欠席について ロータリーの感想
22日	休 会		台風9号発生
29日	洋画家	山田 新一	欧州友情談
9月5日	10周年記念行事企画委員と打合せ 送り出し交換学生の件について打合せ		クラブ協議会
12日	宮大教授	稲葉 通義	宇宙旅行時代
19日	会 員	住田 静一	10年皆出席の感想
26日	日向学院々長	B・マッサー	親の心と子供の心
3日	会 員	菊池稔・菊池彰 菊池浩一郎	10年無欠席の弁、他 ロータリーについて
10月10日			クラブ協議会
17日	ダリヤ賞		藤岡、鳥丸、川口の3氏
24日	東南アジア班	真鍋 美保子 松村 邦子	青年の船に乗りて
31日			クラブ協議会
11月7日	会 員	竹野、郡、竹内 3氏	医学の色々
14日		吉賀会長、杉山 幹事	鹿兒島年次大会報告(職業、国際)
21日		年次大会報告	夜6時より校長、教諭とインタ ーアクトの打合せ会
28日	日赤少年対策室長	神田 足水	会長、幹事、菊池委員長、川辺、 大賀出席 青少年対策の現状
12月5日	会 員		委員会報告、理事会
12日		黒木 晩石	日向国号についての新考査

例会日	所 属	氏 名	内 容
19日			年末助合い家族会
26日	宮崎婦人少年室長	橋 爪 節 子	2ヶ月の海外旅行を終えて
1970年 1月2日	休 会		ゼネラルフォーラム主催について 打合せ会
9日			全 上
16日			全 上
30日	県生活協同組合専務理事	島 中 保	ボーイスカウト運動について
2月6日			クラブ年次総会
3日	杉田眼科医院長	杉 田 正 臣	父を語る
10日	アメリカ・フィラデルフ イアー	ジュティ・ベッ カー	世界一周の感想
27日	宮崎税務署長	門 松 安 光	土地税制について
3月6日			クラブ協議会 (10周年事業について)
13日	益田研究所	益 田 純	バレーあれこれ
20日	会 員	竹 内 三 郎	国際奉仕発表
27日		日 高 ヨシ子	「道」詩吟
4月3日			10周年記念式典打合せ会
10日	宮崎西R・C	(ホテルフェニ ックス)	10周年記念式典開催
17日	善意の会々長	串 間 マサエ	善意の会について
24日	航空大学校々長	高 橋 太 郎	民間航空の現状
5月1日	会 員	竹 内 三 郎	646区研究グループ来宮に際して の報告
8日		熊 原 一 郎	欧州所見
15日	アメリカG・S・Eチーム 7名	ブレアー・リー ダー	各自自己紹介後日本の感想を述 ぶ
22日	米国のエルマイラ大学教 授	小 林 昭 雄	国際政治について
29日	米国宣教師	ジ ョ ン ソ ン	柔道と国際親善
6月5日			4大奉仕部門委員長報告理事会
12日			各委員長報告
19日	ダリヤ賞		日高鉄夫
26日			会長、幹事辞任挨拶

## プログラム委員会

### 「卓話」プログラム作成についての反省

谷 口 委 員 長

会長、幹事及び委員長との連絡は勿論のことですが、プログラム委員会では選定の範囲も限られバリエティー等も欠げるきらいがありまして、是非共全会員による御協力が第一であろうかと思ひます。そこで年度初めに会員の割当ては無理かと思ひますが、1～2名宛の卓話の推せんを願ひし6ヶ月のプログラムの計画表を作成して、その中から毎月の例会の予定者を取計られると案外宜しいのではなからうかと思ひます。

それから留意すべき点ではスピーチ中に会員間の私語や甚だしきは居眠り等、折角真剣なスピーチ中にそのようなことではゲストの方にも失礼となり、ロータリーとしてエチケットにも反しますので充分注意すべきことではないかと思ひます。

田 崎 委 員 長

- 1) 年間を通じた四大部門、各委員会や年間行事を含む調和の取れた大略のプログラムを作ること。
- 2) 卓話は宮大に頼む時は津田会員と相談すると都合がよい。
- 3) 有名旅行者はホテルの係の人と連絡され、当日の決定がむづかしければ、常に会員中に補充者を備えておくこと。
- 4) 宮日新聞報道部に毎週月曜日に例会行事の予定を報告すること。
- 5) 会長、幹事とは常に連絡を密にしなければならない。
- 6) 本年は外遊の会員が多く概して会員の卓話が多く、宮大からも若手優秀講師を迎え得た。

立 元 委 員 長

プログラム委員長1年間の思い出を述べて、次の委員長にバトンを渡すことにする。

毎週1回の卓話者を見出すことは簡単であるようで、仲々職場の間では仲々困難なことであり苦勞であった。しかしロータリーの皆様に週に1度30分楽しい、しかも有益な卓話を聴いて頂く人を見出したとき、気持は亦何とも云われぬ得意な面もあった。

計画としては月1回は会員と協議会とし、残りの日を会員外に充てることとして、1年

は過ぎた。長いようで短い1年であったように思われる。

## 黒 木 委 員 長

本年度は毎月第1第2例会日をクラブ協議会に充てられたことは会長、幹事の英断でまことに結構なことでした。一つはクラブのことについて充分勉強する時が多かったこと、もう一つの効果は卓話者をよく選ぶことが出来ました。今後とも是非そうやって頂きたいと思います。卓話者の候補者は新聞社の友人やその他各界の方々に年度初にいろいろ聞いて廻ってメモにしておき、その方々になるべく早目にご相談いたしました。こうすると割とあわてることなくすむように思われます。

以上一二感想を述べて次年度委員長にバトンを渡します。

## 大 賀 委 員 長

- 1) 会員の皆様の卓話者の推せんを今少し積極的であって欲しい。
- 2) プログラム委員会が単に卓話者発見の機関のようになっているのは問題と 思います。例会の盛り上がりがプログラムにあるとするならばプログラム委員長は理事者となり、常に役員と緊密な連携をとり年間プログラム編成に参加すべきだと思います。
- 3) 卓話者に対し金品を今少し出して、礼を厚くすべきと思います。
- 4) ビジッターが卓話のときドヤドヤと出てゆかれるのはロータリアンとして誠に遺憾 と思います。多忙のせいだと思いますが、人としての礼を失しては奉仕の理想や友情 等と口には出せないではありませんか。

各クラブは話し合っただけこの30分の辛棒をお願いしたいものです。

## 吉村ガバナー（公式訪問）の意見

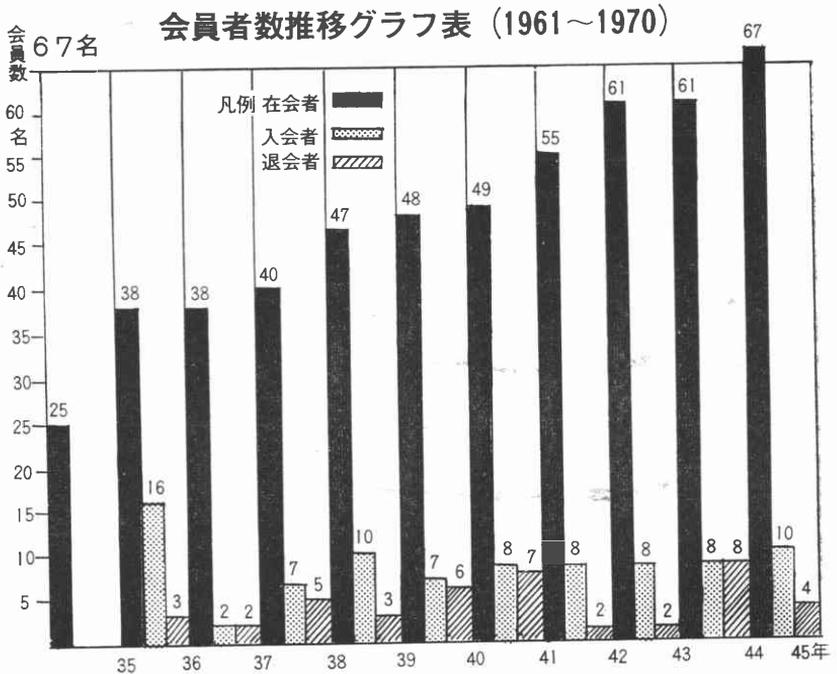
- ① 新年度の始まる前に委員会を開き年間の計画表をバランスとバリエイターとに富むように作れ。
- ② 卓話は為めになる楽しいものがよい。
- ③ 常に会員の中に代演者を用意しておくこと。



	入 会 者		退 会 者
38名	川 辺 政 明 百 野 弥三郎 岩 元 正 二 鈴 木 敏 道 矢 田 雅 嗣 吉 賀 幸 夫	9 月 1 日 " " 2 月 5 日 " 3 月 5 日	
36.7~ 37.6 38名	橋 本 善 吉 岩 井 隆 一	11 月 24 日 "	安 永 島 吉 百 野 弥三郎 8 月 31 日 (病氣) " (転任)
37 年 7 月 38 年 6 月 40名	池 田 成 彬 金 谷 正 雄 鈴 木 安喜義 古 賀 満 長谷川 太 郎 黒 木 清 次 日 高 史 雄	11 月 13 日 11 月 20 日 12 月 1 日 12 月 14 日 12 月 25 日 1 月 25 日 4 月 12 日	中 村 秀 人 近 藤 百太郎 猪 野 勇 岩 元 正 一 清 水 房 吉 7 月 30 日 (転任) " ( " ) " (病氣) 9 月 10 日 (転任) 11 月 30 日 ( " )
38 年 7 月 39 年 6 月 47名	郡 嗣 彦 菊 池 彰 杉 山 正 一 谷 口 京 一 長 沼 正 武 大 賀 義 人 立 吉 田 夫 鬼 塚 徹 黒 木 正 光	11 月 8 日 " 11 月 22 日 12 月 20 日 " " 12 月 13 日 11 月 8 日 1 月 7 日 6 月 5 日	曾 木 卓 大 川 弥 橋 口 重 則 11 月 26 日 (病氣) 11 月 21 日 5 月 18 日
39 年 7 月 40 年 6 月 48名	椎 屋 喜之進 川 中 清 茂 川 野 満 男 藤 井 勝 後 藤 満 岩 元 信 蔵 識 田 順 二	12 月 11 日 12 月 11 日 " 3 月 12 日 " 3 月 19 日 6 月 11 日	三 城 鑄 二 湯 浅 雄 夫 古 賀 満 長谷川 太 郎 川 野 満 雄 長 沼 正 武 12 月 11 日 12 月 31 日 (病氣) 5 月 14 日 (転任) 1 月 30 日 (転任) 1 月 5 月 28 日 (転任)
40 年 7 月	竹 内 三 郎 黒 木 勝 百 野 弘	10 月 15 日 12 月 3 日 1 月 7 日	吉 田 徹 川 中 清 茂 金 丸 忠 夫 10 月 15 日 2 月 4 日 "

入 会 者		退 会 者		
41年 6月 49名	金丸一平	3月4日	黒木清次	3月15日
	三原一七郎	3月4日	鈴木安喜義	4月5日
	徳家孝	4月22日	日高順一	5月31日
	若會根方志	4月22日	谷口京市	6月
	近藤守夫	5月13日		
41年 7月 42年 6月 55名	津田剛	10月1日	識田順二	11月4日
	木浦義雄	11月4日	椎屋喜之進	2月25日
	中山正一	12月2日		
	長田亀市	12月16日		
	古谷正夫	1月12日		
	新原秀丸	"		
	田中巖	2月1日		
(再)湯浅雄夫	3月4日			
42年 7月 43年 6月 61名	(再)三城鑄二	9月1日	金谷正夫	7月14日
	角地次男	11月17日	鬼塚豊	6月28日
	田中秀男	12月1日		
	山口澄夫	12月1日		
	松岡正作	1月5日		
	清水利一	4月5日		
	森榎晃雄	5月29日		
	松本敏雄	6月21日		
43年 7月 44年 6月 61名	小野梓	11月1日	古谷正夫	8月23日 (転任)
	安倍良一	12月27日	近藤守夫	10月10日 (転任)
	日高照雄	1月10日	上田合邦	11月8日 (病气)
	服部正次	2月28日	徳家孝	1月31日 (転任)
	菊池皓一郎	5月2日	鈴木唯吉	2月19日
	佐原正晃	5月2日	安倍良一	2月28日 (退職)
	大健耕嗣	5月2日	松本敏雄	4月30日 (病气)
	江口宣夫	6月13日	若會根方志	5月20日
44年 7月	西岡恒之助	11月7日	清水利一	8月29日
	井山孝行	"	黒木勝市	10月17日
	牧圭司	"	長田亀	10月24日
	尾藤博澄彦	11月14日	黒木正光	"

	入 会 者	退 会 者
45 年 6 月  67名	重 木 茂	〃
	秋 山 久	1 月 23 日
	榊 本 正	〃
	後 藤 新太郎	4 月 17 日
	森 正 年	6 月 5 日



◎=理事

## 歴代理事・役員・委員長一覧表

年度	役員 委員会	会 長	副 会 長 クラブ奉仕	幹 事	副 幹 事	会 計
1年度 1960～61	◎ 田崎 亀夫	◎ 任田 静一	栗林 東五	猪野 勇	—	—
2年度 1961～62	◎ 栗林 東五	◎ 竹野 融	佐原伝次郎	宮下 広計	長峰 市次	—
3年度 1962～63	◎ 佐原伝次郎	◎ 金丸 忠夫	橋本 一郎	日高 順一	田中 博規	—
4年度 1963～64	◎ 任田 静一	◎ 植松熊太郎	菊池 稔	宮下 広計	吉賀 幸夫	—
5年度 1964～65	◎ 菊池 稔	◎ 長峰 市次	後藤 則義	田中 博規	杉山 正一	—
6年度 1965～66	◎ 長峰 市次	◎ 橋本 一郎	◎ 吉賀 幸夫	杉山 正一	田中 博規	—
7年度 1966～67	◎ 竹野 融	◎ 田中 博規	◎ 鈴木 唯吉	矢田 雅嗣	杉山 正一	—
8年度 1967～68	◎ 大古殿和丸	◎ 上田 合邦	◎ 川辺 政明	日高 史雄	杉山 正一	—
9年度 1968～69	◎ 植松熊太郎	◎ 大賀 義人	◎ 日高 史雄	橋本 善吉	長田 亀市	—
10年度 1969～70	◎ 吉賀 幸夫	◎ 堺 久	◎ 杉山 正一	橋本 善吉	田中 巖	—

年度	役員 委員会	S・A・A	職業奉仕	社会奉仕	国際奉仕	青少年奉仕
1年度 1960～61	竹野 融		◎橋口 重則	◎日高真太郎	◎大川 弥	三城 鑄次
2年度 1961～62	近藤百太郎		◎橋本 一郎	◎田崎 亀夫	◎橋口 重則	三城 鑄次
3年度 1962～63	清水 房吉		◎宮下 広計	◎竹野 融	◎大川 弥	鈴木 敏通
4年度 1963～64	◎大古殿和丸		◎佐原伝次郎	◎長峰 市次	◎橋本 一郎	内村 龍祐
5年度 1964～65	吉賀 幸夫		◎植松熊太郎	◎辻田 静一	◎上田 合邦	宮下 広計
6年度 1965～66	橋本 善吉		◎後藤 則義	◎川辺 政明	◎堺 久	矢田 雅嗣
7年度 1966～67	黒木 勝		◎上田 合邦	◎吉賀 幸夫	◎長峰 市次	◎川辺 政明
8年度 1967～68	百野 弘		◎鈴木 唯吉	◎矢田 雅嗣	◎郡 嗣彦	金丸 一平
9年度 1968～69	藤井 勝		◎川辺 政明	◎三原 七郎	◎池田 成彬	岩井 隆一
10年度 1969～70	山口 澄夫		◎日高 史雄	◎藤井 勝	◎竹内 三郎	角地 次男

年度	役員 委員会	出 席	職業分類	親 睦	会員選考	プログラム
1年度 1960 ~ 61		長峰 市次	日高 順一	大古殿和丸	佐原伝次郎	菊池 稔
2年度 1961 ~ 62		田中 博規	大川 弥	清水 房吉	植松熊太郎	中村 秀人
3年度 1962 ~ 63		岩元 正二	菊池 稔	近藤百太郎	橋口 重則	日高真太郎
4年度 1963 ~ 64		堺 久	大川 弥	川辺 政明	橋口 重則	栗林 東五
5年度 1964 ~ 65		川辺 政明	佐原伝次郎	古賀 満	大古殿和丸	橋本 一郎
6年度 1965 ~ 66		鈴木 敏通	宮下 広計	鈴木 唯吉	日高真太郎	谷口 京市
7年度 1966 ~ 67		後藤 満	菊池 稔	菊池 彰	橋本 一郎	田崎 亀夫
8年度 1967 ~ 68		岩井 隆一	宮下 広計	黒木 正充	◎竹野 融	立元 郁夫
9年度 1968 ~ 69		百野 弘	橋本 一郎	田中 秀男	◎大古殿和丸	黒木 勝
10年度 1969 ~ 70		田中 秀男	後藤 満	木浦 義雄	◎植松熊太郎	大賀 義人

年度	役員 委員会	広 報	ロータリー 情 報	雑 誌	会 報	インター ア ク ト
1 年度 1960 ~ 61	曾木 卓	上田 合邦	中村 秀人	植松熊太郎	—	
2 年度 1961 ~ 62	曾木 卓	上田 合邦	堺 久	鈴木 敏通	—	
3 年度 1962 ~ 63	住田 静一	◎ 栗林 東五	長峰 市次	鈴木 唯吉	—	
4 年度 1963 ~ 64	金丸 忠夫	田崎 亀夫	上田 合邦	(雑 誌)	—	
5 年度 1964 ~ 65	鈴木 唯吉	◎ 田崎 亀夫	岩井 隆一	(雑 誌)	—	
6 年度 1965 ~ 66	立元 郁夫	竹野 融	黒木 清次	(雑 誌)	川辺 政明	
7 年度 1966 ~ 67	大賀 義人	佐原伝次郎	日高 史雄	(雑 誌)	大賀 義人	
8 年度 1967 ~ 68	若曾根方志	後藤 則義	池田 成彬	新原 秀丸	内村 龍祐	
9 年度 1968 ~ 69	若曾根方志	竹野 融	吉賀 幸夫	金丸 一平	宮下 広計	
10 年度 1969 ~ 70	岩井 隆一	郡 嗣彦	鈴木 敏通	岩元 信蔵	菊池 彰	

年度	役員 委員会	会員推薦	ロータリー 財 団
1年度 1960 ~ 61		—	—
2年度 1961 ~ 62		—	—
3年度 1962 ~ 63		—	—
4年度 1963 ~ 64		—	—
5年度 1964 ~ 65		—	—
6年度 1965 ~ 66		—	—
7年度 1966 ~ 67		—	—
8年度 1967 ~ 68		—	—
9年度 1968 ~ 69		—	—
10年度 1969 ~ 70		橋本 一郎	中山 正一



各 委 員 会 の 活 動



## 国際ロータリー会長・ノート

### A Note From The President of Rotary International

RI会長 ジェームス F・コンウェイ

#### その違いとは

諸君はロータリアンだろうか。それとも「単にロータリークラブのメンバー」というだけのことであろうか。1953～54年に257地区（現在の723、725地区）のガバナーを務めたとき、私は地区内のクラブに対し、あえてこう問いかけたことがある。

ロータリアンであるということと、ただロータリクラブのメンバーであることと、どんな違いがあるというのか。諸君はこうたずねるかも知れない。

だが両者には、優勝者と落選者ほどの違いがあるのだ。大体人間には3種類あると思う。その1は卒先活動を始める人であり、その2は事の起るのを傍観している人であり、その3は、何が起っているのか知らない人々である。

会費を払い、例会に出席しても、他に何もしなければ、その人は事の起るのを傍観している。つまり第2の種類の人間でありロータリークラブのメンバーであるにすぎない。

一方、ロータリアンとは、自から卒先して活動を起す人間である。この種の人には、自からの頭脳をしばり、時間を拵げて活動する。たとえば会員以外の人々に、ロータリーを教え伝え、新会員を入会させる。新たな活動計画をクラブに提案する。クラブの委員もしくは役員として活動する。例会に欠席した場合には、クラブに迷惑をかけぬよう、メークアップする。こういう人をロータリアンという。

ロータリアンとはまた、自分の事業もしくは専門職業において、職業関係の団体に所属するだけでなく、自分の職業の水準と理想を高めようと努力する人である。

ロータリアンとは、自分の国家にとってよき市民たろうと努力し、同時にまた他のすべての国々の国民についての認識を深めようと努力する人を指す。

ロータリアンとは、ある特定の計画に支持を求められた場合、時としては金銭の寄付だけで済ますことはあっても、大抵の場合、活動を起す立場にまわって努力する人を指すのである。

（1970年「友」4月号より）

# クラブ奉仕委員会

委員長 塚 久

## A 方針

RI会長のメッセージの主旨をよく理解し、これに基づき本年度のクラブ構想を基礎とした各委員会の諸計画に進んで参与し、敢行していただくようその連絡調整に務め必要に応じて委員長会議を会長幹事を含めて開きクラブの向上発展に努力したいと思いません。

## B 今後の計画

1. クラブ奉仕各委員会の年間計画を推進するため随時各委員会の会合を行いこれに出席し、クラブ活動の機能を十二分に発揮する事に協力する。
2. 随時関係委員長と個別に懇談し、奉仕活動の推進に努めたい。
3. 必要に応じて各委員長と会長幹事の間に懇談会を開き、或いはクラブアッセンブリーで各自の問題に付き討議したいと思います。

### クラブ概況報告 向笠ガバナー（公式訪問）

1. 当クラブの会員の平均年齢は少し若い方で、大体の平均は54～5才位で、特に年をとっているクラブは59才、特別に若いクラブは45～6才である。
2. 入会金は1万円が極めて普通で、特別のところが2～3万円、一番多いところは4万円などがある。
3. 会費は月3,000円が一番少い方で、3,500～4,000円が普通、特別多いところは5,000円というクラブがある。5,000円というクラブは会員数が極めて少ないところであるから会員を増やす方が気がきいている。

# 国際奉仕委員会

委員長 竹 内 三 郎

646区研究グループ来宮に際しての報告を致します。

- 研究グループ受入に対しての会員の皆様や、又、ホテルフェニックスの方々の快よいご協力に感謝いたします。
- 本部はにわ工場、マツダ自動車学校、西都原古墳の見学については、事前の連絡が行き届いており、よく協力をしていただきました。本部はにわ工場では、はにわを自分達で造っていただくように準備がしてありました。米国とは免許の取り方等が違うものです



交換学生等の歓喜の晴姿（中央がカール君）  
大賀美容院（会員）にて

から、宮崎マツダ自動車学校ではいろいろ質問し、交通法規等についても関心を示されました。

- 民宿では、さすがにR、Cの青年らしく人格的にも社交的にも非常にすぐれた青年でした。
- 残念なことに、当地出発の際の見送りにには栗林さんただお1人だけが見送られたそうです。義務出席でなければ出席しないというのでなく、こういう場合はできるだけ

たくさんの方々のお見送りをお願いしたいものです。

- エル・マイヤー大学の生徒受入については、米国のR、C幹事を通じて、正式な文書をもって受入れるが、ガバナーへの正式受入れではないので、1週間の民宿は与えるが、その責任はもたない。

3月20日を中心に前後1週間をR、Iでは国際理解週間と定めております。

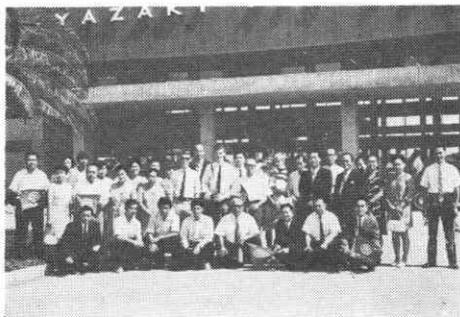
委員会では諸行事を計画致しておりましたが、連絡不十分の為、計画だおれになり、十分な活動が出来なかったことをおわび致します。年度初めの計画として

- ① 7月中旬カール君の帰国手続き
- ② 青少年交換学生の受入と交換準備
- ③ 市内在住外人との接触

④ 日本青年海外技術協力事業団の当地出身隊員と連絡をとって協力する。

の4項目をかかげましたが、国際奉仕委員会が働きかけても一方通行の活動となり、はかばかしい成果はあがりませんでした。

これからは、国際奉仕の仕事は1クラブ単独で行うと効果のあがらないことが多いので、両クラブ、又、北クラブと一緒に働きかけた方がより効果があがるのではないかと感じました。



交換学生カール君を送る  
(宮崎空港にて)

#### 国際奉仕前委員長 郡 嗣 彦

特出すべき事は11月のロータリー財団週間に10；1ドル（旧会員は1ドル新入会員は10ドルの寄附をして頂く）の件を決議して頂きましたので今後引き続き拘束されるわけがございますから毎年1ドル宛出して、頂く事になっております。交換学生の受け入れを決定して頂きましていよいよ8月19日に来る事になっています。ホストファミリーは色々考え難行しましたが第1番目郡、第2番目竹野、第3番目山口、第4番目清水となっております。これは我クラブの仕事でありますから一晩でも夕食会にご招待なさり話を聞いて頂ければ幸いです。色々問題があると思いますが暖い目を持って歓待して頂くようお願い致します。

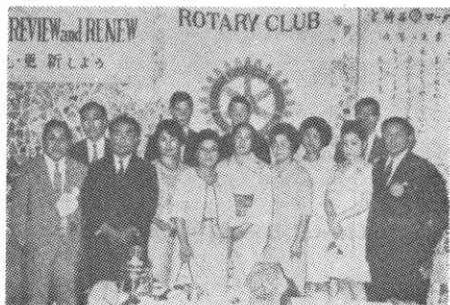
## 交換学生を受入れて

前国際委員長 郡

嗣彦

今回の交換学生を受入れるは初めての経験であったが、やゝ変則的のものであった。通常学生を受入れと送り出しが同一クラブで行われるのが普通であるが、本年度は受入れだけがゆだねられた次第であった。受入れが決定してから初めて文献をしらべ、延岡クラブより関係書類を送付してもらい、同クラブのアリソン・スミス嬢を例会に招待し全行の井上会員より細部の話しをきいて大体の目安がついた。男子学生にvari 最初予定したホストファミリーの選定に手まどったが、夫々の会員の承諾を得て安心した。最初の受入れは、行がかり上自分が引受けなければ具合がわるく、先年の世界旅行の経験より西欧の食事の事情も分り、妻も又ヨーロッパの旅行を終えたばかりであり好都合であった。三男の大学生と全様の食生活でやればよいとの見当をつけた。

カール・バックハーバー交換学生宛に2回程彼の出発迄に手紙を送り受入れ準備完了、日向学院のパンフレットを封入して来日を待っていることを報告した。彼の父親から再三手紙をいただいた。8月19日夕方宮崎空港着の予定のところ飛行機の都合で鹿兒島に着陸し宮崎到着はバスで夜の11時すぎになり池田会員と二人で出迎えた。会長以下全員一同で空港に迎えるという儀式的な第一歩が実現しなかったことは真に残念であった。



カール君、ロバート君とホストファミリー

カールはまだ日本語はほとんど話せず、米語であり、ゆっくり話してもらい、時には筆記と辞書を片手の会話がつつじた。三男が休暇で四、五日一緒にすごし、あとは甥の大宮高校三年生を寄宿させて相手とした。洋食を主とし日本食にも少しづつ馴れさせる様にしたが何でも良く食べて食生活の苦労は余りなかった。男の子はとり扱いやすく辞書を引いては、おそく迄語り、先方の家の間取り家具の配置迄図入りで説明してくれて、生活程度を推察することが出来た。学課が始ると特別に理解しにくい課目の時間は許可されて図書室ですごし、連日二、三通の通信を故郷に送る様であり、それに見合って毎日数通の手紙が本国より来るので、日本のことを之

れ程適切に知らせることは、全く国際理解に役立つものであるとの感を深くした。学校の生活にも馴れ友人も出来、体重も変化はみられぬし、郷愁も感じない様で安心した。明朗な青年で標準的な米語の様だし、こちらもだんだん意志が通ずる様になった。彼は呑気で1ヶ月たっても完全には「いろは」が書けなくてロータリーに出した申請書とは大分違うなという感じはしたが、いづこの国でも申請書が立派なのは仕方があるまい。

馴れるにしたがい感情の起伏も分り一人遠くはなれて来ているので可愛相な気もしたが、交換学生取扱規則により厳格すぎる位に教育をした。一回言えば良いことを理解していないと思って二、三回くりかえすことが一番気に入らないことの様であり以後その点に注意した。

初めの緊張、中だるみ、終末の感傷と型どおりの経過をとって3ヶ月の生活を終り竹野会員宅に送りとどけたが、涙ぐむ場面もあり、感情は国境をこえて何国人についても全様であろう。ふりかえって見るとカールも目のあたり日本人の生活を見て得るところがあったであろうし、今後の彼の生き方がその成果を示すことであろう。私達にとっても外国人との生活がどの様なものであるか理解出来たし、彼は全く温和な明朗な生徒であり、むしろ余りに性格が日本人に似ている様な青年であったと感じる昨今である。この貴重な体験をもとにして将来学生の送り出しと、受入れを実現して交換学生による国際奉仕をおしすすめたいものである。なおホストファミリーは五人位で一家庭二ヶ月半位が適当であろう。彼を温く迎えいただいた会員の皆様に心から感謝致します。

## ロータリー財団奨学生 の件

(1970年) 5月15日

津 田 委 員

当クラブより来年度のロータリー財団留学生として、宮崎大学音学科選考の堀内ヤス子さんを当クラブの候補として推薦いただきました。4月18日に熊本でこの推薦会が行われ、鹿児島からは3名、熊本からは2名の候補者ありまして、計7名の中から男子1名(別府)女子1名(鹿児島)が選ばれました。鹿児島に於きましては、この候補者を新聞で募った処、たちまち10余名の希望者があり、その中から3名を推薦してこられたのでした。その内2名はすでに学生時代にアメリカ留学の経験があり、私共の質問にもハキハキと答え、これならばアメリカへ行っても大丈夫と思ったのでありました。このような他県の意欲的な実情をまざまざと見まして、私は非常に残念に思われたのでした。折角のロー

タリー財団の志ですので日頃から大いに努力し、チャンスを利用させていただくよう皆様にご尽力いただきたいと思います。次第であります。

646区研究グループ (G. S. E) 来宮 (1970) 5月15日

### 吉賀会長 歓迎のあいさつ

646区 (アメリカ) 研究グループのみなさん、ようこそ日本へおいで下さいました。

日本へおいでになった印象はいかがでしょう。

宮崎は日本の最南端にありまして、日本の中心から遠い為、政治・経済・文化の面で不便な所もありますが、よい所もあります。宮崎の最も大きい特色は過去15年の間にさかんになった観光の発達であります。宮崎は他県に対し大きな特色をもっております。非常に海岸線が長く山も開発され、温泉もあり一応そろっております。それで東京、大阪の新婚旅行は皆宮崎に来られます。今後日本をお廻りになる時は、日本の伝統的な良さをご覧になり、日本の悪い所は目をつぶり、よい所だけ見て下さい。そして、又、機会がございましたら、またおいで下さい。

### 国際ロータリー 研修グループ来宮

民宿して県内視察 西クラブ例会にも出席 昭和45年5月15日

国際ロータリー 646区 (米国イリノイ州) 研究グループの一行7人が15日来宮、さっそくホテルフェニックスで開かれた宮崎西ロータリークラブの例会に出席したあと市内の三ロータリークラブの案内で、はにわ工場、宮崎高等工科学校、西都原古墳群などを視察した一行はロバート・D・プレイヤー団長のほかロバート・リーチ、ウエン・E・ハーショウ、ハリー・ウィンドランド、ステファン・ギャフニー、ロバートF・ハリソン、ノーマン・トーマス・トレンスの7氏でいずれも20~30歳代。18日まで日高安壮氏宅 (ガバナー) 他会員宅などに民宿して「宮崎の4日間」を楽しむが今夜は知事、市内3クラブの招宴と合同歓迎会もホテルフェニックスで催される。

## 第370地区交換学生と宮商インターアクトクラブとの交歓会

昭和43年5月10日

於 ミシロ会館ホール



## 万福寺を訪れて（親睦委員会）

昭和43年5月11日

私仏見て五月雨見つつ普茶料理  
春灯や菊池家の菩提万福寺  
普茶料理曇る朱の膳五月雨るる  
五月雨や暮るる借景万福寺  
今もなほ蘭田守る一家天領地



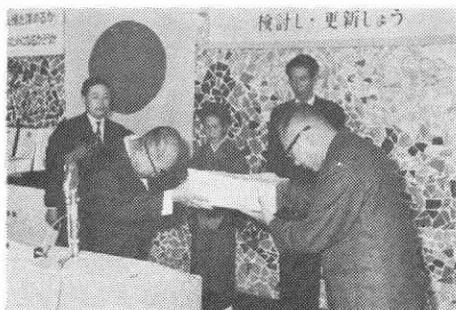
破

顔

## 職業奉仕委員会

委員長 日 高 史 雄

- ・ 職業の繁栄によって、地域社会の発展を図ることに努力してまいりました。
- ・ 職業奉仕のスコアカードを作成し、各クラブ員の職業奉仕の実行状況をアンケート式に2回ほど提出していただいている。今月も提出していただき、1年間の職業奉仕のレベルがどの程度上ったかをまとめたいと思います。



第3回ダリヤ賞授与。  
吉賀会長、日高(史)立会い

に苦心しております。記念品ももう少し高いものでもいいのではないかと思います。ロータリーのマークの入った賞状は非常によいとお言葉をいただきました。

- ・ ダリヤ賞を制定

職業を通じて社会に奉仕し、又、善行に値する人々を発掘し、地域社会に優秀な人々を広く顕彰してすみよい社会を作ろうという主旨のもとに制定しました。

今月を含めますと10名の表彰者を出しておりますが、毎月行っておりますので、表彰に値する人の発掘には非常

## 社会奉仕委員会

副委員長 金 丸 一 平

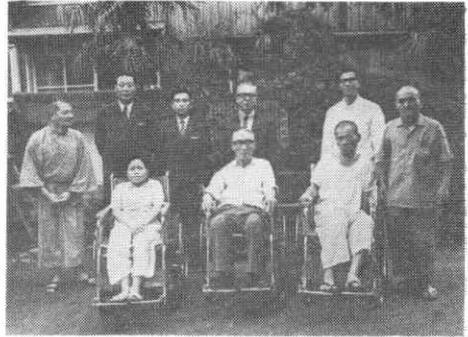
- ・ 献血運動の推進

会員の皆様はもちろんのこと、事業所の皆様にもご協力いただきました事に感謝致します。血液の最も足りない時期に献血していただきありがたく思っているとの感謝状をいただきました。

- ・ 西日本相互銀行さんから、ユニホームを新しくするので、古いユニホームを寄贈したいかと申し出がありました。

## 三原前委員長

消極的ではありますが、1年間やって来た仕事の主なものと申し上げますと、第1が昨年老人の日に宮崎の老人ホームを訪ねまして、其処でテレビを非常に欲しがって居られると云う事を知って、白黒ではありましたが1台贈呈致しました。ひまわり学園も同じ様に非常にテレビを欲しがって居ると云う風な事で、之はクリスマスプレゼントと云う所で贈呈しておきました。カリタスの園には之は子供の情操教育に必要な為に欲しいと云う事でありましたので、オルガンを2台贈呈致しました。それから宮崎市に肢体不自由児父母の会と云うものがあります。之には各肢体不自由児への慰問の意味で、1人当たり概算200円位と云う所で4万円を贈呈致しておきました。



宮崎養護院に車椅子寄贈 1970年6.11  
会長・幹事と社会奉仕委員長が同行

形として現れました事は以上の様な事でございまして、甚だ不勉強で申訳ありません。その点会員の皆様には深くお詫びを申し上げます、不悪お許し下さい。

## 青少年委員会

### 委員長 角 地 次 男

- 本年のワンダーホーゲルは地元の参加者がなく、県外より百数十名の高校生を迎えて行ないました。宮崎クラブとの合同で受入体制をとりました。ワンダーホーゲルは真夏に自転車で汗ダクになって参加する光景を見ますと、何か方法を変える必要があるのではないかと痛切に感じられました。例えば、他の交通機関を利用して遺跡の研究だとか高校生の交歓会、いわゆる涼しい頭で多くのものを身につけるべきではないかと反省致しました。
- ボーイスカウトは青少年育成の上で非常に有意義なものでありますが、女性の場合にはこれに適する団体がなく、又、リーダーもいないということでまだ結成されておられません。これも次の重要な課題であると思います。

- 児童福祉施設の子供を激励しようという計画を組んでおり、それぞれ問い合わせた処、市も寄贈するものがあるので共同でしないかというお言葉がありました。しかし、それでは西クラブの影が薄くなるということできりやめましたので、未だこれは実行されておられません。
- その他、身障者の方を毎日手押車で送る感心な高校生を表彰したらということて学校側と話し合いましたが、心理的な面であらだてたくないということてきりやめました。  
又、大宮中では史跡の愛護クラブがありますが、これも発足して間もないのでその成果はあらわれておられません。  
このように青少年委員として青少年活動に十分な成果があらなかった事を申し訳なく思っております。

## 出席委員会

委員長 田 中 博 規

- 前年の出席率97.37%地区順位12位よりさがらないことを目標に定めました。  
幸い本年が10周年記念でございましたので会長、幹事さんの許可を得まして10周年に100%を達成するをスローガンにかかげて、皆様のご協力をお願いしたのであります。  
5月迄の平均出席率は98.85%と好成績で、地区順位は私が調べましたところ5月迄で第7位でございます。  
従いまして、熊本の地区大会では10位以内の表彰はまちがいないものと思われます。
- 7月に恒例の連続無欠席者の表彰を行うわけですが、もし出席委員会として表彰するならばそのトップは三原会員にさし上げたいと思ひます。  
三原会員は、前年胃かいようの手術をおうけになられたにもかかわらず、その間1度も欠席されず連続4年間無欠席でございます。又、三原会員は欠席なきる前には必ずハガキを下さいました。
- その次は岩元会員にさしあげたいと存じます。  
岩元会員からは今年1月に「大阪でメーキャップをした」との電報をいただきました。
- 最後に欠席予告と同時に県外でメーキャップされた節にはご連絡いただけたら非常に

うれしく思います。

皆様のご支授ありがとうございました。

5月度の県下各クラブの出席率をご報告致します。

県下では1位、地区では6位でした。皆様のご協力に感謝致します。

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
クラブ名	◎宮崎西	延岡東	日向	延岡	宮崎	宮崎北	都城	都城北	小林	日南	えびの
出席率	99.23	96.69	96.52	95.75	94.75	94.66	90.05	89.69	87.16	85.57	81.77

### 連続無欠席者確認表 45. 6. 19

(44年7月間) 出席委員会 (敬称略)  
45年5月

10年	栗林長峰	佐原(伝)	住田竹野	田中(博)	田崎植松	8名
9年	川辺鈴木	矢田吉賀				4名
8年	橋本(善)	大古殿	菊池稔	堺		4名
7年	日高(史)	池田				2名
6年	橋本一	菊池彰	大賀			3名
5年	藤井後藤	満岩井				3名
4年	百野金丸	三原杉山	竹内			5名
3年	内村中山	新原立元	湯浅			5名
2年	郡森	三城角地	山口			5名
1年	江口服部	日高(照)	菊池(皓)	木浦松岡	大健佐原(正)	
	田中(秀)	矢田宮下				11名
	新会員にて	45年1月～5月まで無欠席の方				
	西岡	牧井上	重木			4名
					計	54名

## ロータリー情報委員会

委員長 郡 嗣 彦

- 情報委員は3年委員、2年委員、1年委員とあり、1番新しい人が委員長でありますので、仲々活動しにくいのですが、地区大会では新入会員の教育を行ない、インターナショナル、ゼネラルホールラムではロータリー大学に出席して、成果をあげてまいりました。
- 当クラブの新入会員を集めて教育することをとりあげておりました。5月8日に教育を行いました処、非常に盛会でありました。
- 私も今度は2年委員となりましたので、委員長を助け、新入会員との交流を盛んにしたいと思っております。



# 職業分類充填・未充填一覽表

(1970. 6. 6 現在)

関連する分類	分類	会員資格	氏名
農機具工業	農機具配布	アデショナル	橋本一郎 百野弘 日高史雄 角地次男
農芸	農業		
冷暖房	暖房通風		
畜産業	酪農		
自動車工業	自動車配布		
	乗用車配布		
	自動車小売		
	同		
	自動車部品配布		
酒精飲料	日本酒製造		
	酒類配布	金丸一平 西岡恒之助 立元郁夫 内村龍祐 田中巖 森正年 牧圭司	
放送	民間放送		
建築材料	セメント配布		
ビジネスサービス	税務代理		
	経営調査士		
窯業	陶磁器配布	シニア・アクチブ	佐原伝次郎
	(陶磁器配布)		岩井隆一
化学工業	工業薬品配布	シニア・アクチブ	住田静一 堺久 新原秀丸 菊池皓一郎 菊池稔 栗林東吾 橋本善吉
	(酸素製造)		
	医薬品配布	アデショナル	
	同		
	化学肥料配布	シニア・アクチブ	
	(化学肥料配布)		
	化粧品配布		
	石鹼配布		

関連する分類	分 類	会 員 資 格	氏 名
被 服 工 業	男 子 服 製 造	シニア・アクティブ	大古殿 和 丸
	男 子 服 配 布		鈴 木 敏 道
	婦 人 服 配 布		
菓 子 建 築 業	和 洋 菓 子 配 布		尾 藤 博 澄
	建 築 業		榊 本 正 久
	土 木 建 築 総 合 請 負 業		
綿 業 衣 料 及 雑 貨	建 築 設 計		山 口 澄 夫
	綿 製 品 配 布		岩 元 信 藏
	百 貨 店		後 藤 則 義
教 育	織 維 品 配 布		宮 下 広 計
	大 学		津 田 剛
	電 気 工 業	電 気 器 具 配 布	川 辺 政 明
金 融	電 気 器 具 小 売		木 浦 義 雄
	電 気 供 給		
	商 業 銀 行		重 木 茂
	相 互 銀 行		杉 山 正 一
	貯 蓄 銀 行		安 倍 友 彦
	為 替 銀 行		後 藤 新 太 郎
	証 券 業		小 野 梓
食 品 工 業	食 料 品 配 布		三 城 鑄 二
	茶 販 売		
	植 物 性 食 品	青 果 配 布	
家 具 及 備 品	家 具 配 布		
	厨 房 用 品 具 配 布		佐 原 正 晃
	ガ ス 工 業	ガ ス 供 給	中 山 正 一
調 髪 及 関 係 業	プ ロ パ ン ガ ス 配 布		松 岡 正 作
	美 容 院		大 賀 義 人

関連する分類	分 類	会 員 資 格	氏 名
金 物	金 物 配 布		
ホテル及食堂	ホ テ ル 旅 館 レ ス ト ラ ン 日 本 式 寿 し 養 鶏 業 日 本 料 理		田 中 秀 男 浅 野 文 彦 湯 浅 雄 夫 秋 山 久 行 井 山 孝 行
施設及病院	病 院		吉 賀 幸 夫
保 險	生 命 保 險 火 災 保 險		服 部 正 次
貴 金 属	貴 金 属 配 布		日 高 照 雄
法 律	弁 護 士		
皮 革 工 業	皮 革 配 布		
医 術	内 科 医 外 科 医 皮 膚 科 医 齒 科 医		竹 野 融 竹 内 三 郎 田 崎 亀 夫 菊 池 彰
医 術	産 婦 人 科 医 医 学 研 究		郡 嗣 彦 三 原 七 郎
鉱 油 工 業	石 油 配 布 天 然 ガ ス 開 発		植 松 熊 太 郎
楽 器 用 品	楽 器 小 売		池 田 成 彬
事 務 所 用 品	文 房 具 販 売		
光 学 製 品	眼 鏡 配 布		矢 田 雅 嗣
製 紙 工 業	紙 箱 製 造 紙 配 布		森 禧 晃 後 藤 満 嗣
写 真	商 業 写 真		大 健 耕 嗣

関連する分類	分 類	会 員 資 格	氏 名
印刷及出版	写真器材配布		田中博規
	書籍配布		江口宜夫
	新聞発行		
宣 伝	広 告 業		
	宣 伝 業		
不 動 産	土 地 開 発		
	不 動 産 業		
レクリエーション	映 画 館		
冷 凍	製 氷		長 峰 市 次
宗 教	キ リ ス ト 教		
	仏 教		
ゴ ム 工 業	ゴ ム 製 品 配 布		
運 輸	バ ス 事 業		日 高 真 太 郎
運 輸	タ ク シ ー 業		
車 輪 工 業	自 転 車 配 布		
木 材 工 業	製 材		清 水 一 穂
	木 材 配 布		藤 井 勝

以上 67名

シニア・アクティブ会員有資格者で現に職業分類を保有する正会員

大 賀 義 人	美 容 院
植 松 熊 太 郎	石 油 配 布
清 水 一 穂	製 間 放 材
立 元 郁 夫	民 間 放 送 医
田 元 崎 龜 夫	皮 膚 科 医 布
田 中 博 規	書 籍 配 布
竹 野 融	内 科 医 水
長 峰 市 次	製 粧 品 配 布
栗 林 東 五	

以上 9名

## 職業分類委員会

委員長 後 藤 満

- 。 職業分類の仕事はあまりございませんが、本年は会員の拡大ということで11回の委員会を設けました。新入会員の推薦カードがまいります毎に協議致し、その結果は幹事に報告致しました。
- 。 6月6日現在の職業分類一覧表を作成致し、お手もとの配布致しました。

## 会員選考委員会

委員長 植 松 熊 太 郎

- 。 会員選考はロータリーの構成に関する委員会ですので、特に責任が重いように感じられました。こういうむずかしい委員会ですので、委員も一すじなわではいけないような方、ご年輩では菊池(稔)さん、若い方では岩下さんを迎え、どうかこの役目を果たすことができました。
- 。 私共が責任をもって推薦した方ばかりですので、立派な人格者ばかりであります。これも委員の方、それに会員の方々より立派な方を推薦していただいた結果だと感謝申し上げます。

### 向笠ガバナー（公式訪問）

他所のロータリアンであった人はアディショナル会員として入れる方が良いか新しい職業分類で入れる方が良いかということについて、アディショナル会員として入れる方がよろしいということでした。

## 会員推薦委員会

委員長 橋 本 一 郎

- 。 会員推薦委員会は、1昨年クラブの定款が変わった為に設けられた委員会であります。
- 。 推薦委員会には2つの目的がありまして、1つは職業分類の未充填をホールアップして、適格者を理事会に推薦する。もう1つは、会員1人1人の推薦意欲の向上を図ることです。

- 。 今年度は吉賀会長の方針で8名の会員増強を目標に努力致しました。

R・I会長の指導方針の1つの、5人グループで会員推薦にあたるという方法を取り入れ、当クラブでも12のグループを作り努力致しました結果、10名の新入会員を迎えました。

- 。 9グループから10名の方を推薦していただきまして、ありがとうございました。

(昭和44年3月6日)

## 世代の開きをなくそう

2月23日のロータリー創立第64周年記念日を祝うにあたり、米国マサチューセッツ州のウイلمントン・ロータリークラブ発行のキー・ウェイ誌に載った次のメッセージは、まことに意義深いものがある。

「……ロータリーは年をとり、また勿論賢くなって行く。そしてロータリーを初期のささやかな存在から今日の、人を眩惑させるような偉大さにまで築き上げるのに功績のあった先輩の会員を今でも多数擁している。しかしロータリーは決して「老人のクラブ」ではない。われわれは、歳月の流れと共にロータリーに「心の若さ」を保たせねばならぬ。そしてそれを達成する唯一の途は、脈打つロータリーの血管に絶えず若い血液を注入することである。

依って今後会員候補者を物色する場合は、年輩の社長たちだけでなく、もっと若い事業ないし専門的職業人、特に「小もの」たちに目を向けよう。ロータリーはややもすれば小企業の「小もの」経営者を見落しがちである。しかし彼らはそこに居り、しきもしばしばロータリーからの入会勧誘を待っているのである。然り、ロータリーは年をとる。けれどもロータリーに世代の開きは禁物である。そこで断固それを拒否しよう。」

## プログラム委員会

委員長 大 賀 義 人

私は、この席でプログラム委員は、楽な役目であるからどうぞどなたかかって出て下さいと申し上げようと思ったのですが、どういうわけか、又、次年度のプログラム副委員長となっております。皆様のご協力でいるんな方に逐次バラエティに富んだやり方で行ったつもりですが、果してどれだけ皆様のお心に残ったであろうかと思っております。

1年間の勉強を足場にして、次年度も委員長と共にごんばりたいと思います。

プログラム委員長として私の第1の感想は本年度の会長幹事の方針が、非常にすぐれていたと云う事でございます。その為に当クラブの活動は凡てうまく行ったと云う事でございます。特にその中ですぐれていた方針は第1例会と第2例会を、はっきりクラブ内の行事を行う、協議会その他連絡、勉強を行うと云う事にされた事だと思います。従いまして私共プログラム委員会の活動もお陰でわりとうまく行ったような結果になりました。私共が卓話をお世話致しますのに数が少なくて済み、従いまして人物とかテーマに致しましても、わりと魅力のあるようなものを選ぶ事が出来たのではないかと考えて居ります。テーマも国防の問題とか安保の問題とかガンの問題、其他県内の重要な産業の問題とかコンピューターの問題とか、或は海外事情とか、そう云うものを選んで行く事が出来たと云う風に思っています。それから会員の方にもご協力を戴きまして清水君の天然ガスと温泉の話、三原君の礼節、小野君の証券界の動向、それに古谷君の同じく証券界の話題についてのお話等、専門的な良いお話をして戴きまして有難うございました。それから卓話者に正味30分間の時間を確保すると云う事を、非常にやかましく私が色々、会長、幹事その他委員長に要請を致しました所、之は嚴重に勵行して戴きまして、第1第2例会を除いては委員長の色々な報告をしないようにして戴いたと云う事は、大変有難うございました。此の事は非常に重要な事であろうと思しますので、今後とも私共は此の点には協力をしたいと思つて居る点でございます。それから年度当初に私共の方針として掲げました事に、他クラブの見聞談をして戴くと云う事がございましたが、やはり会員の方が之もやって戴きまして有難うございました。

(黒木前委員長)

## 広報委員会

委員長 岩 井 隆 一

本年度の方針として

- ① 報道関係者に集っていただき、懇談会を開催する。
- ② ミようこそ、ロータリアンミの歓迎板を空港と駅にとりつける。
- ③ 4つのテストを印刷したパンフレットを作つて包装紙にする。  
という3つをかかげました。
- ④ については、昨年末宮日、NHK、県社会教育課、市社会教育課、宮崎今日新聞よ

りお集りいただき、懇談致しましたが、外部からロータリーに対する意見、忠告等をいただき、我々の活動はもっと大衆に密着した活動でなければならないと感じました。

- 歓迎板の件は、当クラブ単独で行うよりも、3クラブ合同で取付けた方がよいだろうということで話し合いましたが、予算等の面で未だ取付けておりません。

この問題は会長、幹事会でお話し合い願いたいと思います。

- 包装紙は、それを商売に利用するのはいけないということで現在まではそのままになっております。

### 向笠ガバナー（公式訪問）

ロータリーは広報をどういうふうに考えるかという事をクラブで一回討論してみたら面白いという事をホッジスが云った事があります。ロータリーはこんな事をやったぞという事を威張った方が良いのか、威張らない方が良いのか黙々とだまってるのが良いのかという事を討論したら良いということをおっしゃっています。この広報にはこの様な方法があるという事を申し上げたいと思います。例えば何もマスコミばかりではなく将来ロータリーにこういう人が入会して呉れると良いなあという人をゲストとしてクラブの例会に出席して貰い、そしてロータリーとはこのようなものだということを見て貰うことです。婦人会の奥様方に来て貰う事をやっているクラブもあります。要するに広報がうまく行き、会員候補をクラブに導き入れると非常に都合が良い事もあるわけでございます。

## 雑誌委員会

委員長 鈴木 敏 道

- この一年間、なにもせずに終わってしまいました。

私の怠惰ぶりを見すかされたのか、次期橋本会長より次年度は親睦委員長をやるようにおうせつかりました。

今年、何もできなかったことは次年度でカバーするという事でご容赦願いたいと思います。

## 会報委員会

### 会員たる者一度は必ず会報え

会報委員長 金 丸 一 平

今年は何かと宮崎を離れる事が多く、メーカーカップを重ねた後久々に出席したホームク

ラブの例会で、会報委員長に決定したとの発表を聞き戸惑ってしまいました。今更辞退もならずと云った申訳ない態度で引受けた形です。幸に有能な委員を配して戴き、先輩の充  
分な御指導御協力を戴けるとの事なので、私なりに出来る丈の所でお許しを願おうと駄馬  
を走らせる覚悟を決めました次第です。

会報は例会同様吾々会員がロータリー活動を為す定められた場であろうと存じます。例  
会に出席される様に会報にも会員の発言をお願いしたいものです。趣味なり御意見なり其  
他何等かの形で此の一年間に一回は必ず、全会員のお名前をその記事や御寄稿と共に会報  
の中に掲げる様努力致します。之が私共会報委員会の本年度唯一つの目標です。たどたど  
しい歩を続ける事と思いますがご協力をお願い致します。

### 向笠ガバナー（公式訪問）

クラブはアッセンブリーよりむしろフォーラムをおやりになったら良いと思います。何  
か議題を決めていくつか問題をお出しになりそれを皆で討論すればよろしい。そういう討  
論会を毎月一回やっているというクラブは沢山あります。このクラブも毎月一回位はフォ  
ーラムをおやりになると非常に良い事だと思います。

## インターアクト委員会

### 出席向上と会員の増加

インターアクト前委員長 宮 下 広 計

インターアクト活動の凡ての活動の基礎となるインターアクト例会への出席向上を先づ  
計りたいと思います。その為には会員名簿を作製し併せて会員の増加獲得を計って行き、  
学校クラブ活動との関連を明確にし、例会を楽しいものにし且つ反省と向上の場にする方  
法を会員と共に研究して参り度いと思ひます。

活動の基本的目標を掲げ度い。インターアクトの目標はロータリーのそれと同じく運動  
方針が抽象的で理解し難い面があるので実践活動を通じてそれを体得する様にし度い。計  
画としては次の3つの事業を考えている。

1. 点字を習って盲目者に点訳書を供する。
2. 公園の清掃を日曜日に行なう。
3. 校内美化運動。

## 向笠ガバナー（公式訪問）

1. 今の定款では女性は入れないということになっているが、実際は女性を加えて活動してもかまわない。R・Iに対しては女性の会員はいないということにしてある。
2. 決った経費は会費から出し、不時の費用はR・Cから出してもかまわないが、サービスに使う費用はクラブから出してはいけないということになっている。然しクラブによっては会員が休みの時にアルバイト等をしてそのお金を積立てて使用しているところもある。
3. インターアクトの活動の広報等は生徒たちがそれをどちらが楽しいと思うか、例えば新聞に書かれた方が嬉しいのか、書かれない方が嬉しいのか、書かれた方が発憤するのか書かれない方が発憤するのかということを皆さんがお考えになって効果が上がるという方法をお取りになるべきです。インターアクトの認証式が近頃非常にげげげしくやられるようになって来たことに対してよく同じようなことを言うのですが、認証式の目的というのはインターアクトメンバーにインスピレーションを与えることであります。決してお金がいくらかかったとかいうことではなしにインスピレーションさえ与えればよろしいのです。

## インターアクト委員会

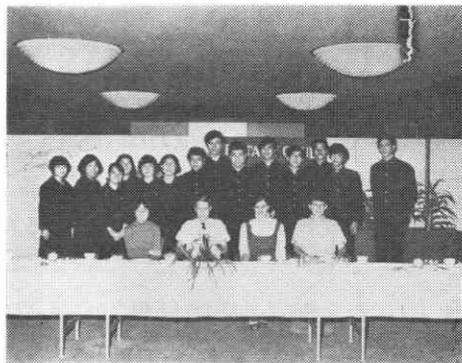
委員長 菊 池 彰

- 私は、昨年12月から黒木委員長に変わり委員長を勤めております。
- 黒木委員長の時には8月に阿蘇青年の家で研修会が催されました。
- 引き継ぎました時に、インターアクトは宮商に6名だけだと伺いましたので、たった6名かとびっくりし、会長、歴代会長に援助を求めて宮商とも話し合いましたが、資金面等から困難をきたし、現在のところ会員の増強をすることができませんでした。
- 今年度は、インターアクト活動が誠に不活発に終り申し訳なく思っております。次年度は、川辺会員が委員長でございますので、どうぞ次年度にご期待下さい。

## 米学生と友情

宮商インターアクトクラブ

米国からのR・C交換学生と宮崎商業高校のI・A・C(会長、吉賀敏郎外25名)の交歓



会は1969年4月13日夜7時からホテルフェニックスでなごやかに開いた。

交歓会には宮崎西R・CのカールA・ハーバー君(18)に延岡、鹿児島、熊本のR・Cの交換学生4人と宮商高のI・A・C員14名が出席、将来の夢と希望、趣味、友だち関係など話し合い、楽しい時間を過した。

## ロータリー財団委員会

委員長 中山 正 一

- ・ 本年度はR・Iの方針に財団への支援の強化ということが打ち出され、これに応じ財団の活動に積極的な参加をテーマとして、各クラブに財団委員会が発足したのでございます。
- ・ 当クラブの方針としては、本年度内に100%アップ、すなわち300%クラブ達成をすることを目標に進めてまいりました。皆様のご協力により300%を達成できましたことに感謝申し上げます。
- ・ 寄附の状況を見ますと、トップは都城クラブの700%、延岡400%につづき、別府、鹿屋、宮崎、宮崎西、延岡東、多良木、津久見R・Cがいずれも300%達成クラブでございました。
- ・ その他の事業活動と致しましては、大学院課程の奨学金受領者の候補者として宮大の堀内ヤス子さんを地区に推薦致しましたところ補欠になられました。

来年度は、地元のすぐれた青年男女を外国に送り出したいと思っておりますので、皆様のご協力をお願い致します。

### ロータリー財団寄付

100%財団クラブとは、毎年12月最終例会の地区ガバナー会員報告数に基づいて計算し、1会員当たり10ドルに相当するクラブをいいます。個人単位の場合は1,000ドル以上は

ポール・ハリス・フェロー、500~1,000ドルはオナラリー・フェロー、100~500ドルで個人の追悼の為に寄付した人はメモリアル・コントリビューター、100ドルは サスティング・コントリビューターとして証明書が授与されます。之は所属クラブの全投資として記入せられ、パーセンテージを高めます

## 親睦委員会

委員長 木 浦 義 雄

- 本年の親睦懇談会は、秋の園遊会と年末家族会の2つだけでしたが、いずれもなかなか雰囲気うちに終了致しました。

前任者の田中会員より、秋、年末、正月、春の4つの大きな親睦会だけは、ぜひ盛大に行うようにと承っておりましたが、正月の親睦会は年末のそれと時間的に接近している為割愛させていただき、又春は、当クラブ10周年記念式典と重なった為、これも又省かせていただきました。秋の園遊会はアルコール抜き親睦会で、琴の音を聞きながら茶をすゝるといふ誠に優雅な一日でした。

- 先般、江南荘で行なわれた新入会員との懇談会は仲々にぎやかで、古い会員と新入会員との交流が、和気あいあいのうちに行なわれました。
- 私共の親睦委員会は15名で構成されておりそのほとんどが新入会員ですが、積極的な協力をしていただき、委員長と致しましてたいへん有難く思いこの席をかり、お礼を申し上げます。
- 囲碁、マージャン、油絵、ゴルフ、ボーリングと5つの親睦会がございますが、マージャン、ボーリングは各1回ずつ行ない、ゴルフに於きましては毎月腕をきそっております。又、油絵クラブは、吉賀先生、郡先生の指導で10回程開催致しました。
- あまり目立った活動もしていないのに予算をオーバー致しましたが、どうぞご容赦下さい。

前委員長 山 口 澄 夫

親睦委員会行事の一つとして、室内競技を行う事になり、参加希望のアンケートを取った所、多数の希望者があったので、これは盛大な会になると、よろこんで居ましたが、愈々実施日の決定をしました所、日・時の都合もあった事と思われませんが、意外に不参加

者が多く、どうするかと云う話も出ましたが、第一回目だから兎に角実施しようとする事になり、下記の様な人員で、9月7日(土曜日)午後2時より、ホテルフェニックス青島の間で開催致しました。

囲碁の部 津田初段 山口初段 三原二級 清水(一)三級 最初の手合で棋力不明の為、上の様な仮級位を付け、一級一目差のハンディ総当りで、なごやかな内にも熱心な戦いがくりひろげられた結果、優勝山口初段、二等三原君、三等津田君、と決定致しました。

麻雀の部 竹野君、藤井君、田中秀君、中山君、大賀君、松岡君、堺君、近藤君の八名が参加。

麻雀の部は会員が多いから、せめて三卓を幹事としての希望をもっていたのだが、予想が大きくはずれて、麻雀への希望者は六名でゲームにならないので囲碁の部ご希望の竹野君、藤井君に参加をお願いしてゲーム開始。囲碁部は打石の音が競技の進行を想わせる静けさに較べて、麻雀の方は牌音よりも口の方が誠に賑々しく我が西クラブの若さをしのばせるに充分であった。大賀君が容姿そのままの打法と本場仕込の技術とをもって優勝杯を獲得された。振替参加をお願いした竹野君、藤井君は成績香しからず、上位入賞を逸しられた。囲碁部ならば必ずや一位をとの竹野君の発言に一同爆笑、幹事として申し訳なき思いを致しました。成績結果は、優勝大賀君、二位中山君、三位田中(秀)君でした。

会の終了後、種々懇談、会の運営としては、3ヶ月に一度開催することとし、早い機会に宮崎クラブとの対抗試合もすることを決めました。

どうか次回には出来るだけ、大勢の皆さんがご参加下さるようお願い致します。

## 観 月 会

好天に恵まれて一日早い観月会を10月5日の土曜日に開催しました。場所は宮崎温泉ヘルスセンターの芝生、集う者21名、かがり火をたき豆提灯をつけ、すゝきを植えた芝生に円坐して、かっぱ酒をくみかわしながら、すみきった月をあおいで楽しい一夕を過ごすことが出来ました。

月を背にして幽玄な“生目神楽”。も一入興趣を添えて、太鼓の音もさえて会する一同を遠い神代の世界に誘いてむかの感がいたしました。

宴酣にして各人一句ひねるべしとの幹事提案あり次の名吟が披露されました。カール君の Poem が一同に深い感銘を与え各人から拍手が送られましたので先づそれを紹介します。

The moon is out, and full tonight,  
 The clouds abound, no stars are bright,  
 The lanterns glow, the air is clear,  
 It makes me know "I'm really here"

金賞	豆提灯の中に神楽や月上る	田崎茶山
銀賞	町の灯を従えぬつと望の月	田崎夫人
銅賞	明月や征野の月も今日の月	清水君
	月出でぬかぐら舞うとて村の衆	山口君
	名月は初恋ににてももの悲し	大島君
	観月にラビット居ぬと彼は云う	郡夫人

(カール君をつれて来ていただきました)

	月はれて酒に酔うたか神楽舞	田中君
	明月や金髪の友カッポ酒	大賀君
	明月や鬼神楽しくおどりけり	大賀君
	近き人月を囲みてなお近く	高見嬢
	月高くススキのかげに虫の声	伊知地氏
	明月や雲もにげさりえんたけなわ	長田君

風船割り競争も爆笑裡に実に楽しかったし、ヘルスセンター提供のおどりも面白かった  
 参会者一同 “こんなに楽しい集いになんでみんな参加しないのだろう 惜しいことだな  
 あ” と話しあいながら、8時半に月光をいっぱい浴びながら散会しました。

## 趣味の会

囲碁	清水(一)君	日高(真)君	竹野君	菊池彰君	三原君
	藤井君	山口君			
マーじゃん	日高(真)君	竹野君	立元君	藤井君	田中(秀)君
	百野君	中山君	橋本(善)君	大賀君	植松君
	松岡君	堺君	矢田君	清水(利)君	近藤君
	森君	橋本(一)君			
ボーリング	角地君	田中(博)君	後藤(則)君	竹野君	内村君

池田君 藤井君 木浦君 橋本(善)君 日高(史)君  
 黒木(正)君 塚君 山口君  
 魚 釣 後藤(則)君 黒木(正)君 後藤 満君 植松君 中山君  
 藤井君 三原君 立元君 田中(博)君 山口君



1964年12月8日年末家族会（橘百貨店大ホールにて）



1967年年末助け合い家族会（橘大食堂にて）

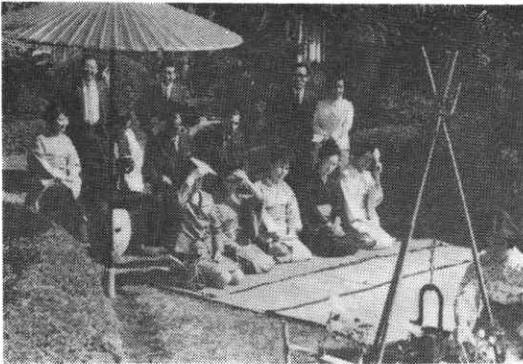
1969年 日本的心 ヽ園遊会ヽ

11月3日、文化の日はぬけるような秋晴れであった。

30余名が集う園遊会は、中村園芸場庭園に於て行なわれ、終始優雅にして静かなる親睦であった。佐々木先生並びにその門下生の点てられる茶を喫し、秋月社中の皆さんによる琴の音を賞でながらの野点は参会者一同の心をなごませるのに充分。

午前11時から午後2時まで都廳をはなれた楽しいひとときであった。

ヽ園遊や秋日に映えし野点傘ヽ



1967年年末助け合い家族会  
(ホテル、フェニックスホールにて)



1969年年末助け合い家族会（Ⅰ）  
ミルク競争



室内パン食い競争（Ⅰ）



1969年年末助け合い家族会（Ⅱ）  
カール君の独奏



御夫人の似顔絵競技 (Ⅳ)



1969年年末助け合い家族会 (Ⅴ)  
(ホテル、フェニックス・ホールにて)  
親睦委員の合唱



家族児童の合唱 (Ⅳ)

# S. A. A.

委員長 山 口 澄 夫

- ハッピーボックスの前年予算は26万円でしたが、本年は41万円になりました。皆様のたいへんなご努力ご協力を得まして先月の最後の例会で41万8千円になることができました。厚くお礼申し上げます。
- 当ホテルではたいへんバラエティーに富んだ料理を作って頂きありがとうございました。又、三城会員の発案で奥様方にメニューをお配りしたことに好評を頂きました。

## 今年度中の何でも1番

ハッピーボックス……………住田さん (12回16,500円)

ゴ ル フ……………木浦さん (優勝とグロス賞獲得8回)

結婚、誕生祝を1度もハッピー

ボックスに納めなかった方……………尾藤さん、井上さん、牧さん、西岡さん、佐原さん

例会一番のり……………住田さん、田崎さん

メーキャップ最多数……………森(禧)さん (30回)

当クラブ最多出席……………菊池彰さん (メーキャップなし)

一番出席の少なかった方……………後藤(則)さん

卓話中ヤジの1番多かった方……………橋本(一)さん

卓話中臆想にふけておられた方……………植松さん

今年一番大きな賞をうけられた方……………植松さん

ロータリーの友に一番名前の載った方……………田崎さん

油絵会で一番進歩の著しい方……………竹内さん

ガバナー月信に唯1人個人名でのった方……………三城さん

ほほっかむり一番……………清水(一)さん

本年度最初の新入会員……………阿倍さん、重木さん、尾藤さん

本年最後の入会員……………森(正)さん

一番目立つのは例会の運営でございます。これはどうしましても会長ではありますが補佐する幹事、プログラム委員、S. A. A. は勿論会場監督でございますので付け加えておきます。S. A. A. という字の起こりは *Sergeant at arms* (剣を持った軍曹) という事

でございます。ですからS. A. A. はこの会場監督でありここへ立ちましたら、会長と言えども注意を促すというだけの権限があるのでございます。強ちハッピーボックスばかりを稼いでいるわけではありません。色々自分の持ち前というのが決まっておりますので今後、それに添って運営なさるとい事が大事ではないかと思っています。

## S. A. A. 一年のあゆみ

### 山 口 澄 夫

クラブ細則による役員の仕事と云う覧を引いてみると、第五節会場監督『会場監督の仕事は通常其の職務に属する義務、並びに、会長又は、理事会の指定するその他の任務を行なうことである』とありますが、さっぱり何の意味か解らぬまま、引受けた様なことになりました。第一に取上げたのが、一週間の献立を奥様宛に発送する事、これは、ロータリーと家庭の結び付きを計り、奥様丹精の夕食が昼とダブらない様に、又『今日は、ロータリーですね』と云われて、うっかり欠席の解消にもいささか、効果があったかと思われます。本来の仕事でないハッピーボックスの徴集が主な仕事みたいになるのも、クラブの予算から来る強制で、仕方がありません。前年度予算26万円、今年予算41万円、約60%のアップになりましたが、皆様の自発的御協力により、なんとか、其の目的を果しそうなのは何よりです。ゼネラルフォーラム、10周年記念と二つの大きな会の司会を致しましたが、特に、10周年記念祝宴の司会をした三城副S. A. A. が、ガバナー月信で異例のお褒めの言葉を戴いたのは、今年度のS. A. A. の、有終の美を飾る一事でした。卓話中の雑談、早退の防止等、本来の目的に、なんら策のなかった事を、お詫びし、次期S. A. A. に、期待を託し筆をおきます。

## 辞 任 挨 拶

### 吉 賀 会 長

今年度は前年度と異って、ガバナーが地元から出られたことでやりやすいようでもあり、又、いつも見ていられるようでやりにくい点もございました。ロータリーは為すことはたくさんございますが、あまり目立った業績もないように思われます。R・I会長の方針は「検討し更新しよう」新会員の増強でございます。私にとって本年度は、会員増強に始まり会員増強で終わったような感じがいたします。地区協議会に於ても、強調されたテーマの1つに、「会員増強」がありました。そこで会員増強には質は問題ではな

い。質より量であるといわれ、私もこのことに力を入れてまいりました。

鹿銀の次長さんの推薦の件は次年度でお考え願いたいと思います。

又、ビジターとして出席された場合、例会途中に帰らないようにしたいものです。これも次期会長さんに申し送りをお願い致します。

ダリア賞制定については、日高(史)委員長さんには感謝し、これからも大事に守ってゆきたいと思います。

各委員長の方々にはたいへんご苦勞をかけ、又ご協力いただき感謝申し上げます。特に杉山幹事さんには、高千穂相互銀行の専務の職を犠牲にしてご献身下さった事は感謝の言葉もございません。

来年度は立派なスタッフも揃っていらっしゃるようですので、益々当クラブが発展することを祈っております。

## 辞 任 挨拶

杉 山 幹 事

昨年2月の年次大会で幹事の役を仰せつかった時は負担に思いましたが、どうやら1年間無事に任務を果たすことができましたことは、偏に皆様方の暖いご支援の賜と、この席をかりまして厚く御礼申し上げます。

この一年間のクラブの行事につきましては、クラブ年誌として、皆様方の連絡箱に入れておきましたのでご覧下さい。

非常にあわただしく、いそがしい1年間であったという感じがいたします。理事会が23回、委員会並にインターシティゼネラルホールの準備委員会、10周年記念委員会等、他の年度にないいろんな理事会が開かれ、皆様にご面倒をかけたことと存じます。

私の任期中に10周年記念式典がございましたことを非常に嬉しく、幸せに思っております。

皆様のご協力ありがとうございました。

# 会 計 長田亀市、田中巖、杉山幹事

計算書(案)

1969. 7. 1 ~ 1970. 6. 30

(収入の部)

宮崎西ロータリークラブ

科 目	予 算	決 算	摘 要
(経常収入)	2,819,400	2,819,400	
会 費	2,819,400	2,819,400	3,700×762
(臨時収入)	1,025,720	1,060,159	
入 会 金	120,000	150,000	15,000×10
ハッピーボックス	410,000	455,485	別紙(1)
ビジター会費	375,000	286,000	500×572
特別会費	—	30,500	川内水害見舞 500×61
五周年誌	—	—	
ロータリー財団寄付	114,720	129,900	別紙(2)
預金利息	5,000	7,974	
雑収入	1,000	300	
特別積立金	381,000	607,000	500×762 2,000×113
前期繰越金	280,711	280,711	
合 計	4,506,831	4,767,270	

## (支出の部)

科 目	予 算	決 算	摘 要
(地区及本部資金)	704,140	715,760	
地 区 資 金	217,500	244,500	別紙(3)
本 部 負 担 金	181,400	178,560	1,400×(61+63)
末 山 奨 学 金	37,800	49,800	300×61 500×63
ロータリー財団寄付	183,600	170,000	300%達成
万 博 負 担 金	25,000	24,700	250×61 150×63
札幌聖火台協力金	6,300	6,200	50×(61+63)
登 録 料	52,500	42,000	別紙(4)
(委員会費)	1,403,960	1,285,996	
理 事 会	20,000	22,180	
職 業 奉 仕	113,000	64,910	ダリア賞
社 会 〃	300,000	284,563	別紙(5)
国 際 〃	100,000	115,820	別紙(6)
青少年 〃	130,000	74,207	別紙(7)
ク ラ ブ 〃	10,000	—	
出 席	45,000	49,100	出席100%賞
職 業 分 類	3,000	—	
会 員 選 考	3,000	—	
親 睦	215,000	291,085	別紙(8)
雑 誌	87,960	98,060	別紙(9)
会 報	125,000	74,410	週報代
プ ロ グ ラ ム	35,000	10,000	ゲスト用品代

科 目	予 算	決 算	摘 要
広 報	40,000	13,915	報道関係者会合費
ロータリー 情報	10,000	10,000	新会員への情報
S・A・A	50,000	84,836	別紙(10)
インターアクト	90,000	75,020	年次大会外
会 員 推 薦	12,000	8,850	
ロータリー 財団 (経常費用)	15,000 1,920,000	9,040 1,880,928	奨学候補者旅費
例 会 費	1,500,000	1,433,385	48回分
アッセンブリー	100,000	135,453	予算委員会 公式訪問
事 務 費	50,000	63,000	別紙(11)
印 刷 費	50,000	30,500	
通 信 費	20,000	21,765	
備 品 費	50,000	56,500	別紙(12)
旅 費	80,000	102,710	地区協議会 年次大会
文 献 費	50,000	13,330	ロータリー手帳外
雑 費	20,000	24,285	前年度分ガバナー 土産外
予 備 費	97,731	29,400	年度末の記念品会 長幹事用バッジ
特 別 積 立 金	381,000	607,000	
銀 行 預 金	—	248,186	
合 計	4,506,831	4,767,270	

内 訳 明 細

(1) ハッピーボックス	455,485	(7) 青少年奉仕	74,207
12,972	廃品回収	21,527	ワンダーホーゲル関係
43,313	年末助け合い寄付	30,000	ボーイスカウトへ寄付
20,000	10周年記念祝儀	22,680	ボーイスカウト世界ジャンボリー援助
376,200	会員ハッピーニュース(延322名)	(8) 親 睦	291,085
3,000	その他	131,500	結婚誕生祝
(2) ロータリー財団寄付	129,900	18,885	園遊会負担分
39,600	新会員分3,960×10人	73,497	家族会負担分
14,100	百万ドル食事2回分	17,400	新人懇談会負担分
76,200	100×762	25,373	各趣味の会負担分
(3) 地 区 資 金	244,500	24,000	御祝儀・御見舞・御悔
86,800	700×(61+63)	430	その他
37,200	青少年交換	(9) 雑 誌	98,060
300×(61+63)		86,900	ロータリーの友代
30,500	研究グループ交換	9,000	ガバナー月信代
500×61		2,160	ロータリアン誌代
90,000	年次大会負担金	(10) S・A・A	84,836
1,500×61		30,000	ピアノ謝礼
(4) 登 録 料	42,000	32,550	ビジターカード
4,500	会長幹事会	12,000	四つのテスト他
9,500	年次大会	6,886	献立表
28,000	地区協議会	3,400	その他
(5) 社 会 奉 仕	284,563	(11) 事 務 費	63,000
30,000	川内R・Cへ水害見舞	36,000	事務補助費
43,313	年末助け合い寄付を社会福祉へ寄付	17,410	封筒・帳簿
79,500	車椅子3台、宮崎養護院	8,610	交通費
52,000	ガス煮沸消毒槽老人ホーム	980	その他
79,750	じゅうたん一式総合福祉センター	(12) 備 品 費	56,500
(6) 国 際 奉 仕	115,820	8,000	幹事用カバン
22,680	韓国へ住宅建設救助金	4,500	ネームプレート台
89,050	研究グループ一行受入れ負担金	7,500	連絡箱
4,100	その他	36,500	演台

特別積立金収支計算書

1969. 7. 1 ~ 1970. 6. 30

宮崎西 R・C

科 目	金 額	摘 要
前期繰越金	1,053,631	
(収 入)		
特別積立金	381,000	500円×762名
創立10周年記念登録料	226,000	2,000円×113名
預 金 利 息	24,366	
合 計	631,366	
(支 出)		
年次大会負担金	28,000	1,000円×28
例会500回記念用品	37,000	会員用 500円×70 ビジター用 100円×20
I・G・F登録料	78,000	1,500円×52
創立10周年記念式典費用	528,246	6月19日配布した10周年記念式典収 支計算書の通り
合 計	671,246	
次 期 繰 越 金	1,013,751	
備		
考		



# 会 員 紹 介



# 会 員 紹 介

A, B, C 順

## 浅 野 文 彦



昭・3・12・25 入会 35. 7. 31

自 宅 宮崎市淀川町1-3 TEL ㊦ 6 2 2 3

勤 務 先 全 上 TEL ㊦ 5 1 0 1

商号・役職名 株式会社 政府登録旅館 江南荘 代表取締役

職 業 分 類 旅 館 業

営 業 内 容 宿 泊 ・ 料 理 ・ 飲 食 全 般

家 族 妻 兎子 (36) 大淀高校卒、長男 文郎 (14) 中学  
1年、長女 永子 (11) 小学校5年

趣 味 ゴ ル フ

## 安 倍 友 彦



明・43・10・16 入会 44. 11. 14

自 宅 宮崎市鶴島一丁目六番八号 TEL22-7 8 7 4

勤 務 先 宮崎市橘通西三丁目 TEL24-2 1 1 1

商号、役職名 宮崎相互銀行 常務取締役

職 業 分 類 貯 蓄 銀 行

家 族 妻 ヒサ (55) 三男 勇三 (23) 学生

趣 味 読 書、 ゴ ル フ

## 秋 山 久



昭・7・1・10 入会 45. 1. 23

自 宅 宮崎市大字恒久平原1438-24 TEL51-7285

勤 務 先 宮崎市中央通7-23 TEL22-5861

商号、役職名 銀寿司店主

職 業 分 類 日 本 料 理

営 業 内 容 寿 司

家 族 妻 洋子 (39) 長女 真貴子 (11) 母 タケ (62)

趣 味 魚 つ り

## 尾 藤 博 澄

大・13・9・15 入会 44. 11. 14  
 自 宅 宮崎市橘通西2-4-19 TEL22-3476  
 勤 務 先 全 上 TEL22-3476  
 商号、役職名 合資会社 尾藤商店 代表社員  
 職 業 分 類 菓子小売  
 営 業 内 容 菓子、土産品小売  
 家 族 妻 尾藤節子 長女 与志子 日大高1年 次女 由美子  
 宮中1年 三女 公美子 宮小2年  
 趣 味 ゴルフ



## 江 口 宣 夫

大・15・7・16 入会 44. 6. 13  
 自 宅 宮崎市潮見町66の1 TEL24-3880  
 勤 務 先 宮崎市高千穂通1-1-33 TEL23-2371  
 商号、役職名 (株)宮崎日々新聞社 常務取締役  
 職 業 分 類 新聞発行  
 営 業 内 容 日刊紙発行  
 家 族 妻 江口ムツ子 (39) 長男 一宣 14 宮中3年  
 長女 晶子 9 潮見小 4年  
 趣 味 囲碁、ボーリング



## 藤 井 勝

昭・3・10・29 入会 40. 3. 12  
 自 宅 宮崎市丸山町72-8 TEL22-4301  
 勤 務 先 宮崎市千草町5-8 TEL22-2857  
 商号、役職名 藤井木材合資会社、代表社員  
 職 業 分 類 木材配付  
 営 業 内 容 木材製材、一般建築材販売  
 家 族 妻 藤井スミ子 38 宮女 長女 純子 19 宮崎銀行  
 次女 亮子 15 大宮高校 次男 勝一郎 12 宮崎西中  
 趣 味 ゴルフ



## 後 藤 満



明・41・5・8 入会 40. 3. 12  
 自 宅 宮崎市大工町89の5 TEL23-3236  
 勤 務 先 宮崎市大工町89の1 TEL23-3235  
 商号、役職名 株式会社 後藤洋紙店 取締役社長  
 職業 分類 紙 配布  
 営業 内容 洋紙 和紙 板紙 紙製品卸販売  
 特約 関係 十条・王子・本州・神崎・大昭和・各製紙工場  
 日本・山陽・中越・国策・各パルプ工場・日本  
 紙業・大竹紙業  
 家 族 妻 直子 50 無職  
 趣 味 ゴルフ

## 後 藤 則 義



大・5・9・18 入会 35. 4. 8  
 自 宅 宮崎市高松通2丁目32の1 TEL22-3441  
 勤 務 先 宮崎市橘通西3丁目10番32号 TEL24-4111  
 商号、役職名 株式会社 橘百貨店 専務取締役  
 職業 分類 百貨店  
 営業 内容 衣料雑貨食料品  
 家 族 妻 後藤鈴子(47) 家事 長男 良博(26) 慶応卒福  
 岡サニー 長女 順子(21) 昭和女子短大 家事 次女  
 紀子(19) // 大学部在学中  
 趣 味 スポーツのみる方 ゴルフ

## 後 藤 新 太 郎



大・9・8・11 入会 45・4・17  
 自 宅 宮崎市高千穂通1丁目1番20号 TEL22-3051  
 勤 務 先 宮崎市橘通西3丁目1番5号 TEL22-2165  
 商号、役職名 西日本相互銀行 宮崎支店長  
 職業 分類 為替銀行  
 営業 内容 相互銀行業  
 家 族 妻 久子(45) 長男 昌昭(18) 修猷館高校卒  
 趣 味 ゴルフ

## 橋 本 一 郎



大・4・3・15 入会 35・7・31  
 自 宅 宮崎市神宮町216 TEL23-2072  
 勤 務 先 宮崎市高千穂通2丁目5 TEL23-2211  
 商号・役職名 宮崎トヨタ自動車(株) 代表取締役専務  
 職 業 分 類 自動車配布  
 営 業 内 容 トヨタ自動車工業(株) 生産クラウン乗用車他販売  
 特 約 関 係 トヨタ自動車販売(株)  
 家 族 妻 文(46) 県立宮崎高女(旧制) 義母 長峰ユキ  
 (87) 日本女子大学

## 橋 本 善 吉



昭・2・5・11 入会 36・11・24  
 自 宅 宮崎市橘通西4丁目6番25号 TEL24-6970  
 勤 務 先 宮崎市橘通西5丁目3番24号(問屋街)  
 TEL22-2233  
 商号・役職名 株式会社 橋本銀三商店 代表取締役専務  
 職 業 分 類 石鹼配付  
 営 業 内 容 雑貨卸業  
 特 約 関 係 花王石鹼・ニッサン石鹼・アサヒ靴  
 家 族 妻 和子(39) 長女 美奈子(7) 二女美左子(5)  
 趣 味 ゴルフ・アマ無線

## 服 部 正 次



大・10・7・9 入会 44・2・28  
 自 宅 宮崎市船塚町370 TEL24-3542  
 勤 務 先 宮崎市高千穂通1-7 TEL24-7111  
 商号・役職名 日本生命保険相互会社 宮崎支社長  
 職 業 分 類 生命保険  
 家 族 妻 幸子(40) 家事 長男 幸治(18) 大阪大学学生  
 長女 孝子(16) 大阪府立寝屋川高校2年生  
 趣 味 ゴルフ・囲碁

## 日 高 史 雄

大・14・7・20 入会 38・4・12  
 自 宅 宮崎市下北方町井手下南25の2 TEL23—3800  
 勤 務 先 宮崎市西丸山町148番地 TEL24—6151  
 商号・役職名 宮崎マツダ販売株式会社 専務取締役  
 職 業 分 類 自動車小売  
 営 業 内 容 自動車販売・整備・部品販売県下1円特約店  
 特 約 関 係 メーカー東洋工業株式会社  
 家 族 妻 政子(43) 宮崎女子高校卒 長女 万喜(14)  
 桜美林中学三年在学  
 趣 味 ゴルフ H21・日本舞踊



## 日 高 真 太 郎

大・3・9・21 入会 35・4・1  
 自 宅 宮崎市福島町3の116 TEL51—3809  
 勤 務 先 宮崎市大字恒久3402 TEL51—5151  
 商号・役職名 宮崎交通株式会社 専務取締役  
 職 業 分 類 バス事業  
 営 業 内 容 乗合自動車運送事業(バス)・遊園地事業  
 乗用自動車運送事業(タクシー)・航空代理店業  
 特 約 関 係 県教育委員 公認会計士  
 家 族 母 カツ(77) 宮女卒なし 妻 智恵(47) 宮女卒  
 長女 幸(23) 東横短大・宮崎銀行 長男 誠一郎  
 (20) 慶応大学在学中 二女 秀(18) 文化学院在学中  
 三女 まき(15) 南高校在学中 四女 多恵(12)  
 大淀中在学中  
 趣 味 弓道(練士5段)・ゴルフ(ハンデ—15)・室内競技



## 日 高 照 雄

昭・7・1・30 入会 44・1  
 自 宅 宮崎市橘通西3丁目10番36号 TEL24—4757  
 勤 務 先 全 上  
 商号・役職名 合資会社 日高時計宝飾店 専務  
 職 業 分 類 貴金属配布  
 営 業 内 容 時計・貴金属・宝石・喫煙具・記念品小売  
 家 族 父 貞文(60) 母 キヨ子(60) 妻 日出子(29)  
 長女 朋子(1)  
 趣 味 読書・旅行・酒



百 野 弘



昭・9・2・1 入会 41・1・7  
 自 宅 宮崎市花殿町8—35 TEL23—3678  
 勤 務 先 宮崎市広島1丁目18番15号 TEL23—2361  
 商号・役職名 宮崎トヨペット(株) 常務取締役  
 職 業 分 類 乗用車配布  
 営 業 内 容 小型乗用及貨物車販売並びに修理業・部品・砥油販売  
 特 約 関 係 トヨタ自動車  
 家 族 妻 のり子(31) 長女 由夏(7) 小学生(西池)  
 長男 正剛(4) 幼稚園

岩 元 信 藏



大・8・7・1 入会 40・3・19  
 自 宅 宮崎市川原町1—18 リバーサイドホテル  
 TEL24—1655  
 勤 務 先 宮崎市橘通東3丁目4番12号 TEL24—6161  
 商号・役職名 (株)宮崎山形屋 常務取締役  
 職 業 分 類 綿製品販売  
 営 業 内 容 百貨店業  
 家 族 長男 善吾(26) 鹿児島経済大学卒 山形屋商事宮崎  
 支店勤務 長女 伊佐子(24) 結婚 玉川大学英文科卒

岩 井 隆 一



大・11・6・25 入会 36・11・22  
 自 宅 宮崎市谷川町2—123 TEL51—4431  
 勤 務 先 宮崎市中村町1—44 TEL51—3954  
 商号・役職名 (株)合志商事 代表取締役  
 職 業 分 類 工業薬品配布  
 営 業 内 容 食品添加物・食品加工用機材・工業薬品  
 特 約 関 係 ミヨシ油脂KK・不二製油・高砂香料KK  
 家 族 妻 麻江(39) 長女 美知枝(15) 高校1年 次女  
 美珠代(12) 中学1年

## 池 田 成 彬

昭・8・8・11 入会

自 宅 宮崎市和知川原町333番地5 TEL24-4143

勤 務 先 宮崎市橋通西3丁目10番36号 TEL24-4141

商号・役職名 株式会社 西村楽器店 取締役副社長

職 業 分 類 楽器小売

営 業 内 容 (楽器・レコード・ステレオ・卓電・クーラー小売業)  
ピアノ・エレクトーン・オルガン・レコード・各種  
洋楽器及び附属品・楽譜・楽書・各種ステレオ及び  
パーツ・テープコーダー・TV・ビデオテープコーダ  
ー・卓上電子計算機・国産及び輸入クーラー・輸入  
ストーブ

特 約 関 係 日本楽器製造株式会社・ソニー商事株式会社・全レ  
コード製造メーカー・ヤナセ商事・阪田商会

家 族 妻 美智子(30) ピーパディー音楽院ピアノ科修士  
課程卒 宮崎女子短期大学音楽科ピアノ助教授

趣 味 読書・音楽観賞・旅行



## 井 山 孝 行

昭・5・1・20 入会 44・11・7

自 宅 宮崎市青葉町35番地 TEL24-1511

勤 務 先 宮崎市青葉町30番地 TEL24-1511

商号・役職名 まるい産業(株) 取締役社長

職 業 分 類 養 鶏 業

営 業 内 容 プロイラー生産・処理・直売  
とり料理専門店(とりの岩戸) 直営

家 族 妻 智恵子(40) 長男 青郎(11) 江原小学校5年生  
次男 登(8) 〃1年生

趣 味 ゴルフ・読書



## 金 丸 一 平



大・14・4・27 入会 41・3・4  
自 宅 宮崎市江平町2丁目66 TEL22-3013  
勤 務 先 宮崎市江平町2丁目49 TEL24-8234  
商号・役職名 株式会社 金丸本店 取締役  
職 業 分 類 日本酒製造  
営 業 内 容 清酒・焼酎・醤油の製造販売  
家 族 長女 一代(19) 東横学園女子短大 次女 京子(17)  
宮崎日大高校

## 川 辺 政 明



大・9・2・6 入会 35・9・1  
自 宅 宮崎市和知川原町359 TEL23-3006  
勤 務 先 宮崎市橋通東5丁目 TEL23-2301  
商号・役職名 宮崎ナショナル製品販売株式会社 代表取締役 社長  
職 業 分 類 電器器具販売  
営 業 内 容 ナショナル弱電製品卸販売  
特 約 関 係 松下電器宮崎地区販売会社  
家 族 妻 俊子(42) 長男 建治(23) 大学在学 次男 誠治  
(20) 〃 三男 武俊(13) 中学在学

## 菊 池 稔



明・36・1・22 入会 35・4・1  
自 宅 宮崎市橋通西4丁目3-29 TEL22-6337  
勤 務 先 宮崎市橋通西4丁目3-29 TEL24-2243  
商号・役職名 合資会社 菊池商店 代表社員  
営 業 内 容 化学肥料販売・一般飼料販売・家庭電器販売・米  
穀集荷(政府指定)  
特 約 関 係 肥料(多木製肥所)・宇部興産・清和商会・神島  
(三菱商事KK)・三菱飼料・日立家電  
家 族 妻 美枝(62) 宮崎県立高等女学校卒

菊 池 彰



大・3・1・15 入会 38・11・8  
 自 宅 宮崎市橘通西2丁目7番22号 TEL22-2881  
 勤 務 先 全 上 TEL22-2881  
 商号・役職名 菊池歯科医院々長  
 職 業 分 類 歯 科  
 営 業 内 容 歯科診療  
 家 族 妻 伎久江 (53) 東洋女子歯科医専卒・歯科医師  
 長男 雄一郎 (27) 日本歯科大学卒・歯科歯師 長女  
 加代子 (23) 共立女子大学卒 次女 万紀子 (16) 宮  
 崎県立南高校在学 義母 太田よね (79) 延岡高等女  
 学校卒  
 趣 味 ゴルフ

菊 池 皓 一 郎



昭・5・5・2 入会 44・5・2  
 自 宅 宮崎市橘通西4丁目4の25 TEL24-3091  
 勤 務 先 宮崎市橘通西4丁目3の29 TEL24-2243  
 商号・役職名 合資会社 菊池商店 副社長  
 職 業 分 類 化学肥料  
 営 業 内 容 肥料 飼料卸・小売 家庭電器品販売  
 特 約 関 係 株式会社 多木製肥所 三菱商事株式会社  
 家 族 妻 弘子 (31) 長男 慎一郎 (9) 付属小3年 次男  
 裕二 (3)  
 趣 味 ゴルフ・マージャン

木 浦 義 雄



昭・2・4・1 入会 41・11・4  
 自 宅 宮崎市神宮町198 TEL22-6662  
 勤 務 先 宮崎市橘通西2-5-8 TEL22-4166  
 商号・役職名 (株)日高商会 取締役社長  
 職 業 分 類 電気器具小売  
 営 業 内 容 家庭用電気器具類の卸小売  
 家 族 妻 すみ子 (40) 長男剛 (13) 大宮中2年 二男 剛  
 二 (9) 大宮小3年 長女 亜土 (5)

## 栗 林 東 五



明・39・10・25 入会 35・4・1  
 自 宅 宮崎市橘通東2の4の7 TEL24-2951  
 勤 務 先 宮崎市橘通西5の3の21 TEL24-1211代  
 商号・役職名 栗林商事株式会社 取締役社長  
 職 業 分 類 化粧品販売  
 営 業 内 容 化粧品・石鹸・歯磨・小間物雑貨卸小売商  
 特 約 関 係 資生堂・ライオン・サンスター・ミツワ・牛乳・花  
 王・クラブ・ウテナ・ジュジュ・加美乃素・丹頂・  
 柳や・第一石鹸・藤野綿業  
 家 族 妻 希久子(58) 高女卒栗林化粧品店 次男 幹雄 独  
 (29) 法政大学経営課 栗林商事KK 次女 昌子 独  
 (22) 東横短大卒 栗林化粧品店  
 趣 味 撞球・ゴルフ

## 郡 嗣 彦



大・3・10・7 入会 38・11・8  
 自 宅 宮崎市清水1丁目13-31 TEL22-5401  
 勤 務 先 “ TEL24-7663  
 商号・役職名 郡産婦人科医院 院長  
 職 業 分 類 産婦人科医  
 営 業 内 容 医 療  
 家 族 妻 妙子(53) 人吉高等女学校卒 三男 研三(23)  
 慶応大商科卒 義母 松村ナガエ(78)  
 趣 味 油 絵

## 三 原 七 郎



明・40・8・1 入会 41・3・4  
 自 宅 宮崎市源藤町あかね台 TEL51-2141  
 勤 務 先 宮崎市大坪町  
 商号・役職名 社会保険 宮崎江南病院長  
 職 業 分 類 医学研究  
 営 業 内 容 医 療  
 家 族 妻 美代(55) 三男 志郎(26) 早大卒 宮崎交通  
 KK 四男 謙郎(23) 鹿大在学中  
 趣 味 釣り・碁

## 新 原 秀 丸

大・9・12・27 入会 42・1・12



自 宅 宮崎市祇園町554番地1 TEL22-5357

勤 務 先 宮崎市和知川原町405番地1 TEL22-7261

商号・役職名 堺薬品株式会社 代表取締役専務

職 業 分 類 医薬品配布

営 業 内 容 医薬品・医薬部外品・医療用外各種薬品・農薬・肥料・計量器・化粧品・食品・食品添加物・食料品・医療用器具・衛生材料・酒類及びその他化学製品の販売

特 約 関 係 武田薬品工業株式会社を始め国内一流メーカー百数十社と特約を有している

家 族 妻 フジ子(47) 家事 長女 和子(23) 宮崎銀行  
長男 秀紀(21) 福大経済学部3年 次女 智子(18)  
高校卒

趣 味 日本犬(中型)の作出

## 西 岡 恒 之 助

昭・2・6・11 入会 44・11・7



自 宅 宮崎市上野町2番16号 TEL22-2835

勤 務 先 全 上 TEL22-4436

商号・役職名 (名)西岡雄一郎商店 代表社員

職 業 分 類 酒類配布

営 業 内 容 全酒類(ビール・清酒・蒸溜酒・洋酒・甘味果実酒)卸売業その他正油・清涼飲料水等卸売業

特 約 関 係 朝日麦酒株式会社特約代理店・キッコーマン正油株式会社・宝酒造株式会社・山邑酒造株式会社・合同酒精株式会社・多聞酒造株式会社・その他

家 族 妻 喜美(37) 共立女子薬科大学 長男 康夫(13)  
宮大附中1年 次男 広武(11) 宮大附小5年 三男  
敬介(9) 宮大附小3年

趣 味 旅行(但し汽車又は車にて)・音楽(クラシックを聴くのみ)・釣(磯釣のみ)・読書(現在は江戸時代を舞台にしたもの)・仕事(甚だ心もとないけれど)

## 榎 本 正 久



昭・6・11・3 入会 45・1・23  
自 宅 宮崎市花殿町1番12号 TEL23-2583  
勤 務 先 宮崎市高千穂通1丁目4番30号 TEL24-3151  
商号・役職名 株式会社 志多組 取締役総務部長  
職 業 分 類 建設業  
営 業 内 容 土木・建築総合請負業  
家 族 妻 美玻 (39) 長男 正光 (13) 附中2年 次男 弘行  
(11) 附小5年  
趣 味 ゴルフ

## 長 峯 市 次



明・42・1・1 入会 35・4・1  
自 宅 宮崎市宮田町10-18 TEL22-3016  
勤 務 先 宮崎市松橋町1丁目-6-32 TEL22-2612  
商号・役職名 株式会社 長峰製氷冷蔵所 代表取締役  
職 業 分 類 製 氷  
営 業 内 容 製氷並冷蔵物保管業  
特 約 関 係 12販売店特約  
家 族 妻 政子 (51) 次女 美和 (23)

## 中 山 正 一



明・42・2・3 入会 41・12・2  
自 宅 宮崎市宮脇町46 TEL23-6794  
勤 務 先 宮崎市橘通西3-9-23 TEL24-2511  
商号・役職名 宮崎ガス(株) 常務取締役  
職 業 分 類 ガス供給  
営 業 内 容 ガス供給  
家 族 妻 貴美 (60) 長男 正健 (28) 四国瓦斯(株) 次男  
博之 (25) 宮崎瓦斯(株) 三男 徳三 (21)

森 正 年

大・元・8・27 入会 45・6・5  
自 宅 宮崎市御門町1丁目40—29 TEL51—8460  
勤 務 先 全 上 TEL51—8460  
商号・役職名 森税経相談所 所長  
職 業 分 類 経営調査士  
営 業 内 容 税務・経営調査全般  
家 族 妻 久子(52)  
趣 味 碁・麻雀・謡曲・ゴルフ



松 岡 正 作

大・7・10・10 入会 43・1・5  
自 宅 宮崎市宮脇町13 TEL23—6718  
勤 務 先 宮崎市江平町3—126 TEL24—4817  
商号・役職名 (株)溝淵石油店 取締役支店長  
職 業 分 類 プロパンガス配布  
営 業 内 容 石油製品販売・LPG販売  
特 約 関 係 日本石油株式会社特約店  
家 族 妻 節子(48) 高女卒 長男 利行(23) 東大(経済)  
卒 三菱重工 長崎造船所 長女 正子(20) 文教短大  
英文科2年 次女 美穂子(17) 南校2年 母 ミエ  
(77) 無職  
趣 味 釣・ゴルフ



牧 圭 司

昭・2・10・30 入会 44・11・7  
自 宅 宮崎市青葉町121の3 TEL22—3436  
勤 務 先 宮崎市橘通西3丁目3番28号 TEL22—3396  
商号・役職名 合名会社 牧陶器店  
職 業 分 類 陶磁器配布  
営 業 内 容 陶磁器・ガラス類の小売  
家 族 妻 京子(33) 長男 巖(10) 宮大附小6年 二男 輝  
(7) 宮小2年



### 三 城 忠 治



昭・3・9・21 入会 創設時入会し再入会 42・9・1  
自 宅 宮崎市末広1丁目9番35号 TEL(申請中)  
勤 務 先 宮崎市橘通西2丁目4番14号 TEL22-8281  
商号・役職名 株式会社 三城食品店 代表者  
職 業 分 類 食料品販売  
営 業 内 容 和洋酒・食料品・煙草・和洋菓子パン製造販売・食  
堂経営  
特 約 関 係 主要銘柄品の特約多し  
家 族 母 三城かね(82)妻 孝子(35) 有限会社 ミシロ  
・ゴルフ・ショップ代表者 長男 邦裕(11)小学校  
長女 三永子(9) 小学校 次女 久民子(8)小学  
校 三女 寛子(6)小学校

### 宮 下 広 計



大・15・4・8 入会 35・4・1  
自 宅 宮崎市橘通西3-3-24 TEL22-3219  
勤 務 先 全 上 TEL22-3219  
商号・役職名 合資会社 宮下呉服店 代表社員  
職 業 分 類 繊維品配布  
営 業 内 容 呉服・寝具・婦人服  
特 約 関 係 九州電力・宮崎交通  
家 族 妻 和子(39)大宮高校 自営 長男 繁一郎(16)宮  
崎南高校 次男 康二郎(13)宮崎中学校 三男 栄三  
郎(11)宮崎小学校 四男 健治郎(9)宮崎小学校  
趣 味 ゴルフ・野球

### 森 禎 晃



大・12・1・6 入会 43・5・29  
自 宅 宮崎市下北方町横小路5861の14 TEL23-4883  
勤 務 先 宮崎市大字小松字上川原1119の2 TEL51-4231  
商号・役職名 協同紙工(株)取締役社長  
職 業 分 類 紙箱製造  
営 業 内 容 ダンボール・紙箱製造  
家 族 妻 節子(39)

## 大 古 殿 和 丸

明・34・1・30 入会 34・4・1



自 宅 宮崎市橘通西3丁目113 TEL22-2265  
 勤 務 先 丸菱既製服KK TEL24-2266・24-2267  
 商号・役職名 宮崎市清水町1丁目911 (丸菱取締役社長)  
 職 業 分 類 男子服製造  
 営 業 内 容 官庁制服・一般紳士服  
 特 約 関 係 県警・官交制服  
 家 族 妻 照子 (65) 高女卒 長男 宗三 (31) 早稲田大卒  
 嫁 万里子 (24) 短大卒 孫 宗大 (1)  
 趣 味 ゴルフ

## 大 賀 義 人

明・37・3・9 入会 38・12・20



自 宅 宮崎市橘通西2 TEL22-4622  
 勤 務 先 全 上 TEL22-4622  
 商号・役職名 有限会社 大賀美苑 代表取締役  
 職 業 分 類 美 容  
 営 業 内 容 美容室・美術品・民芸品  
 家 族 妻 澄子 (51) 宮崎高等女学校美容師 長男 玄(19)  
 武蔵野美術大学1年 二男 昌 (14) 宮大附中2年  
 趣 味 古美術・麻雀

## 小 野 梓

昭5・3・4 入会 43・11・1



自 宅 宮崎市丸山町61-2 TEL22-6421  
 勤 務 先 宮崎市橘通西4-1-32 TEL24-5151  
 商号・役職名 日興証券(株)宮崎支店 支店長  
 職 業 分 類 証 券 業  
 家 族 妻 スミ子 (39) 無職 長女 恵 (15) 甲南女子高校  
 長男 純一郎 (13) 灘中学校

## 大 健 耕 嗣

昭・3・2・16 入会 44・5・2



自 宅 宮崎市橘通西1丁目4番27号 TEL22-3086

勤 務 先 全 上 TEL22-3086

商号・役職名 オーダテ写真館 代表

職 業 分 類 商業写真

営 業 内 容 お見合・御婚礼写真全般

家 族 父 高暉(75) 母 洋子(63) 妻 由美子(43) 宮崎  
第一高女卒 長男 雄三(19) 日本大学芸術学部

## 堺 久

大・13・1・24 入会 35・4・1



自 宅 宮崎市和知川原町232の1 TEL22-3040

勤 務 先 宮崎市和知川原町405の1 TEL22-7261

商号・役職名 堺薬品株式会社 代表取締役社長

職 業 分 類 医薬品配布

営 業 内 容 医薬品・医薬部外品・医療用外各種薬品・農薬・肥料・計量器・化粧品・食品・食品添加物・飲料品・医療用具・衛生材料・酒類及び其他化学製品の売買・薬局の開設並に之に附属する各種営業・他の事業に対し投資並に融資をなす事・保存血液の販売

特 約 関 係 武田薬品工業KK・東京田辺製薬KK・大日本製薬KK・藤沢薬品工業KK・エーザイKK・万有製薬KK・第一製薬KK・田辺製薬KK・日本新薬KK・三共KK・塩野義製薬KK・中外製薬KK・東洋醸造KK・山之内製薬KK・協和醗酵KK・和光純薬KK・森永乳業・明治商事・藤野綿業外約100社

家 族 妻 由子(46) 大阪夕日丘高女(有) サカイヤ薬局代表取締役 長女 万利子(22) 山脇短大卒 サカイヤ薬局勤務 長男 敏郎(21) 福岡大学経済学部4年次女 万希子(19) 福岡大学薬学部2年

趣 味 写真・ドライブ・マージャン

清水 一穂



明・35・10・8 入会 35・7・31  
自 宅 宮崎市吉村町平塚1,800 TEL24-2362  
勤 務 先 (合) 清水木材店  
商号・役職名 会 長  
職 業 分 類 木材製材  
特 約 関 係 ナショナル電工KK  
家 族 妻 久代(62) 長男 博基(43) 嫁 有子(36) 孫長  
男 一宏(17) 次男 一成(15) 孫女 佳子(8)  
趣 味 魚ツリ・囲ゴ打

住 田 静 一



明・32・3・30 入会 35・4・1  
自 宅 宮崎市橘通西4-4-18 TEL22-4036  
勤 務 先 宮崎市中央通3-30 TEL22-7141  
商号・役職名 高千穂相互銀行 取締役社長  
職 業 分 類 シニアアクチブ(酸素製造)  
営 業 内 容 相互銀行業  
家 族 妻 松子(明37・8・10)

杉 山 正 一



大・5・10・8 入会 38・11・22  
自 宅 宮崎市外園町3丁目8番地 TEL51-2440  
勤 務 先 宮崎市中央通3番30号 TEL22-7140  
商号・役職名 (株) 高千穂相互銀行 常務取締役  
職 業 分 類 相互銀行  
営 業 内 容 相互銀行業  
家 族 妻 美代(47) 宮高女卒 長女 自子(23) 大妻女子  
大卒 長男 嘉郎(17) 南高校在学  
趣 味 ゴルフ

## 佐 原 伝 次 郎

明・32・4・29 入会 35・4・1



自 宅 宮崎市大字恒久3487 TEL51-3240  
勤 務 先 宮崎市橘通西2-58 TEL22-4316  
商号・役職名 (合)佐原商店 社長  
職 業 分 類 シニアアクティブ(陶磁器配布)  
営 業 内 容 陶磁器・硝子器販売  
家 族 長男正晃(39)佐原キッチンセンター 長男の嫁由美  
(31) 孫 由樹子(9) 宮小3年生 孫 正剛(6)

## 佐 原 正 晃

昭・6・4・19 入会 44・5・2



自 宅 宮崎市大字恒久3487 TEL51-3240  
勤 務 先 宮崎市橘通西2-5-28 TEL24-4611  
商号・役職名 (有)佐原キッチンセンター 代表取締役  
職 業 分 類 厨房用器具配布  
営 業 内 容 厨房用器具並ダスキン販売  
家 族 父伝次郎(71) 合資会社佐原商店 妻 由美(31)  
長女 由樹子(9) 宮小3年生 長男 正剛(6)

## 鈴 木 敏 道

大・14・6・30 入会 36・2・5



自 宅 宮崎市橘通東3-4-34 TEL22-3083  
勤 務 先 全 上 TEL22-3083  
商号・役職名 (有)すゞや 代表取締役  
職 業 分 類 男子服配布  
営 業 内 容 紳士服・洋品販売  
特 約 関 係 美津濃KK・三陽衣料他日本洋服トップチェーン加盟  
家 族 妻 英子(45) 旧制高女卒 母 よね(66) 長女 陽子  
(23) 短大卒 長男 敏文(20) 大学在学中  
趣 味 ゴ ル フ

重 木 茂

明・45・7・25 入会 44・11・14

自 宅 宮崎市船塚町410 TEL22-7908

勤 務 先 宮崎市橋通東1丁目7-4 TEL23-3131

商号・役職名 (株)宮崎銀行 常務取締役

職 業 分 類 商業銀行

営 業 内 容 金融業

家 族 妻 京子(51) 旧制県立都城高等女学校 長男 進  
(21) 京都大学工学部電子工学科在学



竹 野 融

明・41・12・8 入会 35・4・1

自 宅 宮崎市清水1丁目13-25 TEL22-2653

勤 務 先 全 上 TEL22-2653

商号・役職名 竹野医院

職 業 分 類 内科医

営 業 内 容 医師開業(内科)

家 族 妻 正代(57) 長男 雅允(32) 独乙遊学中 二男 陽  
介(28) 医師・山口大学内科 三男 皓(25) 東海大  
・大学院 四男 裕(21) 慶応工学部

趣 味 謡曲・囲碁・麻雀・撞球・俳句



竹 内 三 郎

大・10・8・9 入会 40・10・15

自 宅 宮崎市霧島町461 TEL24-6550

勤 務 先 全 上 TEL23-5158

商号・役職名 竹内外科病院長

職 業 分 類 外科医

家 族 妻 捷子(36) 鹿児島県立川内高校 長女 美津子  
(14) 宮大附中在学 二女 緑(12) 宮大附小在学  
長男 茂(6) 幼稚園

趣 味 ゴルフ・油絵



田 中 巖



大・8・3・28 入会 42・1・25  
 自 宅 宮崎市和知川原町359—1 TEL22—5877  
 勤 務 先 全 上 TEL22—5877  
 商号・役職名 田中税理事務所 所長  
 職 業 分 類 税務代理  
 営 業 内 容 税務申告事務・会計指導  
 家 族 妻 妙子(42) 宮崎高女卒 長女 恵子(20) 明治大  
 学文学部在学中 長男 裕二(18) 駒沢大学経済学部  
 在学中  
 趣 味 読 書

田 中 博 規



明・40・9・16 入会 35・4・1  
 自 宅 宮崎市橋通東3—1—6 TEL24—5511  
 勤 務 先 全 上 TEL24—5511  
 商号・役職名 (株)田中書店 取締役社長  
 職 業 分 類 書籍配布  
 営 業 内 容 書籍・雑誌・教科書販売  
 家 族 妻 初枝(59) 役員 長男 隆次(24) 山口市文栄堂  
 勤務 二男 秀典(20) 早大政経学部3年 二女 佐代  
 子(17) 宮崎南高2年

田 中 秀 男



昭・5・7・2 入会 42・12・1  
 自 宅 宮崎市丸山町169の1 TEL23—6460  
 勤 務 先 宮崎市松山2丁目1の1 TEL23—6111  
 商号・役職名 (株)ホテルフェニックス 取締役支配人  
 職 業 分 類 ホテル業  
 営 業 内 容 ホテルの経営  
 特 約 関 係 政府登録国際観光ホテル  
 家 族 妻 寛子(34) 兵庫県立芦屋高校卒 長女 雅子(8)  
 江平小学校在学中 次女 久代(7) 江平小学校在学  
 中 長男 秀彦(0)  
 趣 味 テニス・麻雀・読書

田 崎 亀 夫



明・39・9・24 入会 35・4・1

自 宅 宮崎市高松町4番42号 TEL23-2861

勤 務 先 全 上 TEL23-2861

商号・役職名 田崎医院々長

職 業 分 類 皮膚科医

営 業 内 容 皮膚科・泌尿器科及び性病科の診療

家 族 妻 松代(58) 大連市弥生高女卒 五男 博俊(20)

東京理大機械工学科2年 義母 山崎照子(83)

山口高女卒

趣 味 俳句・謡曲・ゴルフ

立 元 郁 夫



明・38・3・13 入会 38・12・13

自 宅 宮崎市原町31 TEL22-6786

勤 務 先 宮崎市下北方町858 TEL22-8271

商号・役職名 (株)宮崎放送 専務取締役

職 業 分 類 民間放送

営 業 内 容 テレビ・ラジオの放送

家 族 妻 ユキ子( )

趣 味 ゴルフ・麻雀

津 田 剛



明・39・10・25 入会 41・10・1

自 宅 宮崎市神宮町97 TEL22-7092

勤 務 先 宮崎市西丸山町宮崎大学教育学部 TEL24-317<sup>1</sup>

商号・役職名 教育学部教授 兼 宮大附属図書館長

職 業 分 類 大 学

家 族 妻 美代子(57)

## 角 地 次 男

昭・5・11・14 入会 42・11・17  
 自 宅 宮崎市下北方町役田740—10 TEL24—4893  
 勤 務 先 宮崎市西丸山町148 TEL24—6151  
 商号・役職名 宮崎マツダ販売(株) 常務取締役  
 職 業 分 類 自動車小売  
 営 業 内 容 自動車・部品販売及自動車修理  
 特 約 関 係 東洋工業株式会社との特約店  
 家 族 妻 と志(40) 無職 長女 恵子(17) 次女 洋子(15)  
 三女 松子(8)  
 趣 味 ゴルフ



## 植 松 熊 太 郎

明・35・7・10 入会 35・4・1  
 自 宅 宮崎市船塚町328 TEL22—2803  
 勤 務 先 宮崎市橘通西4丁目2—30 TEL22—5105  
 商号・役職名 株式会社 植松商店 取締役社長  
 職 業 分 類 石油販売  
 営 業 内 容 石油類・塗料・建築材料・カーステレオ・自動車部品  
 特 約 関 係 シェル石油KK・横浜タイヤKK・関西ペイントKK  
 K・パイオニヤKK  
 家 族 妻 喜美子(50) 熊本県立第一高等女学校卒 長女  
 治子(16) 県立大宮高校2年 次女 弥生(15) 県立  
 大宮高校1年



## 内 村 龍 祐

昭・8・5・14 入会 35・7・31  
 自 宅 宮崎市橘通西4—3—26 TEL24—4051  
 勤 務 先 全 上 TEL24—4051  
 商号・役職名 (株)内村商店 専務取締役  
 職 業 分 類 セメント配布  
 営 業 内 容 セメント及び二次製品販売・建築材・水道用資材販売  
 特 約 関 係 日本セメント(株) 浅野スレート(株) 日本エタニ  
 ットパイプ(株) 日本ヒューム管(株) その他  
 家 族 妻 孝子(30) 大宮高校卒 長男 均(7) 西池小  
 長女 祐子(5) 幼稚園



## 矢 田 雅 嗣

明・45・7・21 入会 36・2・5

自 宅 宮崎市橘通東2丁目5番6号 TEL22-2995

勤 務 先 全 上 TEL22-2995

商号・役職名 金子眼鏡店 店主

職 業 分 類 眼鏡配布

営 業 内 容 眼鏡調整販売・光学器販売

特 約 関 係 英国キラー社宮崎代理店

契約団体 宮崎チケット販売株式会社・九州電力株式会社宮崎支店・宮崎県警察協会・日通商事宮崎出張所・宮崎県職員互助会・郵政弘済宮崎県支部

家 族 母 シン(80) 妻 あきを(56) 長男 龍史郎(27)  
鹿兒島商業高校 長男の妻 美代子(28) 長女 博子  
(21) 福岡女子大3年 長男の子供智久(1)

趣 味 ゴルフ・油絵



## 山 口 澄 夫

大・11・8・8 入会 42・12・1

自 宅 宮崎市霧島町359-2 TEL22-2036

勤 務 先 宮崎市丸山町61 TEL22-7075

商号・役職名 株式会社 山口建築事務所 代表取締役

職 業 分 類 建築設計

営 業 内 容 建築設計監理

家 族 妻 節子(42) 女学校 無職 長男 正次(21) 大学生  
次男 登(19) 大学生 三男 三郎(16) 高校生



## 吉 賀 幸 夫

大・3・9・17 入会 36・3・5

自 宅 宮崎市清水1-5-22 TEL24-6249

勤 務 先 全 上 TEL22-4771

商号・役職名 吉賀病院 院長

職 業 分 類 病 院

営 業 内 容 内 科

家 族 妻 和子(51) 宮崎高女卒 四女 可恵子(22) 聖心  
女子大卒 五女 菱子(17) 大宮高校在学

趣 味 油 絵



杉 本

智さと  
し



昭・3・12・8 入会  
 自 宅 宮崎市橘通西2丁目2-15 TEL24-4713(代)  
 勤 務 先 全 上 TEL24-4713(代)  
 商号・役職名 (有)フモト家具店 社長  
 職 業 分 類 家具配付  
 営 業 内 容 家具類製作販売  
 特 約 関 係 日本内外航空取締役・南日本航業取締役  
 家 族 妻 久恵(34) 長女 純子(11) 付小 長男 智史  
 (としふみ)(8) 付小  
 趣 味 航空写真・アマチュア無線

湯 浅 雄 夫



明・38・9・19 入会 35・7・31  
 自 宅 宮崎市松橋町1-9-6 TEL22-6506  
 勤 務 先 宮崎市橘通東2-3-8 TEL24-5252  
 商号・役職名 (資)コロンバン 社長  
 職 業 分 類 レストラン  
 営 業 内 容 和洋レストラン  
 家 族 妻 君子(59)  
 趣 味 読 書

## 敬 弔

関係物故者名

久保田	豊	パストガバナー
嘉村平	八	パストガバナー
川島真	蔵氏	(宮崎 R・C)
江川栄	助氏	(日向 R・C)
猪野	勇氏	(宮崎西 R・C)
安永島	吉氏	(宮崎西 R・C)
有馬美	利氏	(名誉会員)

---

## 往 診 車

朽ちつつもその名に生きむ梅稟々し  
花冷や子等殆ちもとの老二人  
婦省子に小言も少し日につれて  
戸隠はこぶし咲くなり手打そば  
重患に明けて夜露の往診車

奎 洞



## 附 録

# ロータリーの手引き

(新入会員用)

### 1. ロータリー・クラブとは

ロータリー・クラブは実業家と専門家（医師、技師、芸術家など）の国際的友好団体です。他人に対する思いやりと他人を助ける事を奉仕の理想として居ります。会員は自らの職業に誇りを持ち、其の向上を図ると共に職業を通じて社会に奉仕して居ります。

住み良い社会を作る為有形無形の奉仕をする人々の集りがロータリー・クラブであります。ロータリーは宗教団体や政治団体ではありません。一党、一宗教に偏らず又之に干渉しようとするものでもありません。奉仕の理想をモットーとする団体であります。

### 1. ロータリーの誕生と其の成長

1905年（明治38年）当時のアメリカでは経済恐慌の嵐が吹きまくり、人心はすさみ、犯罪は巷に充満して居りました。此の時に当りシカゴの青年弁護士であったポール・P・ハリスは此の社会現象を憂え、人の和を図り住み良い社会を作り上げようとして心の友3人と一つのクラブを組織しました。

此の3人の友は石炭商シルベスター・シェル、鋳山技師ガス・ローア、洋服商ハイラム・ショーレーで1905年2月23日ガス・ローアの事務所で開催の第一回の会合を持ちました。此の2月23日こそ国際ロータリー創立記念日として取上げられて居る所以であります。

かくて最初は集会を回り持ちで各自の事務室に於て開き、クラブの世話も会員が輪番で受持った事からロータリー・クラブと名付けられました。3年後の1908年に第二番目のロータリー・クラブがサンフランシスコに出来、次第にアメリカ国内に拡大され、1910年に国境を超えてカナダ、1911年に大西洋を超えて英国に創られ、此処で始めて国際的な機構を整えて国際ロータリーと呼ばれる事になりました。

国際ロータリーは今年62年を迎えましたが、ポール・ハリスは1947年に79才で没し、他の三人も此の世の人ではありませんけれども、彼等の遺志は全世界60数万のロータリアンに受け継がれ、クラブも個人も夫々国際的に又社会的にそして人と人との和の為に、又自己の職業を通じて奉仕を行なって居るのであります。（1969年2月 145カ国、13,533 R・C、645,000名）

### 1. 日本に於けるロータリーの歩み

1920年（大正9年）三井銀行重役、米山梅吉氏は国際ロータリーの委任を受けて東京にロータリー・クラブを設立されたのが日本に於ける始めのもので、855番目のクラブでありました。次いで大阪、神戸、名古屋、其の他の大都市に創られ当時日本の統治下に在った朝鮮、満州、台湾に及び昭和15年には48クラブで2,000名強の会員を持つに至りましたが、日華事変、太平洋戦争の渦中、日本のロータリーは国際ロータリーの組織から心ならずも脱退の止むなきに至りました。然し日本のロータリーは名称こそロータリーを使わなかったけれども、其の精神と組織を失わず、熾烈な戦時下に於ても例会を開き続けました。

終戦となり日本のロータリーの会員達は国際ロータリーへの復帰を大いに望み、国際ロータリーと度重なる折衝の結果1949年3月（昭和24年）東京、大阪を始めとして七つのクラブが9年振りに国際ロータリーに復帰し、爾来戦前に勝る勢でクラブが創設され、北は北海道から南は沖縄迄1968、7月902R・C、43,608名の会員を擁するに至りました。

之はロータリー・クラブが出来る事によって少しでも地域社会が良くなる事を望んで居るからにはほかなりません。

## 1. ロータリーの目的

ロータリーでは社会に奉仕する事つまり奉仕の理想を以てすべての職業の根本精神とし、其の目的達成の為に次の四つの事項を綱領として奉仕するのであります。

### (1) 奉仕の一つの機会として知合いを拡めて行く

之は限られた少数の人々だけでは狭い範囲の奉仕しか出来ないので出来る丈知合いを広くしてそれに依って奉仕の機会を多く持つ事をねらいとして居ります。

(2) 社会に奉仕する一つの機会としてロータリアン各自の従事する職業の道德的基準を高め、其の真価を認識、且つ職業其物に権威あらしめること。之は社会に奉仕する為にはロータリアンは例えば商業に従事する人であれば正しい取引により顧客に満足を与え、又医師であれば適切な診療に依り患者に安心感を与えて病気の快復を図るよう努力し、自らの職業を良い加減のものとして自らが之を尊重して己れの職業を通じて社会に貢献する事が望ましいのであります。

(3) 各ロータリアンは其の個人生活、職業生活、社会生活の別なく常に之に奉仕の理想を適用すること。

之はロータリアンは公私の生活の別なく絶えず奉仕の精神、人の為を考えそして実行する心を忘れてはならないと云う事であります。

- (4) 奉仕の理想に結ばれた職業人の世界的親交によって国際間の理解と友情と平和を促進すること。

ロータリーの会員は国際的な機構を有するロータリー・クラブの組織によって国際間の理解と友情と平和を深め、より一層推し進める事が必要だと云うことでもあります。

## 1. ロータリーの基本的標語

**Service above self** (超我の奉仕)

**He profits most who serves best** (最も良く務めるものは最も多く報いられる) = (情は人のためならず)

之は人間として人のため、世の為に奉仕することに依って得られる利益と楽しさを云って居るものであります。

### 四つのテスト

- (1) 真実かどうか
- (2) みんなに公平か
- (3) 好意と友情を深めるか
- (4) みんなのためになるかどうか

自らの言行は此のテストに照らして見てから始めて行動に移せば間違がないと云うものです。

## 1. ロータリーの組織と機構

ロータリアンは個人で国際ロータリーの会員ではなく、一つ一つのロータリー・クラブが国際ロータリーの会員であります。

国際ロータリーの中央事務局は北米イリノイ州エバンストンに置かれ、毎年5月～6月の間に開かれる国際大会で選ばれた国際ロータリーの会長、及び理事が其の統轄運営に当って居ります。又運営の便宜上地理的に一群をなすクラブを地域的に分けて地区(District)を定め地区内の各クラブから推挙指名され、前記の国際大会で選挙されたガバナー(地区統轄者)が置かれ、彼は地区内の各クラブと中央事務局との間に立って事務の連絡及び統轄者としての職責を果すことになって居ります。

現在日本では28の地区に分かれて居りますが、毎年毎年会員が増加して居りますので、地区は更に細分され多くなって行く傾向に在ります。

各地区では毎年地区年次大会が催され次期のガバナーを指名し各クラブの問題や活動について論議し会員相互の友好を温め且増進する機会として居ります。ロータリー・クラブの他の奉仕団体と異なる最大の特長は其の会員組織に在ります。一業種より一人の会員を選ぶと云う原則であります。之を更に詳しく説明すれば令名ある成年の男子が有用な職業に従事し、且つ其の事業について責任ある地位に在り而かも自由裁量権を有する人々の中から一人を限って会員とする事であります。そして其の地域内に同種の職業がたくさんあっても同業種からは只一人しか選べないと云う原則であり、此の原則は最も重大なものであります。

従ってロータリー・クラブへの入会は本人の希望によって入会出来るものでなく、クラブとして其の人の職業分類と其の人格を考え合わせて選ばれ入会出来る立前であります。クラブ例会は毎週開かれクラブの運営方法や地域社会に如何にして奉仕するかを相談します。例会への出席は非常に厳重な申合せをしており、半年を通じて出席率が60%以下であったり、無断欠席を連続4回続ける事があれば規則に依り会員を失格し退会となります。会員は何れかの委員会の委員として仕事を受持って居ります。之はクラブ員全員の協力によってクラブの運営が行われる事が要望されて居り、クラブ内の役目を指定されて之を辞退することはロータリー精神に反するとされて居ります。之は若しも辞退すれば他の誰かが其の役目をやらねばならず、従って協力の精神に反する事となるからであります。協力はロータリーに取って大きな推進の源泉であります。

## 1. ロータリー・クラブのサービス

ロータリー・クラブでは奉仕の理想実現の手段として四大部門の奉仕委員会が作られて居ります。之は国際奉仕、社会奉仕、職業奉仕、クラブ奉仕であります。

- (1) 国際奉仕とは国際間の親睦、理解、そして情報の交換を行ない、以って会員が世界の平和増進に努力する奉仕部門であります。此の中で最も大切な事業はロータリー財団奨学資金であります。之は主として会員からの寄附金を基に運営資金を作り、之によって男女大学卒業生を一年間他国に留学させて勉強させると共に、其の土地の人情風俗等を理解させる事により親善友好を深める有益なる奉仕事業であります。日本で

は創設者米山梅吉氏を讃える為に米山記念奨学資金が作られ、東南アジアの留日学生に奨学金を与えて勉強させ効果を挙げて居ります。

(2) 社会奉仕部門はクラブの地域社会に対し、クラブ又は個人が少しでも住み良い社会にしようとする目的で行なわれる奉仕で、大変幅の広い又取組み易い部門であります。

此の中で青少年奉仕は大変重要な役目を持って居るので、社会奉仕から独立させて居るクラブが多いようです。

(3) 職業奉仕は自らの職業を通じて売買関係を適正に運営したり、競争的立場の人と良く話し合って共存共栄に努力したり、又従業員に対し正しい暖かみのある関係を保つ為に努力する事に在りますが、此種奉仕は如何にも地味で取付き難いもののように考えられ勝ちですが、ロータリアンは職業人である事が基本的条件である事を考える時、4大奉仕の中で最も重大な部門と云うべきであります。四つのテストは職業人の心構えとして常に座右に備え之に照合して事を運べば職業奉仕の実は充分挙げ得られるであります。

(4) クラブ奉仕はクラブの日常の運営や会員の親睦等に務めるもので、此の奉仕の良否はクラブの消長に大変影響するものがあります。

以上ロータリーの起原より現況並に目的、運営方法など大変大ざっぱに拾って新入会員の手引の一端に供する事に致しましたが、今後は定款細則其他委員会の目的運営方法に対する指導書を熟読されて立派なロータリアンになれる事を期待致します。

### 1970~71 宮崎西ロータリークラブ委員会

委 員 会	委 員 長	副委員長	委 員
ク ラ ブ 奉 仕 委 員 会	後 藤 則 義	佐 原 伝 次 郎	
ロ ー タ リ ー 情 報	川 辺 政 明(3)	郡 嗣 彦(2)	竹 野 融(1)
職 業 奉 仕	杉 山 正 一	日 高 史 雄	栗 林 東 五 岩 元 信 藏
国 際 奉 仕	吉 賀 幸 夫	菊 池 彰	津 田 剛 郡 嗣 彦
社 会 奉 仕	岩 井 隆 一	中 山 正 一	長 峰 市 次 三 原 七 郎
青 少 年 奉 仕	竹 内 三 郎	金 丸 一 平	新 原 秀 丸 内 村 龍 祐 菊 池 皓 一 郎
出 席	矢 田 雅 嗣	佐 原 正 晃	三 城 忠 治 松 岡 正 作
職 業 分 類	日 高 史 雄(3)	後 藤 満(2)	橋 本 一 郎(1)
会 員 選 考	日 高 真 太 郎	菊 池 稔	清 水 一 穂

会 員 推 せん	藤 井 勝	山 口 澄	夫 人 久	堀 住 久	橋 本 正
プ ロ グ ラ ム	田 中 秀 男	大 賀 義 夫	住 田 静 一	田 元 郁 夫	重 木 宣 夫
広 報	池 田 成 彬	田 崎 湯 浅	立 元 森 地	森 地 次 男	江 口 宣 夫
雑 誌	浅 野 文 彦	日 高 博	角 植 松 熊 太 郎	角 植 松 熊 太 郎	後 藤 新 太 郎
会 報	江 口 宣 夫	田 中 博	大 古 殿 和 丸	大 古 殿 和 丸	野 弘
ロ ー タ リ ー 財 団	宮 下 広 計	服 部 正 次	田 中 恒 之 助	田 中 恒 之 助	百 野 弘
親 睦	鈴 木 敏 道	大 健 耕	西 岡 山 孝 行	西 岡 山 孝 行	尾 藤 博 澄
イ ン タ ー ア ク ト 諮 問	川 辺 政 明	小 野 梓 殿	井 山 秋 山 久	井 山 秋 山 久	尾 藤 博 澄
S . A . A	木 浦 義 雄	小 野 梓 殿	井 山 秋 山 久	井 山 秋 山 久	尾 藤 博 澄
会 計	安 倍 友 彦	田 中			

### 財 産 目 録

ロータリーの鐘	1個	
ロータリー時計	1	
国 旗	1	
ロータリー旗	1	
加盟承認状	1	
ハッピーボックス	1	
卓 話 台	1	
マ イ ク	1	
黒 板	1	
幹事報告板	1	
ワイヤレスマイク	1	
ピ ア ノ	1	
ピアノ椅子	1	
早 引 箱	1	
週報入書棚	1	
ネーム掛板	1	
ロッカー 3×6	1	
ロッカー 3×3	1	
例会場表示板	1	
会場表示板	1	
テープレコーダー	1	

## 編 纂 後 記

一昨年9代植松熊太郎会長は、次期が創立10周年に当るため、その記念誌の編纂を計画され、私たち数名がその委員に委嘱された。

創立当時からの5年誌は既の上梓済みなので気楽な気持ちでお引受けしたものの、十分な内容の把握は出来なかった。

今回は創立10周年式典と歴代会長の思い出に重点を置き、固苦しくない、いつまでも親しめる、見て楽しめるようにと心掛け、主に創立5年後のクラブの歩みを記録したつもりである。

なお今回は歴代パストガバナーの顔写真は割愛して、現職歴を掲げることにした。5年誌以後の方々は頁を繰りつゝ本誌の中でお会い出来るように仕組んで見た。

昭和45年6月30日

委員長	田	崎	亀	夫
委員	佐	原	伝	次郎
	吉	賀	幸	夫
	三	原	七	郎
	金	丸	一	平
	日	高	史	雄
	杉	山	正	一
	大	健	耕	嗣

**宮崎西 創立 10年史**

発行 昭和45年11月1日

発行所 宮崎西ロータリークラブ

印刷 小柳印刷株式会社

